



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

1月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】自然災害の被災者
【宣教】平和のための奉獻
【日本の教会】エキユメニズムの推進

2012年
年頭挨拶

『救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える』再び
信仰生涯学習の第2年目として取り組もう



主イエス・キリストからの恵みと平和が、新しい年も皆様の心に豊かにありますように！

も早い復興を願いつつ過ごしてまいりました。また、仙台教区からの司祭派遣の要請に応じて一人の司祭を派遣して、被災者の心に少しでも寄り添いたいとの福岡教区民の心を表明しました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

さて、昨年の福岡教区の優先課題は、『救いの秘儀を知り(信仰生涯学習)』、②追体験し(典礼祭儀の充実)、③生き(家庭と社会生活での実践)、④伝える(福音化)でした。その中でも特に、『キリストの救いの秘儀を知り』ということに焦点を絞ります。

【昨年の取り組みに感謝】

昨年、福岡教区では、東日本大震災に際して、「被災者支援室」を立ち上げ、被災された方々に心を向けながら、慈しみ深い神様に御手を差し伸べて下さるよう祈り、一日

【今年の目標】

新しい年の福岡教区の優先課題は、昨年と同様に、『救いの秘儀を知り(信仰生涯学習)』、②追体験し(典礼祭儀の充実)、③生き(家庭と社会生活での実践)、④伝える(福音化)を繰り返しますが、特にその中の、『キリストの救いの秘儀を学ぶ』ということに再び焦点を絞ります。

長崎教会管区ボランティア施設
カリタスジャパン大槌ベースキャンプ開所



ボランティア・支援金を募集しています。
対象：長期・短期滞在・様々な専門職など
資格：健康に自信のある方、善意の方、家庭的雰囲気を守れる方、共同生活のルールを守れる方
連絡先：福岡教区災害支援室 担当：松井忠之神父
Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com ☎ 092-522-5138
支援金口座：福岡中央銀行(平尾支店) (普) 1076206
(宗) カトリック福岡司教区 代表役員 宮原良治

【信仰年】開催の中で

教皇ベネディクト16世は、福岡教区のこのような取り組み

昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

更に、教皇様は、同教令の中で、2012年10月11日が、「第2バチカン公会議」開幕日の50周年、及び「カトリック教会のカテキズム」発行20

周年の記念日であることを鑑みて「信仰年」を決定しています。つまり、教皇様は「第2バチカン公会議」と「カトリック教会のカテキズム」が

【最後に】
神様に会い、神様を体験し、神様との交わりの中で生きていく。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども達の魂」はすべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

新しい年の始めに当たって、昨年の大震災の犠牲になつた方々、いまなお、大きな苦難の中にある方々のため祈りたいと思う。そして失意の中にある方々に私たちが希望の光を注ぐ者になりたいと思う。谷川俊太郎さんの詩にこのようなものがある。「他人のうちに自分と同じ美しさをみとめ、自分のうちに他人と同じ醜さをみとめ・・・」とらわれぬ子ども達の魂で、いまあるものを組み直し、つくりかえる。人は、自分が直接体験していないことは、現実としてなかなかその痛みや苦しみを分らない。しかし、相手の気持ちを推し量り、痛みや苦しみを共有することは出来る。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども達の魂」はすべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

(M)

時の話題

私は昨年9月から、日本カトリック神学院・福岡キャンパスで養成者として働いています。この神学校にはこれまで本州と九州でそれぞれ使命を果たしてきた東京カトリック神学院と福岡サンズルピス大神学院が三年前に合併して

【日本26殉教者列聖150周年の中で】
150年前の1862年(江戸幕府の末期)、まだキリスト教への禁教が国策として継続し、迫害と弾圧の大嵐が吹き荒れる中、パリ外国宣教会の宣教師によって横浜に日本再宣教のための最初の教会が献堂されました。同じ年に、教皇庁は既に列福されていた日本26殉教者を聖人として列聖しました。日本の教会が再福音宣教への第一歩を踏み出してから150年目という節目を迎えます。逆風が吹き荒れる中、当時の宣教師たちが命をかけて日本人にもたらしたかったものは一体何だったのか、また、敢えて、あらゆる困難と苦難を引き受けても遂行したいと熱望したその使命と情熱は一体誰のため、そして何のためだったのか、更に、教皇庁を初め、全世界の教会が心を一つにして日本人のために祈り、支援したその目的は一体何だったのか、などを思い巡らしながら、歴史の流れの中で信仰の遺産を再確認することも意味のある一つの振り返りだと思います。

ました。教皇ベネディクト16世は今年の10月からの一年間を「信仰年」に定めました。その内容は、第二バチカン公会議開幕50年と、「カトリック教会のカテキズム」発行20年を記念するというものがあります。その目的はこの十数年来、沈滞化し続けているカトリック教会に活気を取り戻し、福音宣教に何とか浮力を付けさせることです。日本カトリック神学院が、日本の教会の「時のしるし」となれます(日本カトリック神学院養成者 鹿兒島教区司祭)

新しい年の始めに当たって、昨年の大震災の犠牲になつた方々、いまなお、大きな苦難の中にある方々のため祈りたいと思う。そして失意の中にある方々に私たちが希望の光を注ぐ者になりたいと思う。谷川俊太郎さんの詩にこのようなものがある。「他人のうちに自分と同じ美しさをみとめ、自分のうちに他人と同じ醜さをみとめ・・・」とらわれぬ子ども達の魂で、いまあるものを組み直し、つくりかえる。人は、自分が直接体験していないことは、現実としてなかなかその痛みや苦しみを分らない。しかし、相手の気持ちを推し量り、痛みや苦しみを共有することは出来る。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども達の魂」はすべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

(M)

教皇ベネディクト16世 2012年平和メッセ



今年の平和メッセは、「若者に對する正義と平和の教育」と題され、教皇の若者に対する力強い励ましをメッセの中心に、メッセは、「若者に對する正義と平和の教育」と題され、教皇の若者に対する力強い励ましをメッセの中心に、

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「人間とは何か。これこそが、問うべき根本的な問いです。人間は、心の中に、無限なるものを抱えています。この真理は、部分的な真理ではなく、人生の意味を明らかにできるような真理です。」さらに、いかなることに、究極的な価値を認めない相対主義に對して、真の自由とは何かを教えること、すべての人間に備わっている良心に従うことが人格の完成のために不可欠と言われます。そして正義と平和の教育の必要性を述べて、第3の詩編、「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助

「人間とは何か。これこそが、問うべき根本的な問いです。人間は、心の中に、無限なるものを抱えています。この真理は、部分的な真理ではなく、人生の意味を明らかにできるような真理です。」さらに、いかなることに、究極的な価値を認めない相対主義に對して、真の自由とは何かを教えること、すべての人間に備わっている良心に従うことが人格の完成のために不可欠と言われます。そして正義と平和の教育の必要性を述べて、第3の詩編、「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助

「人間とは何か。これこそが、問うべき根本的な問いです。人間は、心の中に、無限なるものを抱えています。この真理は、部分的な真理ではなく、人生の意味を明らかにできるような真理です。」さらに、いかなることに、究極的な価値を認めない相対主義に對して、真の自由とは何かを教えること、すべての人間に備わっている良心に従うことが人格の完成のために不可欠と言われます。そして正義と平和の教育の必要性を述べて、第3の詩編、「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助

「人間とは何か。これこそが、問うべき根本的な問いです。人間は、心の中に、無限なるものを抱えています。この真理は、部分的な真理ではなく、人生の意味を明らかにできるような真理です。」さらに、いかなることに、究極的な価値を認めない相対主義に對して、真の自由とは何かを教えること、すべての人間に備わっている良心に従うことが人格の完成のために不可欠と言われます。そして正義と平和の教育の必要性を述べて、第3の詩編、「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助

11月23日(水) 司祭、修道者、信徒120人が集い、「福岡教区の日」がカテドラル大名町教会で行われた。宮原司教が昨年の年頭メッセの中で、年間方針とともにその開催を望んだもので、各地区42の小教区から信徒代表や修道会の代表が集った。



はじめの祈りの後、川上惣一神父(教区主権は、冒頭、教区の日、開催について、その趣旨・目的等、理解を深めながら、司教と私たちの意志疎通を図り、より良い歩みを踏み出すための時間として)と話し、

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同生活の歩みを進めたい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話した。

第1回 教区の日

一つのキリストの体であることをめざして

ちよっぴ



*孫が来ていつもと違う朝が明け
*こころ満たすのに七色もいらぬ虹

坂牧春妙
深堀正平

宮原良治司教	教区長	川上惣一	光丘
福岡教区司祭(叙階順)		平田三好	二日市
山田成章	司祭の家	櫻井尚明	大名町
山頭原太郎	司祭の家	青木悟	健軍
田川清美	木の葉の里	山下正	司祭の家
三村邦明	久留米	森山信三	西新
川添猛	帯山(長崎教区)	中村彰	戸畑・若松
平田敬	佐賀	中村信哉	大桶
浦俊雄	馬渡島	伊東成晃	岩手県久慈
堤好治	呼子(長崎教区)	田中重治	ローマ
牧山勝美	手取	一ノ瀬輝幸	武蔵丘(長崎教区)
竹森勇	水巻	牧山美好	崎津・大江
渡辺隆義	本渡	竹内英次	糸島(長崎教区)
深堀勝人	湯川	寺浜亮司	直方・田川
山元真	小倉	井手公平	門司
松井忠之	教区本部	十時伸治	光丘
下町豊重	大牟田・荒尾	大塚了平	大名町
岩崎康彦	今村(長崎教区)	谷口尚志	新田原
浦川務	久留米	D・アルビン	老司
杉原寛信	新田原・飯塚	(Przemyslaw) 教区・ポーランド	
		C・ピーター	小倉(那覇教区)
		パリ外国宣教会	
		L・ペリオン	行橋
		M・レーヌ	北九州支部
		M・コース	美野島司牧センター
		ミラノ外国宣教会	
		G・ブルーニ	黒崎・天神町
		C・ガッザルディ	伊万里
		A・テムペリーニ	
		L・マネルバ	ロザリオの園
		聖コロンバン会	鹿島・武雄
		H・オカロール	小郡
		E・ホールガン	水俣
		M・オファレル	人吉
		F・マツケイ	鳥栖
		オブレイト会	
		E・ウィリアムス	古賀
		C・パキヤナダン	古賀
		R・ロビンソ	古賀
		古川健一	吉塚・南粕屋
		聖アウグスチノ修道会	
		遠山満	笹丘
		今田昌樹	笹丘
		ドミニコ修道会	
		G・ミシエル	箱崎
		カプチン・フランシスコ修道会	
		M・エドウィン	高宮
		Br橋谷保憲	高宮
		聖ザベリオ宣教会	
		D・マルケット	島崎
		A・ヴァレリオ	島崎
		F・ソットコロノラ	真命山
		最頼巖流	菊池
		L・フエリベ	島崎
		S・ダニエーレ	真命山
		W・デンニ	手取
		神言修道会	
		S・リチャード	浄水通・茶山
		P・スタン	唐津・多久
		J・サントス	司祭の家
		サン・スルピス司祭会	
		牧山強美	神学院院長
		高木善行	
		Q・ベルナル	
		熊川幸徳	
		聖パウロ会 福岡修道院	
		永富久雄	院長
		夫津木昇	八代
		Br田中直	
		Br阿部光一	
		イエズス会 福岡修道院	
		増井啓	院長
		Br葉袋勝士	副院長
		外川直見	
		浦善孝	
		J・メディナ	
		泉類治	
		櫻井彦孝	
		岡俊郎	純心鹿児島修道院
		御受難修道会 福岡修道院	
		来住英俊	院長
		鈴木忠一	
		内山恵介	
		B・ガブリエル	
		Br笹田六合豊	
		日本カトリック神学院福岡	
		キャンパス養成者	
		中村吾郎(横浜教区)	
		中嶋義晃(さいたま教区)	
		中野裕明(鹿児島教区)	
		レズンブートル会	
		W・キップス	臨床バスター
		ルケア教育研修センター	
		淳心会	
		C・スメット	トラピスチン
		チャブレ	
		ヨゼフ会	
		Br床嶋藤吾	あ・うんの家

宣教する人のための講演会

「エボベ」で人々は何を話したか?~宣教スナックの31年~

講演者: 進藤重光氏 (故G. ネラン神父とともに、新宿で31年間活動した 宣教スナック「エボベ」の元代表)

日時: 2012年1月22日(日)午後2時~4時/入場料: 席上献金

カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385
インターネットで検索 [福岡黙想の家](#) [検索](#)

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

天草の本渡教会が献堂 60 周年を祝う 天草市長から感謝状



本渡教会は11月23日に創立60周年を迎え、12月11日に記念ミサと祝賀パーティーがありました。

ミサには本渡教会の信者に加え、大勢参加していただきました。また、天草市の市長、教育長、教育部長、キリシタン館館長、天草宝島観光協会会長、聖心幼稚園理事など、地域社会の皆さまにもご

11月27日(日) 待降節第1主日に「聖体授与の臨時の聖体奉仕者」の任命式がありました。この日の第一朗読で、「わたしは粘土、あなたは陶工」(イザヤ64・7)が読まれました。この箇所が読まれる日に、聖体奉仕者の任命式があることは偶然ではない気がしてなりません。それはこの箇所が、これから聖体奉仕者として働く私に主が語られる強固で、明確なメッセージだと思えたからです。

地域とともに不動山殉教祭



佐賀地区信徒協主催の不動山殉教者祈念式が、11月13日(日)に佐賀県嬉野市不動山地区の嬉野市営ふれあい体育センターにて開催された。

17世紀の初めキリスト教迫害時代、山一つ隔てた大村藩領から不動山に逃れた末に殉教したキリシタンのための祈念式も今年で20回を数え、昨年に続いて宮原司教の司式によるミサが執り行われた。祈念式には毎年、嬉野市と地元不動山の地区住民の方々に協力をお願いしており、来賓として嬉野市の谷口市長・中島副市長と、日本バプテスト連盟嬉野キリスト教会の藤野牧師が参列した。

谷口市長の挨拶に続いてミサが行われた。ミサの中で宮原司教は「美しい自然環境の参加いただき、聖堂は満員となりました。」

ミサは渡辺隆義神父様(本渡教会主任司祭)と牧山美好神父様(大江・崎津教会主任司祭)の共同司式でとりおこなわれました。渡辺神父様は「60年は還暦です。私たちが信仰の原点に帰りましょう。その原点は第二バチカン公会議の精神、天草キリシタンの信仰と新約聖書です。」と語られました。

ミサ終了後は、天草市長より、「本渡教会は天草の観光振興と経済発展に多大なる貢献をした」として感謝状が授与されました。



私は、今回任命された方々の中の最年少でした。私が最年少でしようと、私の知人の聖職者に話していたら、「それはきつと御父のみ旨以外の何物でもない。何故ならば、この奉仕職は、所謂『教会の長老』みたいな人ばかりがなれるような『名誉職』ではないからね」と言われました。確かにその通りです。今回任命された人々は決して偉くなつたわけではありません。

御父からの「司祭の協力をしなさい」という意思を、司教様からの任命という、見えるしるしで頂いた、ただそれだけなのです。聖体奉仕者の任命。これによって、陶工である司祭の私に、粘土である奉仕者の私に、いかに柔軟に依っていかれるかが、私個人の課題であり、御父から私に与えられた宿題でもある様な気がします。

西新教会信徒 山本 晃大

今年度の一致祈禱集会へのおさそい

表者が共同司式します。今年度の一致祈禱集会の特色は、今年度の草案担当の国ポーランドのクリスマスの慣行で、「オプワテク」の分かち合いです。ポーランドでは、クリスマスの時期、家庭や教会で集まる人々は、「オプワテク」という特別なウエハースを割って分け合い、愛と救いのしるしとして、互いを祝福するのです。1月22日の祈禱会においても、平和のあいさつの時、同じクリスマスの広い家族の一員としてこの儀を行います。

カトリック(普遍)の教会の信仰者として、わたしたちのキリスト教の兄弟姉妹と共に、一致のためのこの祈りにご参加ください。

みこころ幼稚園ホールでのパーティーでは、信徒手づくりの60周年記念誌が配られたあと、フィリピン信徒たちのパンブーダンスやアメリカ人信徒たちによるバンジョーの演奏があり、国際色豊かなパーティーとなりました。

本渡教会は1951年聖コロンバン会の神父様により創立されて以来一貫して、行政や地域社会と協力関係にあります。この伝統を引き継ぎ、これからも地域に貢献する教会でありたいと思います。

本渡教会信徒会長 徳永 至記

福岡教区地区婦人会のボランテニア研修会

12月6日(火)、福岡地区婦人会恒例の「ボランテニア研修会」がカトリック大名町教会で行われた。今年度は「楽しい介護の予備知識」というテーマで養護老人ホーム聖母園施設長シスター萩原(カトリック愛善会)による講話が行われた。

老人特有の被害妄想は、「身体が自分の意のままに動かない」という悔しさによって起きやすい、また就寝前に十分な水分を摂取していないと脳の血液循環が悪くなり不眠症や妄想が起きやすくなるなど、高齢者の特性について、老化により起こってくる様々な症状や性格の変化、また認知症など事例をとりあげた分かりやすい解説であった。

介護をする側について、そのストレスの解消は、家族に向けて友人と食事をした好きなことをして気分転換を外でするのが家庭円満でいい介護という話に、会場にも納得の笑顔が広がった。

株式会社 ジャパン・スマイルか
TEL 092-761-8800
http://www.jpica.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業
森山工務店
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号

キリスト教書局
マタイ福音書を読む
京都府教区聖書委員会編

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコによる福音書』
日時：1月15日(日) マルコ福音書を読むために
講師：森山信三神父(西新教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

日時：1月29日(日) 14:00～16:30
講師：ベリオン神父(行橋教会主任)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会
問合せ先：☎093・293・4981 松尾

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう
～希望 喜びをもたらすミサ～
第5回：1月15日(2011年最終回)
内容：講話とミサ
講師：ドミニコ宮原良治司教
会場：カトリック手取教会 13時半～16時半

聖書に集う会

毎月1回、「聖書に集う会」を開催します。集いの一貫したテーマは「聖書」です。参加者の皆様には、あらかじめ自分の疑問、質問、解釈、見解などをご用意いただけたらと思います。聖書に関することなら何でも結構です。初回のキーワードは『福音書』です。福音書に関して一言ご用意ください。
日時：2012年1月10日(火) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何?
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも
参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)
申込：不要(途中参加可)
1月以降の日程
・2月13日(月) ・3月5日(月) ・4月16日(月)
*5月以降は毎月第1日曜日
アクセス：地下鉄「赤坂」駅下車徒歩2分
/西鉄バス「法務局前」
連絡先：092・721・2032(平日10:00-18:00)

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第4回

日時：2012年1月29日(日) 15時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：特別養成(講演会に参加)
内容：『私が望む教会と社会との関わり』
講師：梅崎浩二牧師(日本基督教団)
第二部：開会(祈りと種々の報告)
第三部：活動協議事項(東日本大震災一周年など)

募集中 第50回クルシリヨ開催のご案内

日程：2012年5月4・5・6日
場所：福岡黙想の家
指導司祭：竹森勇神父(水巻教会)
参加費：12,000円
申込期限：2012年3月20日厳守
連絡先：☎093-592-0316 徳永哲
主催：福岡教区クルシリヨ担当

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

1月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 1月

1日(日)～3日(火) 休館
6日(金)～8日(日) 産業医科大学セミナー
21日(土)～30日(月) 長崎純心聖母会修練院黙想会
22日(日) 「エポバ」講演会 14時(詳細は2面下)
2月
4日(土)～5日(日) 在俗カノッサ会黙想会
10日(金)～11日(土) 聖マリア在俗会黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：1月12日(木) 10時～14時半
・内容：愛の秘蹟であるご聖体
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：2月9日(木) 信仰の神秘
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：1月7日、1月21日、2月4日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(日) 神の母聖マリア/世界平和の日 元旦
司教ミサ(カテドラル大名町教会10時)
↑C. バスチ [2002年黒崎教会]
6日(金) 初金ミサ聖祭(浄水通教会10時)
8日(日) 主の公現
9日(月) 主の洗礼 成人の日
12日(木) 常任司教委員会
召命祈願ミサ(神学院19時半)
年間第2主日/熊本地区神学講座
18日(水) キリスト教一致祈禱週間(～25日)
21日(土) 聖アグネスおとめ殉教者
22日(日) 年間第3主日/大名町教会堅信式
キリスト教一致祈禱集会(カテドラル18:00)
25日(水) 聖パウロの回心
28日(土) 聖トマス・アクィナス
↑R.オーウェンス [2007年菊池教会]
29日(日) 年間第4主日/カトリック児童福祉の日(献金)
30日(月) 司祭総会(～31日)
福者小笠原玄也一家殉教記念日(1636年)
31日(火) 聖ヨハネ・ボスコ
↑V. マクナリー [2003年島崎教会]
2月
2日(木) 主の奉献/↑山川辰幸 [2002年二日市教会]
常任司教委員会・神学校委員会
3日(金) 路上生活者への炊き出し(毎金曜日大名町教会)
5日(日) 年間第5主日/日本26聖人殉教者
6日(月) 聖アガタおとめ殉教者
7日(火) 司祭評議会
■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 1月9日(月)より毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・821・6349 森
◆福岡ホスピスの会勉強会(日時) 1月8日(日) 14時から(場所) カトリック大名町教会(内容) ホスピスからのたより(講師) 植木昭代氏(那珂川病院緩和ケア病棟棟長)(参加費) 一般千円・会員500円(問合せ先) ☎092・874・6321 深堀
◆福岡結婚準備講座(日時) 1月14日(土) から2月11日(土) 18時半～21時の毎週土曜日の全5回(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687 ★原則お二人で参加
◆在世フランスシスコ会集會(日時) 1月15日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランスシスコ会修道院在世会集會所(指導) エドウイン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
◆心の健康セミナー(日時) 1月15日(日) 14時より(場所) カトリック福岡黙想の家

北九州

想の家ログハウス(内容) 救いについて2(指導者) 小宮豊氏(精神科医師)(参加費) 原則無料(自由献金)(主催) 心の健康セミナーを支える会(問合せ先) ☎0940・3032・1173 矢田
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 1月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖母賛歌(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆第55回福岡典礼聖歌研修会(日時) 2月19日(日) 14時から16時(場所) カトリック大楠教会(内容) 聖週間の典礼聖歌(講師) 深堀純氏(参加費) 感謝献金(問合せ先) 092・541・3730 松山
◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分 ●越冬ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 コース神父
◆合唱団員募集(日時) 毎月第3土曜日13時半～16時半(場所) カトリック西新教会(指導者) 毎月/橋本富美氏。3・4ヶ月に1度 新垣玉敏氏(会費) 二千円(問合せ先) ☎0940・335423 橋本

熊本

◆熊本地区召命を共に祈る会(日時) 1月19日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆熊本結婚準備講座(日時) 1月21日(土) から2月5日(日) 19時～21時半(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 1月8日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内

佐賀

◆佐賀祈りの集い(日時) 1月7日(土) 10時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・230・8347 吉武
◆熊本のための祈りリレー(日時) 2012年1月11日(水) 7:00 ミサ聖祭～19:00 夕の祈り(場所) 日本聖公会福岡聖ペトロ教会(福岡市中央区草香江)(問合せ先) fr5abe19ko@yahoo.co.jp Br. 阿部光一(聖パウロ会) *どの時間帯も参加自由

4ヶ月の研修を終えて帰国しました。教区編集の仕事を戻りに感謝します。研修の成果は、次号から分かち合っています。被災者の方の祈りや、被災者のために祈るとともに、今後、継続的に私たちに出来ることを考えていきたいですね。今年も皆様が手にとって読んで励みになるような紙面作りをご協力をお願いします。

編集後記

長崎祈りの家 黙想会のご案内
テーマ：みことばから自分の生き方を見つけよう。友だちといっしょに。
日時：2012年2月18日(土) 11時集合～19日(日) 大山教会巡礼 16時解散予定
指導者：ディアス師(イエズス会士)
対象者：どなたでも
場所：長崎祈りの家(イエズス会立山修道院)
参加費：1泊2日7000円(4食・巡礼交通費含む)
詳細問合せ先：☎095-821-4577 Sr. 中島

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公吉

神の母聖マリア、世界の平和のために今もいつまでもお祈りください
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



宮原良治司教認可 発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行 人 福岡司教区 編集人 森山信三 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-620729 カトリック福岡司教区 定価 一部60円

2月の意向 教皇様の意向のために祈りましょう 【一般】水資源の確保 【宣教】保健・医療・福祉で働く人々 【日本の教会】出生前のいのちを守る

「教会に繋がっていつてくたさい！」 元日のミサの中で祝われた新成人



「教会と繋がっていつてくたさい！」 ミサの中では、成人になったことを一人になったことを一つの節目とするために、新たな気持ちで信仰を宣言し、捧げものを奉納して神への奉納も新たにしました。

自信に満ちた脅迫とも思える？お祝いと励ましの言葉に、ミサに参列していた「先輩」たちは微笑みで後押ししていた。その後挨拶した主任司教は「今の先輩成人の言葉がすべてです。つながってくだささい」と短い言葉で念を押した。

福岡教区被災者支援室だより 東日本大震災復興支援ボランティア募集 長崎教会管区大槌ベースキャンプ



中心が大槌ベースキャンプ。かつての建物の土台が見える。

ボランティア・支援金を募集しています。

対象：長期スタッフ 1) ベースでのプロジェクト担当 2) 傾聴スタッフ 3) 仮設住宅戸別訪問担当 4) ベースの管理運営(事務・会計・厨房・他) 短期滞在・様々な専門職など *募集要項など詳細は、支援室にお問合せください。 *福岡教区ホームページでも確認できます。(http://fukuoka.catholic.jp/pdf/ej111kanku01.pdf) 連絡先：福岡教区災害支援室 担当：松井忠之神父 Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com ☎ 092-522-5138 支援金口座：福岡中央銀行(平尾支店) (普) 1076206 (宗) カトリック福岡司教区 代表役員 宮原良治

小倉教会は、教区の中でも信徒数では三本の指に入る。信徒名簿の整理を続けているが、昨年末時点での所属信徒総数は約2800人。そのうち、実際に小教区内に居住していない転出手続きが必要な方が約400人。居所不明者は800人ちかくいる。これを考慮すると実際に小教区内に在住する信徒は約1600人と考えていい。その内訳を年代別に見ると30歳代から70歳代まではそれぞれ年代に250人ほどいる。しかし、20歳代は150人、10歳代は80人、0歳から9歳までは35人。

1月22日、150人を超える参加者を得て、キリスト教一致の祈禱会がカテドラルにて開催された。祈禱会は、川上惣一神父(福岡教区主管)を主司式者、泉清隆牧師(日本バプテテスト連盟、野方キリスト教会)、入江清弘牧師(日本基督教団九州教区)を共同司式者として、開会された。説教を担当した五十嵐正司主教(日本聖公会九州教区)は、歴史的に見ても、カトリック、聖公会やプロテスタント教会がともに集い、祈りが出来るのは、祝うべきこと、奇跡に近いことだと述べて、聖



主司式の川上神父と各教派の牧師の方々

公会が抱える問題を率直に語りながらキリスト教一致の意義について説明した。説教の中で主教は「聖公会の教会の分裂の一要因として、同性愛の問題がある」として、同性愛者であることを公表した知人の女性が聖職に着いていく話を紹介した。「最初、自分は倫理道徳にもとめるような問題に対して、拒絶反応しなかった。しかし、彼女との出会いを通して、彼女に心を開いていく中で自分の思いが変えられていった。人間として、どうしても受け入れられない考えもあり得る。しかし、聖公会が大事にしている3つの柱すなわち、聖書、伝統、そして人間の理性を道しるべとして、私たちも互いの違いを受け入れ、のり越えながら教会一致の運動を希望を持って推進していこう」と語った。

今回の祈禱会の中で「オブワテク」の分かち合いは、参加者一同、非常に印象的なものとなった。それは、今年の式文の草案担当の国ポランドでは、クリスマスの時に家庭や教会で「オブワテク」と呼ばれる特別なウエハースを分けて食べるという独特の習慣があり、それを分かち合うことは、一致と愛と赦しを表すと言う。



平和の挨拶を交わしながらオブワテクを分かち合う

「オブワテク」が祭壇上に奉納され、平和の挨拶を交わしながら、参加者は「オブワテク」を分かち合っていた。一致の恵みを喜び、祈り、散会した。(M)

150人でキリスト教一致祈禱集会 公会が抱える問題を率直に語りながらキリスト教一致の意義について説明した。説教の中で主教は「聖公会の教会の分裂の一要因として、同性愛の問題がある」として、同性愛者であることを公表した知人の女性が聖職に着いていく話を紹介した。「最初、自分は倫理道徳にもとめるような問題に対して、拒絶反応しなかった。しかし、彼女との出会いを通して、彼女に心を開いていく中で自分の思いが変えられていった。人間として、どうしても受け入れられない考えもあり得る。しかし、聖公会が大事にしている3つの柱すなわち、聖書、伝統、そして人間の理性を道しるべとして、私たちも互いの違いを受け入れ、のり越えながら教会一致の運動を希望を持って推進していこう」と語った。

今回の祈禱会の中で「オブワテク」の分かち合いは、参加者一同、非常に印象的なものとなった。それは、今年の式文の草案担当の国ポランドでは、クリスマスの時に家庭や教会で「オブワテク」と呼ばれる特別なウエハースを分けて食べるという独特の習慣があり、それを分かち合うことは、一致と愛と赦しを表すと言う。

「オブワテク」が祭壇上に奉納され、平和の挨拶を交わしながら、参加者は「オブワテク」を分かち合っていた。一致の恵みを喜び、祈り、散会した。(M)

祭壇奉仕者選任式ご案内 日時：2月19日(日) 9:30 場所：カテドラル大名町教会 被選者：フランシスコ 朴 鎮亮 神学生 司式：ドミニコ 宮原良治司教 *お祈りと参加をお願いします。 青年が持参したワインで乾杯した。

1597年2月5日、長崎西坂の丘で26人が磔刑を受け、神を賛美しながらいのちをささげた。ペトロ・パプスタ・プラスケス神父ほか5人のフランシスコ会宣教師、パウロ師、パウロ師、三木ら3人のイエズス会士、そして17人の日本人信徒たちである。彼らは京都、大坂で捕らえられ、長崎に送られた。一人ひとりの人生の旅が

また、彼らは神の前に生きる真の人間の姿をあらわしている。神の愛のうちに養われ、その恵みに応えて自らも愛を生きたのである。自身をささげる祭壇に向かう最後の旅においても、あますところなくまごころを注ぎ出していった。

た。親を思う子の愛を、友への信頼と感謝、召命への忠誠と責任感を。 1862年6月8日、彼らは教皇ピオ9世により列聖された。時は幕末、日本が開国するに当たり、ローマは日本の教会の再興を願っていた。 信仰のぬくもりある絆を生きた教会が、証し人を育てた。殉教は信仰の宣言であり、愛の最高のしるしである。いま、わたしたちも、信仰が希望の道筋を照らし出すことを体験するために、一歩を踏み出したいと思う。 崎津・大江教会主任

日本の古典、文学に精通しているドナルド・キーンというアメリカ人の文学者がいる。昨年の大震災や原発事故で多くの外国人が日本を去ったというのに、彼は何と日本に永住し、帰化すると言った。そして日本人の一員として日本の心、日本の文化を守り育てていくのに微力を尽くすと語る。彼の決意を読んで、日本人として恥ずかしくなかった。また彼は言う。こうした災難からも日本人はきつと立ち直って行くはずだと、なぜなら日本人は強い(つよい)からだ、と。こんな「つよい」は見たことがなかった。辞書によるとこの字は、「織機のため糸を張りかけた形。上下の力の緊張した関係にあるものを示す。力は筋力の意。頸部は人体においても最も力の強健なところである」とある。キーンさんは、単なる「強さ」ではなく、私たちが全身で、日本の復興に力を振るうことを、この「勁」という文字に託していると言える。この「勁」とは個人の肉体的、精神的な強さを越えた何か別のところから来るのではない。それは、人と人との連帯、信頼関係、思いやり、配慮、気遣いなど、かつては日本人が持っていた美しい感覚、振舞いである。もし、キーンさんが「勁さ」という言葉の中にこのような意味を含ませているとすれば、かつて私たちが持ち合わせていたけれども、今は忘れかけてしまっているものをもう一度一緒に見出し、生きていきたいと思います。この呼びかけにも取ることが出来るだろうか。キリスト者である私たちがこの「勁さ」を大切にしたいと思う。(M)

日本の古典、文学に精通しているドナルド・キーンというアメリカ人の文学者がいる。昨年の大震災や原発事故で多くの外国人が日本を去ったというのに、彼は何と日本に永住し、帰化すると言った。そして日本人の一員として日本の心、日本の文化を守り育てていくのに微力を尽くすと語る。彼の決意を読んで、日本人として恥ずかしくなかった。また彼は言う。こうした災難からも日本人はきつと立ち直って行くはずだと、なぜなら日本人は強い(つよい)からだ、と。こんな「つよい」は見たことがなかった。辞書によるとこの字は、「織機のため糸を張りかけた形。上下の力の緊張した関係にあるものを示す。力は筋力の意。頸部は人体においても最も力の強健なところである」とある。キーンさんは、単なる「強さ」ではなく、私たちが全身で、日本の復興に力を振るうことを、この「勁」という文字に託していると言える。この「勁」とは個人の肉体的、精神的な強さを越えた何か別のところから来るのではない。それは、人と人との連帯、信頼関係、思いやり、配慮、気遣いなど、かつては日本人が持っていた美しい感覚、振舞いである。もし、キーンさんが「勁さ」という言葉の中にこのような意味を含ませているとすれば、かつて私たちが持ち合わせていたけれども、今は忘れかけてしまっているものをもう一度一緒に見出し、生きていきたいと思います。この呼びかけにも取ることが出来るだろうか。キリスト者である私たちがこの「勁さ」を大切にしたいと思う。(M)

た。親を思う子の愛を、友への信頼と感謝、召命への忠誠と責任感を。 1862年6月8日、彼らは教皇ピオ9世により列聖された。時は幕末、日本が開国するに当たり、ローマは日本の教会の再興を願っていた。 信仰のぬくもりある絆を生きた教会が、証し人を育てた。殉教は信仰の宣言であり、愛の最高のしるしである。いま、わたしたちも、信仰が希望の道筋を照らし出すことを体験するために、一歩を踏み出したいと思う。 崎津・大江教会主任

た。親を思う子の愛を、友への信頼と感謝、召命への忠誠と責任感を。 1862年6月8日、彼らは教皇ピオ9世により列聖された。時は幕末、日本が開国するに当たり、ローマは日本の教会の再興を願っていた。 信仰のぬくもりある絆を生きた教会が、証し人を育てた。殉教は信仰の宣言であり、愛の最高のしるしである。いま、わたしたちも、信仰が希望の道筋を照らし出すことを体験するために、一歩を踏み出したいと思う。 崎津・大江教会主任

た。親を思う子の愛を、友への信頼と感謝、召命への忠誠と責任感を。 1862年6月8日、彼らは教皇ピオ9世により列聖された。時は幕末、日本が開国するに当たり、ローマは日本の教会の再興を願っていた。 信仰のぬくもりある絆を生きた教会が、証し人を育てた。殉教は信仰の宣言であり、愛の最高のしるしである。いま、わたしたちも、信仰が希望の道筋を照らし出すことを体験するために、一歩を踏み出したいと思う。 崎津・大江教会主任

た。親を思う子の愛を、友への信頼と感謝、召命への忠誠と責任感を。 1862年6月8日、彼らは教皇ピオ9世により列聖された。時は幕末、日本が開国するに当たり、ローマは日本の教会の再興を願っていた。 信仰のぬくもりある絆を生きた教会が、証し人を育てた。殉教は信仰の宣言であり、愛の最高のしるしである。いま、わたしたちも、信仰が希望の道筋を照らし出すことを体験するために、一歩を踏み出したいと思う。 崎津・大江教会主任

みことばの僕になるために (I)

森山信三神父



アジア各国から参加している司祭や修道者と、今回、サバティカル研修の機会をいただいた。3か月の英語での聖書集中講座を受講しました。場所はネミという場所で、ローマから車で1時間程度のところにある。カステルガンドルフォといつて教皇様が毎年、夏季休暇をお取りになる町で有名です。

宿泊は神言会が経営する黙想の家のような施設で、標高も高く快適な場所ですが、ローマまで行くのにバスを3回乗り換えなければならず、それだけがちよつと難点でした。研修の参加者は、主にアジアからの司祭や修道者で17名でした。みなよく英語を上手にしゃべりますので、それについていくのになりに苦労しましたが、彼らとの出会いも貴重なものとなりました。フィリピンや韓国以外、日本と同じようにキリスト者は少数の国から皆参加していません。信徒の皆様とそして一般

のテーマ、体験」と記しています。解放？…これって、私が今、求めていることだ。1時間半の中で目からウロコが何枚落ちたことか。いや、いつか私の目には何枚かのウロコが付いているんだろう。「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」

これから1年間の「聖書に集う会」でどれだけ殻を打ち破り、信仰的に成長できるか楽しみです。「お言葉どおり、この身になりますように」「わたしは世の終わりで、いつもあなたと（・・・）とにいる」受諾と安心。文字面ではなく血肉となるように冗談を言いながら自然な信仰が身に付くように、神父様や参加者の皆さんと一緒に歩んで行きたいと思えます。佐賀教会信徒 白浜光子

「なぜ参加しましたか？」との問いに、青年の参加者は、「もつと聖書を知的に学びたいから」と答え、いっぽう熟年の参加者は、「みことばの希望を感じた。」

最後に、「マルコには書かないではないか、熱い思いがあった。だから、マルコ福音書を読むとき、そこに込められているマルコの熱い思いに触れるよう努めよう」と締めくくった。今後、この集いがどのような方向に進むのかは流動的で、参加者と主催者の両者による話し合いで決まるようだが、「マルコの熱い思い」に

『聖書に集う会』を始めました



1月10日（火）、午後七時からサンパウロにおいて「聖書に集う会」が開催された。30余人の参加者は、近隣の笹丘教会、大名町教会、西新教会の信徒が中心だったが、遠くは佐賀からの参加者もあった。参加者の多くは熟年で、熟年層の意欲とパワーを感じさせる一方、若者たちの参加もあり、彼らの存在に教会の希望を感じた。

講師の鈴木信一神父（パウロ会）は、参加者人数が多い事に戸惑いを隠せない様子だったが、「マリアの元日」の話から始まり、四福音書が生み出されていく様子を、身振り手振りをまじえてわかりやすく説明した。話の後半では、マルコが描くイエス様の特徴が「奇跡と癒し」にあり、マタイやルカが描くイエス様とは一味違っていること、マルコはイエス様の奇跡の力を強調しながらも、イエス様を受難と結びつけていることなどの説明がなされた。

「二年の計は元日にありと言いますが、元日と言えどもマリア様の祝日ですね。マリア様の一年の計は何だったんでしょう。『わたしは主のはしめです、お言葉どおり、この身になりますように』かな。一年の計どころか、毎日だったかもしれないね」と神父様。：ああ、わたし、忘れていた：「この身になりますように」ということ。

「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」

「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」

「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」

み言葉を読み、聴き、味わうよろこび

触れる集いになることを願いたい。（今回は2月13日午後7時から）

「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」

成人式を迎えて人を支える存在に：



後藤千鶴

私は今年、成人式を迎えました。成人式を迎え大人の仲間入りをしました。正直なところまだ一人前の大人になれていないと思います。頼っていることもたくさんあり、自分で出来ないことがあれば、誰かがやってくれ助けてくれるだろうと、甘えている部分があります。しかし、今は働いている老人ホームで、少しずつですが成長させていたでいるのではと思っています。老人ホームに入所されている皆さんは、いつも「ありがとう」と笑顔の言葉を下さいます。少しでもこの方々の役に立つことが出来るのだと思うと、とても嬉しいです。

「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」

ちょっと一息



*キリキリと受験鉢巻親がしめ
*玉子酒作ってくれる母も咳
坂牧春妙
深堀正平

「質問しようか。はい、白浜さん。」「えっ！神父様、そんな難しいことを私に振らないでください。冗談でしか答えられない私ですが、この勉強会に参加したのは「今のこの私」という殻を打ち破るため、打ち破つてもうたためでした。ちょうど難が卵から孵るときに殻をつつき、その音を聞いた親鳥が外からつついて助ける（卒啄同時）ように。」



柚木文香

成人式を迎えて困難に屈しない強さ
飯塚教会信徒

来住英俊神父による四旬節の講話

*日帰り (10:30~14:30) 費用：2000円+食費	*1泊 (16:30~15:00) 費用：9000円 (3食含)
◇3月15日(木) マルコによる受難①	◇3月17日(土)~18日(日) 主の受難にあずかるとは？
◇3月22日(木) マルコによる受難②	◇3月24日(土)~25日(日)
◇4月2日(月) マルコによる受難③	

カトリック福岡黙想の家
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel.0940-32-3222 Fax 0940-32-3385
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン

ヴァノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ (赤) (白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

福岡司教区 美野島司牧センター

コース・マルセル 神父



福岡市中央区の須崎公園で焼肉大会で支援

18年前に当センターが開設したとき、以後どのような施設になるのか、まったく分かりませんでした。1990年代、日本政府は労働力の不足を補うために、ブラジルとペルー在住の日系人に労働ビザを発行し多くの人が仕事を求め、一挙に日本に上陸することになりました。

当時の松永司教様は、外国人司牧の中心に位置する聖堂、司祭館さらに隣接の幼稚園の建物を私に委ねられました。今日「美野島司牧センター」と呼ばれていますが、私にとりてこれは大なる試練と挑戦の始まりでした。私は特別なことは何もしていませんが、色々々な人に出会って、彼らに心を開き、神の導きを感じ、皆さんを歓迎することだけ、皆さんのセンターになりました。私にはとても不思議なことです。外国人労働者から始めて、ホームレス、薬物依存者などいつの間にか、社会の底辺に押しやられた小さな、貧しいのけ者が、もつと人間らしく生きていくことを求め始める

たのです。そして、思想、宗教、文化などを越えて様々な人の協力の中で活動を続けました。美野島司牧センターは、限界をもった小さな存在です。一つの問題でも多くの方々、NPO、NGOとの連携なしに何も出来ないといつてもいいくらいです。だからといって悲観してはいるわけはありません。なぜなら、一つの問題を通して、多くのすばらしい方々に出会うことが出来たからです。社会の中にあって、多くの善意ある方々に働いている神の霊を知ることに出来たからです。弱い立場に置かれてる人々と歩むことは困難を伴います。しか

し私は日本の社会を、「のけ者」にされた底辺の人々からの視線で見ることが学びました。彼らとの出会いを通じて社会分析、社会現象を整理することを余儀なくされたのです。社会のメカニズムがわかかなければ、自分のやるべきことが進まない。どうすれば、そうした「のけ者」たちが社会に参加できるのか。あるがままの姿でこの社会に参加出来るのか。人間として尊厳を取り戻し、自律性を回復出来るのか。どうすればそうした人間と関わることで、社会全体がより人間的となり、私流に言えば、福音に近い社会の実現となるのか。それを知る

東日本大震災で、家も家族も失った方々の流入が懸念されています。また、職に就けない若者からの相談等も見受けられます。まだまだ私たちの小さな働きですが、少なからず「必要」とされています。みなさまどうぞ、ご参加ください。美野島スタッフ

今年7月より『外国人登録法』が廃止され、『在留管理制度』に移行

外国人登録法を廃止して、新しい在留管理制度に移行します。

(2012年7月から実施)

改定入管法の3つのカテゴリー

	現在の「外国人登録法」では	改定後	
		「入管法」「入管特例法」では	「住基法」では
①特別永住者 在日韓国人・韓国人・台湾人 留学生	市区町村で 「外国人登録証」交付	市区町村で 「特別永住者証明書」交付	市区町村で 「外国人住民票」作成
②中長期在留者 永住者、配偶者など	市区町村で 「外国人登録証」交付	地方入管局で 「在留カード」交付	市区町村で 「外国人住民票」作成
③非正規滞在者 超過滞在者・自力入国者 (オホ・ホステイ) など	市区町村で 「外国人登録証」交付	「在留カード」は交付されない	「住民票」は作成されない ／削除される

②中長期在留者（永住者、配偶者など）
*これまで、市区町村で「外国人登録証」を交付していました。
*今後は、改定「入管特例法」では地方入国管理局で「在留カード」を交付します。
*改定「住基法」では市区町村で「外国人住民票」（改定前：「登録原票記載事項証明書」）が作成されます。

Ang dating "Alien Registration Act" ay mawawala at mapapalitan ng bagong sistema ng pamamahala ng paninirahan ay ipapatupad

(Isasagawa ito mula sa Hulyo 2012)

Tatlong (3) kategorya para sa pagbabago ng "Batas na Kontrol ng Imigrasyon"

	Kasalukuyang "Alien Registration Act"	Pagkatapos ng Pagbabago	
		Binagong "Immigration Act at Special Act"	Binagong "Basic Resident Registration Act"
①Espesyal na Permanenteng Residente Korean at Taiwanese na hinirang sa pamamagitan ng Espesyal na Batas.	Isyu sa "Certificate of Alien Registration" sa pamamagitan ng lokal na pamahalaan	Isyu sa "Special Permanent Resident Certificate" sa pamamagitan ng lokal na pamahalaan	Isyu sa "Residential certificate" para sa isang dayuhang residente sa pamamagitan ng lokal na pamahalaan
②Medium sa Long term na maninirahan Permanenteng residente, mga mag-aaral ng kolehiyo, dayuhang mag-aaral	Isyu sa "Certificate of Alien Registration" sa pamamagitan ng lokal na pamahalaan	Isyu sa "Residence Card" sa pamamagitan ng lokal na tanggapan ng imigrasyon	Isyu sa "Residential certificate" para sa isang dayuhang residente sa pamamagitan ng lokal na pamahalaan
③Dayuhan na walang katayuan ng paninirahan Mga walang visa pero tuloy pa ring naninirahan at iba pa	Isyu sa "Certificate of Alien Registration" sa pamamagitan ng lokal na pamahalaan	"Residence Card" ay hindi ibibigay	"Residential certificate" para sa dayuhang residente ay hindi ibibigay / eliminado

② Medium at long term na naninirahan (kabilang ang isang permanenteng residente at asawa).
* Dati, ang "alien registration card" ay binibigay sa mga distrito at munisipyo.
* Pagkatapos ng pagbabago ng "Special Immigration Act" sa immigration bureau, ang "residence card" ay ibibigay.
* Card para sa mga dayuhan ay ginawa sa pamamagitan ng pagbabago na "house group method" (bago magbago: "Registration Certificate ng Residente" nakasaad) sa mga munisipyo ng Lungsod at Distrito.

Catholic Commission of Japan for Migrants, Refugees and People on the Move NAGASAKI CHURCH DISTRICT SEMINAR 2011

Date: February 11th in 2012 (Saturday)
Time: 9:00 - 15:30
Place: KUMAMOTO MARIST SCHOOL
2-11-54, Kengun, Kumamoto-shi
Theme: To Live in Harmony with Faith and Social Responsibility

☆ An application is to "Catholic Commission of Japan for Migrants, Refugees and People on the Move"
〒135-8585 2-10-10, Shiomi, Koto-ku, Tokyo In the Japan Catholic hall ☎ 03-5632-444

☆ The official application deadline has passed; however, more application is negotiable by contacting the following phone number. 03-5632-4441.

2011年度日本カトリック難民移住移動者委員会 長崎教会管区セミナー

日時: 2012年2月11日(土)
時間: 9:00 - 15:30
場所: 熊本マリスト学園中学校・高等学校
熊本市健軍 2-11-54
テーマ: To Live in Harmony, with Faith and Social Responsibility
— 信仰と社会的責任をもって、調和の中に生きる —

☆お申し込みは「日本カトリック難民移住移動者委員会」まで!
135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館内 ☎ 03-5632-4441
☆申込締切日は過ぎていますが、ご希望の方は03-5632-4441までお電話ください。

難民移住移動者委員会からお知らせ

配信電子書店名
Android Market / au one Market / Tsutaya Galapagos BookLive! / Lismo Book Store / Reader Store 紀伊國屋書店 BookWeb / Book Place / Raboo / BooksVhonto / ソフトバンクブックストア / dマーケットブックストア / 楽天ダウンロード

電子書籍第1号 配信開始!!
★『だいじょうぶだよ』
文・イラスト 晴佐久昌英神父
スマートフォンにダウンロードすれば、自分の手の中に「だいじょうぶだよ」のことが入り、いつでも読むことができます。紙の本とまた違った感覚で、このことばに接することができるでしょう。
女子パウロ会 定価¥450

☆諸聖人の福音 荒木関巧 著
BOOK 読み専科
毎日のミサ典にそつた聖書のみことばの黙想書。身近な出来事をたくさん取り上げ、カトリック司祭による親しみやすい黙想書。聖書の勉強や教会学校、また、み言葉の祭儀などで幅広くご利用ください。
サンパウロ発行
税込定価 3675円

大歓迎! 訪問・電話・郵送
信んでもお問い合わせください
株式会社 ジャパン・スマイルか
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目3番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表: エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅 (新築・改築工事)
・鉄骨工事 ・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
〒810-0044 福岡市中央区大宮2丁目7番1号
TEL 092-741-4888 FAX 092-741-4861
URL http://www.pax-inc.co.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ②

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い 『マルコによる福音書を読む』
日時：3月18日(日) 14:00
テーマ：歩みのはじめ！ 最初の感激
講師：十時伸治神父(光丘教会協働司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
～マルコによる福音書に導かれて～
日時：4月15日(日) 14:00～16:30
予定日：6月17日/9月30日/11月18日
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会
問合せ先：☎093・293・4981 松尾

聖書に集う会

日時：2012年2月13日(月) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何？
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも/参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)
申込：不要
次回：3月5日(月)
連絡先：092・721・2032(平日10:00-18:00)

寒空の下に待っている方がいます！
越冬炊き出しボランティア募集！

スープレシピの会
活動日時：2月から3月第2週までの毎金曜日
調理ボランティア 13時
大名町教会1階厨房
配布ボランティア 20時
大名町教会1階講堂
また、献品・献金のご協力もお願い致します。
主催：カトリック大名町教会スープレシピの会
TEL 080-4317-4152
TEL 080-1793-0481
後援：福岡地区信徒協宣教会

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第4回

日時：2012年2月26日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：養成(祈りと分ち合い)
第二部：開会(祈りと種々の報告)
第三部：活動協議事項(東日本大震災一周年など)

募集中 第50回クルシヨ開催のご案内

日程：2012年5月4・5・6日
場所：福岡黙想の家
指導司祭：竹森勇神父(水巻教会)
参加費：12,000円
申込期限：2012年3月20日厳守
連絡先：☎093-592-0316 徳永哲
主催：福岡教区クルシヨ担当



福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

今月から四旬節に入りま
す。大震災後はじめての四旬
節。多くの方々の苦悩と死に
ついて黙想いたしましょう。
彼らの苦悩と死は、私たちの
生と無関係ではないはずで
す。何故私ではなく彼が...
これは多くの人の問いでし
た。彼らの死を意味あるもの
とするのは私たちです。生か
されていくことに感謝すると
ともに、キリストの十字架に
与っている人々を特別に記憶
する四旬節になりますよう

編集後記

震災のための祈りリレー
(日時) 2012年2月11日(水)
7:00 ミサ聖祭～
19:00 夕の祈り
(場所) 福岡黙想の家 宗像市名残
(問合せ先)
fr05abe19ko@yahoo.co.jp
Br. 阿部光一(聖パウロ会)
*どの時間帯にも参加自由

平和を共に考える
2月12日佐賀の集い
演題：『ひばく体験と平和責任～ナガサ
キで「3・11フクシマ以後」を考える』
日時：2月12日(日) 14:00～16:00
講師：高橋真司氏(長崎大学客員教授)
会場：カトリック佐賀教会聖堂
参加費：無料
主催：佐賀カトリック正義と平和協議会
問合せ先：森内慎一郎(Tel 0952-73-1573)

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

パライツ、パライツ
イエズス、マリア
1633～2012
サンパウロ福岡宣教センター
TEL 092-721-2032

案内板

会合と催し

2月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 2月

4日(土)～5日(日) 在俗カノッサ会黙想会
10日(金)～11日(土) 聖マリア在俗会黙想会
11日(土) 震災のための祈りのリレー 7:00～19:00
12日(日)～17日(金) 日本カトリック神学院黙想会
18日(土) 福岡チーナクルム
25日(土)～26日(日) 山口島根地区信者養成研修会
27日(月)～3月1日(木) 北九州説教者セミナー
3月
2日(金)～4日(日) 相即人間学会セミナー
5日(月)～7日(水) 御受難修道会共同体的日
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：2月9日(木) 10時～14時半
・内容：信仰の神秘
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：3月8日(木)「過越」の子羊
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

3日(金) 路上生活者への炊き出し(毎金曜日大名町教会)
5日(日) 年間第5主日/日本26聖人殉教者(1862年)
6日(月) 聖アガタおとめ殉教者
7日(火) 司祭評議会/事務局会議
10日(土) 伊万里トラビスト修道院・盛式誓願宣立式
11日(日) 年間第6主日/ルルドの聖母・世界病者の日
難民移住移動者委員会・長崎教会管区セミナー(熊本マリスト学園) 建国記念日
12日(日) 年間第6主日
↑ラウレンシオ岩永義人(2009年今村教会)
臨時司教総会(～17日)
19日(日) 年間第7主日
フランシスコ朴神学生祭壇奉仕者選任式
22日(水) 灰の水曜日/大斎・小斎
四旬節愛の献金(四旬節中)
26日(日) 四旬節第1主日/今村教会堅信式
今村信徒発見記念日(1867年)
28日(火) (宗法) 幼稚園園長会合/司教顧問会
3月
1日(木) 常任司教委員会
2日(金) 初金ミサ聖祭(浄水通教会10:00)
4日(日) 四旬節第2主日
6日(火) 日本カトリック女性団体連盟理事会(仙台～8日)
7日(水) ↑ミカエル平田寛(2002年門司教会)
9日(金) 教区カトリック幼稚園連盟会合
路上生活者への炊き出し(最終日・大名町教会)
11日(日) 東日本震災祈りの集い
■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：2月18日、3月3日、3月17日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆ 聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・821・6349 森
◆ ザビエル合唱団会員お知らせ(日時) 2月11日(土)/3月10日(土)/4月28日(土) 13時半(場所) カトリック西新教会(指導) 橋本/4月新垣壬敏(会費) 二千円(問合せ先) ☎0940・333・5423 橋本
◆ 第55回福岡典礼聖歌研修会(日時) 2月19日(日) 14時から16時(場所) カトリック大楠教会(内容) 聖週間の典礼聖歌(講師) 深堀純氏(参加費) 感謝献金(問合せ先) 092・541・3730 松山
◆ 在世フランシスコ会集會(日時) 2月19日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
◆ カルメル在世会(日時) 2月20日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話「創立史」(大聖テレジア著)「指導」方ル
◆ グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 2月21日(火) 11時場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 天使ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆ テレジア友の会(読書会)(日時) 3月3日(土) 13時半(場所) 福岡女子カルメル会テレサの家(内容) 「幼いイエスの聖テレズ自叙伝」(問合せ先) ☎092・807・7361(カルメル会)
◆ 福岡ホスピスの会勉強会(日時) 3月4日(日) 14時から(場所) カトリック大名町教会(内容) 福岡県の在宅医療支援制度(講師) 篠原由紀子氏(福岡県医療保健課(参加費) 一般千円・会員500円(問合せ先) ☎092・874・6321 深堀
◆ チャリティコンサートともに祈る(日時) 3月4日(日) 12時30分より13時40分(場所) カトリック笹丘教会(内容) 指揮||尾崎トミ子/歌||ラウターレ/ゲスト||太期晴子(ヴァイオリン)、シエネ・ムジック(トロンチャイム)、岡嶋泰一郎(バリトン)(参加費) 自由献金(主催) ダウラーレ(問合せ先) ☎080・3340・3340

北九州

◆ 美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます！●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分●越冬期ホームレス支援夜回り毎週金曜日20時/2月と3月は大名町教会に集合●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・4331・1419 コース神父
◆ 北九州召命を共に祈る会(日時) 2月9日(木) 14時から(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミレーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) 0949・24・9905 藤井
◆ 小倉祈りの集い(日時) 2月24日(金) 13時30分(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難念)(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209 松田

熊本

◆ 熊本地区召命を共に祈る会(日時) 2月16日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆ カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 3月25日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内
◆ 熊本の集い(日時) 2月16日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

パライツ、パライツ
イエズス、マリア
1633～2012
サンパウロ福岡宣教センター
TEL 092-721-2032

長崎教会管区 東日本大震災復興支援 大槌ベースキャンプ

東日本大震災復興支援 ボランティア募集

＜募集期間＞

2011年10月～2014年3月

＜活動拠点＞

カリタスジャパン大槌ベース
(岩手県)

募集要項(一部抜粋) 詳細はお問い合わせください

◆ボランティアについて
ボランティアの大切な基本の一つは自己管理・自己責任です。ボランティアは自己満足のためではありません。必要や求めに応えることです。

◆宿泊について
宿泊は和室・洋室など共同利用最大40人宿泊可。食料・雑費は提供します。(場合によっては募金持参の場合があります)

◆リスクについて
被災地におけるボランティア活動には様々な危険を伴う場合があります。ボランティア活動に参加される方は、リスクを伴う活動であることを十分に理解し、それらのリスクに対して自己責任で活動していただくことをご承知ください。未成年者については保護者の同意書が必要で、中学生以下のボランティアは保護者または責任者の同伴でご参加下さい。

◆費用について
交通費は原則自己負担をお願いします。

短期・長期問わず募集しています。ご相談下さい。

短期ボランティア

- 仮設住宅訪問 炊き出し
- 在宅被災者の訪問
- ベースおよび出前による喫茶サービス
- 被災者個別支援 洗濯 掃除 炊事
- 物資仕分け 配達通院 買いだし
- 送迎支援など
- 大槌町社会福祉協議会・大槌町NPO
- 非営利組織との連携による奉仕作業
- カリタスジャパン釜石ベース・大槌渡
- ベース・宮古ベース等近隣との連携

長期スタッフ

- ベースでのプロジェクト担当
- 傾聴スタッフ
- 仮設住宅戸別訪問担当
- ベースの管理運営(事務・会計・厨房・その他)

ご応募お待ちしております 福岡教区被災者支援室(教区事務所内)
担当 松井忠之神父 電話:092-522-5139 FAX:092-523-2152
E-mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com



2012年の司祭総会が、一ベルに上げていきたい、とい

2011年度、第5回目の司祭評議会が2月7日(火)に司教館にて開催された。

信徒使徒職協議会のあり方も討議

2011年度、第5回目の司祭評議会が2月7日(火)に司教館にて開催された。評議会の冒頭、この度、教区神学生として認定を受ける朴神学生をはじめ、韓国から神学生候補者5人が司祭団

司祭総会
司祭評議会

今年2回目『教区の日』のあり方は！ 神学生候補者紹介、司祭召命担当からの提言...

1月30・31日、2月7日と福岡教区の司祭総会、司祭評議会が行なわれた。総会では、教区内での司祭の役割の確立や、昨年11月23日に初めて開催された「教区の日」のあり方など熱のこもった討議が行なわれた。評議会では、韓国からの神学生候補者の紹介、年間目標など多岐に亘って討議された。

1月30日(月)から31日(火)まで開催された。新年会を兼ねた総会に、教区内で働く50人ほどの司祭が参加した。みことばの祭儀に続いて、司祭は2日間で司祭に討議してほしい数点の課題について説明した。まず、宣教師の司祭の設置について、各地区で、宣教師の課題について討議するため、司祭、修道士、信徒が集う場を設けてほしい、それが軌道に乗った時点で、教区レ



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】女性の貢献
【宣教】迫害されるキリスト者
【日本の教会】観想修道院の支援

小教区のみならず、教区のレベル、すなわち教区全体から教会の動きを注視できるようにしたいと述べた。



2日目は、グループに分かれてこれらの問題について分かち合った。その中で、司祭の役割について、組織が複雑で分かりにくい、もっと簡素化すべきだという意見や、唐突に発表されて当惑しているといった意見なども見られた。また教区の日については、日取りや内容について否定的な意見が目立ったが、司祭は信徒にもこの日の趣旨をよく説明して、司祭にも協力するよう要請した。

紹介された。議事に入り、まず、年間目標「信仰生涯学習」の取り組みについて、6月に予定されている司祭研修会は、従来の

私の部屋に14時46分で止まった時計がある。言わずと知れた2011年3月11日に起こった東日本大震災の発生時刻である。電

阿部浩一修道士

池の切れ た時計がいくつあつた、使えるようにしたのだが、一つだけどうしても動かず、捨てようかと思っていたもの

家族や親戚、知人の安否、それにもまして原発の事故のことが気になり、何かしなければと思っていた矢先、「震災のために9日間の祈りを捧げよう」との東京の知人からのメール、「そうだ、祈らなければ」と月ごと11日の祈りを思い立った。「震災のための祈りのリレー」は東京教区が平和旬間のときに毎年行っているものがモデル。誰でも気軽にどこでも出来る「ボランティア」かもしれない。毎月11日の案内を送信すると、短い祈りの言葉を添えて参加のメールが届く。多くの祈りの輪、仲間が出来た。いつたどのくらいの人が参加しているのか想像もつかない。

い。そうして1年が経った。1年を区切りやめようと思ったが、被災地の方が「だんだん忘れられていくのが辛い、寂しい」と語っているのを聞いて「続けなければ」と思っている。多分3月11日以降、報道は1年ごとのサイクルが変わっていくような気がする。13ヶ月目の11日にも変わらず記憶して祈り続けようと思う。部屋にある「止まった時計」はベッドのそばの壁にかかっている。目覚めたときも眠りにつくときも同じ時間をさして。

聖パウロ会修道士

に紹介された。議事に入り、まず、年間目標「信仰生涯学習」の取り組みについて、6月に予定されている司祭研修会は、従来の

次に、11月18日に予定されている大名町小教区設立125周年について、司教より駐日教皇大使を福岡にお招きしてはどうかという意向が提案されたが、あくまで大名町としては、小教区の記念日として祝う準備を始めているので、大使の司教訪問については、期日を検討して、別の機会に招くことになった。

また、熊本地区から現在の信徒協を発展解消したかたちを立ち上げてほしいという要望が出された。その理由とし

て、信徒協という組織の見直しの時が来ているのではないかと、信徒協からの呼びかけの情報がなかなか伝わらない、司祭の協力が無い等の点があげられた。

宣教師評議会のメンバーとしては、司祭、信徒、修道士であるが、各代表だけか、あるいは地区の全司祭なのか、など種々の意見が交わされたが、差し当たり熊本地区では、共通理解が出来ているようなので、このシステムをスタブトさせ、他の地区も検討に入っていくことで合意した。

また、司祭レベルでは福岡、佐賀、熊本、北九州地区の4地区であるが、信徒レベルではこれに筑後地区が加わり5地区という区分けがされている点についても、福岡、筑後両地区長及び信徒協担当司祭で検討し、齟齬がないように明確化することが決まった。

最後に報告として、召命担当杉原寛信師より、司祭召命養成協力のため司祭・信徒等を各地区で選出するよう要請があった。

また教区会計松井師からは、「司祭の家」の返済のため

◆多々・武雄両教会主任(武雄幼稚園園長兼任) 伊東成晃(久慈教会派遣終了)

◆小倉教会協働(小倉幼稚園副園長兼任) 小倉幼園長(神言会)

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長兼任) レヴィンキー・アンジェイ(神言会)

◆光丘教会協力司祭 二ピター・チェ(小倉教会協力退任) 那覇教区司祭

◆杉原寛信 飯塚教会主任代行解任

◆L・マネルバ 武雄教会主任解任

◆P・スタン 多々教会主任解任

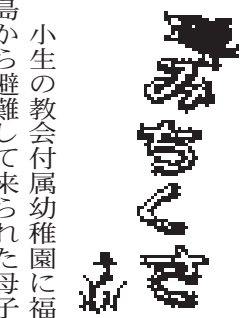
◆十時伸治 留学(聖書神学)

◆J・R・サントス 神言修道会管区へ

◆司祭人事異動

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長兼任) 小倉幼園長(神言会)

小生の教会付属幼稚園に福島から避難して来られた母子がおられる。5歳のKちゃん。地震で恐ろしい体験をしたばかりではなく、原発の脅威から逃れて福岡の地で生活している。東北の劇団が「アテルイ」という演劇を福岡で開催する。アテルイの息子役に東北に縁のある子どもを探していた。彼女に出演の依頼があったとき、Kちゃんは最初乗り気がしなかったという。アテルイとは、8・9世紀、大和朝廷が黄金を求めて東北に侵攻したとき、蝦夷軍を率いて執拗な抵抗を続けるものの処刑されてしまうという実在の人物である。ある日、Kちゃんは、お母さんから「福島に原発があるかを教わる。福島は人口も少なく、またそこで作られる電気は東京に送られる、つまり自分たちは大きな力の犠牲になっていることを子どもながらに気づくことになる。そのときからKちゃんは、役を引き受け、一生懸命に練習するようになったという。演劇会当日、ホールはほぼ満員。公演時間は1時間45分の予定というが、1時間40分になってもKちゃんは登場しない。が、しかしついにはクライマックスに登場。可愛らしい中にも堂々たる姿だった。公演後、母は言った「やさしくて強い子になりたいたい」というこの子の気持ちを大切に子どもを命を守ってあげたい」と。原発は多くの人々に計り知れない苦痛を与えている。しかし、大きな悲しみと苦しみにながら懸命に立ち上がろうとする姿にこちらが勇気づけられる。大震災から1年被災者のために援助と祈りを続けよう。



教区神学生として認定式と選任式



ベネディクト 朴 鎮亮 神学生

福岡教区司祭として働きたいと、一昨年一時来福して日本語の習得に励むなど準備してきた。

式は、カテドラル大名町教会の通常の主日の朝のミサの中で行われた。



朗読奉仕者に選任され聖書を授けられる朴神学生

入祭のあいさつの後、朴神学生は、担当者の呼び出しに「はい」と答え、宮原司教の前に進み出て、将来、助祭・司祭の叙階を受けて教会で奉仕職を果したいとの望みを表明、福岡教区の叙階候補者として正式に認定された。

みことばの僕になるために (2)

森山信三神父

ローマでの聖書集中講座は、毎週テーマと講師が変わったが、一貫していたことは、レクチオ・デイピナ(霊的読書、聖なる読書)の重要性であり、このことが繰り返して語られた。第1週の講義のテーマは「王よ、私たちに(み言葉を)読むことを教えて下さい」であった。3ステップの霊的読書法が紹介された。第1

ステップは、聖書の文字通りの意味を把握することである。まずテキストをゆっくり音読し、数分沈黙する。そして、心に響いた言葉、フレーズを単純に分かち合う。説明や議論をしない。第2ステップは文字通りの意味から今度は、神の生きた言葉として霊的な意味を探る。第1と同様に同じテキストを音読し、数分の沈黙。そして自分にとってこの箇所はどんな霊的糧を与えてくれたか、この私に神は何を語りかけておられるのかを分かち合う。第3ステップ。みことばに対する応答である。同じテキストを今度は3

回読む。深い沈黙と祈りがこれに続く。このテキストに応じて、私はどう行動すべきか、どんな回心を要求されているかを分かち合う。各自が祈りと願いを捧げ、聖歌を歌って会合を終える。この方法で、1週間毎日様々なテキストから分かち合いが続いた。貧困(タイの修道者)や抑圧、迫害の中で(バキスタンの司祭)働く司祭や修道者の分かち合いは感銘を受けた。彼らにとって聖書は自分たちが生きていく力の源泉だということも伝わってくる。勿論私にとっても聖書は、霊的な糧であった。しかし、彼らにとつ

てみ言葉は、厳しい生活環境の中で唯一の光であり、支えなのである。と同時に聖書は単に読むための本ではなく、祈りの本であるということも教えられた。「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉もむなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす。」(イザヤ55章10節から11節)

2月19日(日)、朴鎮亮(ベネディクト・神学生)の助祭・司祭候補者認定式、朗読奉仕者ならびに祭壇奉仕者選任式が行われた。朴神学生は韓国・テジョン教区の出身で今年41歳。宮原良治司教の招きを受け

は、神のことばに任せ、それを人々に告げ知らせる務めが委ねられ、その使命を果たすために自らみことばに養われ、言葉と行いによってそれを証しする者となる決意を表明した。そしてこの日の典礼において、授けられた日本語

「日本を愛しています。この国で宣教に励みたいので、お祈りの支えを」と日本語でいさつした。今回の式には、同じく日本で働くことを考えている4人の韓国人神学生の顔があり、

「日本を愛しています。この国で宣教に励みたいので、お祈りの支えを」と日本語でいさつした。今回の式には、同じく日本で働くことを考えている4人の韓国人神学生の顔があり、

ミサ聖祭に続くお祝いの式で、教区神学生養成担当の杉原寛信神父(新田原教区)は、「これからの多くの困難を、これまでの人生経験を生かして乗り越えてほしい、その姿が後に続く神学生と信徒の皆様への強い模範となります」と激励した。

主日のミサの中の選任式が初めてだったこともあり、「司祭になるために、こんなにも丁寧な儀式があるんですね。感動しました」と、ミサに参加した信徒が語っていた。

自分の目で確かめたい!

去年の3月11日、東日本の太平洋沿岸に強い津波が押し寄せました。僕も家のテレビでその光景をみてこれが現実なのかと衝撃を受けました。

この衝撃は、だんだんと「行ってみたい!自分の目で確かめたい!」という欲望に変わり、ついに松井神父様を紹介してもらい、僕は被災地に建てることになりました。



今は雪がいっぱいだと思う仮設住宅

す。申し込んで行くと食事や活動先(仕事)も紹介していただけです。大槌町に着いた時はもう真暗でした。町内には街灯もほとんどなく、釜石駅からキャンプまでタクシーに乗ったのですが辺りは何もみえませんでした。

被災地は今、助けを必要としているし、自分のためにも被災地に行くことに間違いではないと思います。こんな事を言っているのか分かりませんが、震災でもとにかく起こったのなら自分のために、人のために活かしましょう!!!被災地の復興はもう始まっています。震災は忘れられないもの、自分が忘れないためにも、後に伝えるためにも、まずは被災地に行きましょう。行けなくても募金など協力できることはいろいろあると思います。なにか行動を起こすことが大切なのだと思います。

今回は大槌町にある「カリタスジャパン・大槌ベースキャンプ」という施設に泊まらせていただきました。ここは長崎教会管区の協働で、ビジネスホテルを改造して作られたボランティア宿泊施設です。

初日は1日被災地を歩き回ったのですが、崩れた橋や残った家の中、小学校、そして結婚式を記録した本などなど、津波がさらっていった物がたくさんあり、来ることを楽しみにしていた自分が情けなく思えました。

2日目はボランティアとして仮設住宅で焼きそばを販売しました。そこではなにかをつぶやきながら歩き回っている人がいて、津波は人の心も壊してしまうのかと思いましたが、また、自分が来たことをとても喜んでくださる方もいて、人の力ってすごいなと感激しました。キャンプでは家庭的雰囲気の中で、いろいろな方と話が出来るように思えるのですが、書いたことの何倍も多くのことを学び感じさせていただけました。

召命祈願ミサについてお知らせ

1997年6月に「福岡サン・スルピス大神学院」と「福岡地区召命を共に祈る会」の共催によって始められた「召命祈願ミサ」も、2012年1月12日のミサで90回を迎えました。この間、主の祭壇へと多くの神学生が召され、召命祈願ミサは参加者一同にも大神学院の典に礼にあずかる喜びと祈りの力強さを体験する機会でもありました。

しかし、時の流れと大神学院の統合など様々な変化が起きてきました。現在、召命養成のためのミサ、祈祷会等は北九州、熊本地区、福岡地区などそれぞれの地区の教会などで祈られています。従って、日本カトリック神学院福岡キャンパスを会場とした共催での召命祈願ミサを終了し、場所を移してこれまでのように「福岡地区召命を共に祈る会」が主催して召命祈願ミサを捧げる事になりました。場所は、会場になるカテドラル・大名町教会に

ご協力をいただき、日時についてはその都度のお知らせ、教区報での案内などで行なうことといたします。これまで召命祈願ミサを共にささげ、お祈りいただいた多くの信徒・修道者の皆様にご感謝申し上げます。また、召命養成は教会にとりまして重要なことですので、今後も大名町教会にて捧げられる召命祈願ミサにお集まりいただき、お祈りいただきますようお願いいたします。次回召命祈願ミサは4月11日 福岡地区召命を共に祈る会

ちょっと一息



*指揮棒が降り一楽章分の咳 *再会の人四五年をしゃべりあげ

坂牧春妙 深堀正平

来住英俊神父による四旬節の講話

- *日帰り (10:30~14:30) 費用: 2000円+食費
- ◇3月15日(木) マルコによる受難①
- ◇3月22日(木) マルコによる受難②
- ◇4月2日(月) マルコによる受難③

カトリック福岡黙想の家
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel.0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ **VINO DE MISA**
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは 有限会社 **大楠酒店** ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

福者小笠原玄也一家殉教の朝を偲ぶ



1月30日(月)、福者小笠原玄也一家15人の殉教記念日に当り、早朝6時より花園山殉教者墓地広場にて、「巡礼者、早朝の祈りの集い」が行われた。大寒の厳しい寒さの中、熊本市内各地より、修道者、信徒約50人がここに集まった。

司祭は、会衆を前に招きの祈りを唱え、続いて、早朝の静寂の中で、聖書が朗読された。「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものはそれを失うが、この世で自分

この集いに毎年参加している男性の信徒は、「東日本で大震災があり、今年は身の引き締まる思いでこの集いに参加しました。」と次のように感想を述べた。

「15名の殉教者の中で、三女『つち』と三男『権之助』は幼くして殉教した方です。東日本では、両親を亡くした子どもたちが大勢います。私は子どもたちがこれから荷負う十字架を、幼い二人の殉教者におゆだねすることで、ここから連帯感が生まれ、これから先、子どもたちの心のより処となつて下さるよう、真剣に神に祈りました」と。

佐賀地区信徒協が研修会



1月22日(日)、佐賀地区

信徒研修会が佐賀教会・佐賀カトリック幼稚園で行われた。昨年9月の福岡教区信徒研修会を受け、その日に参加できなかった佐賀地区の多くの信徒と共に分かち合いができるようにと佐賀地区信徒協が企画したものである。

まず9月の研修会での森一弘司教の基調講演を撮影したDVDを上映し、その後、小グループで分かち合いという形式で行われた。

2月19日(日)、福岡地区信徒協では、宣教会部及び広報部会がカテドラルにて開催された。

宣教会部では、8月の平和旬間の行事として、2年間ほど、教会学校の子どもたち中心の平和授業を開催してきた。この件で、各教会宛でのアンケートの結果が報告され、お盆の集計結果が報告され、お盆の時期は参加困難な教会が多いこと、またこの集いに対して司祭の理解が薄いなど現状が紹介された。その結果、再度検討し、司祭の協力も得ながらすすめていくこととなった。

また、広報部会では、今年

福岡地区信徒協宣教会部会合

の広報の日の行事として、カテドラル大名町教会で5月6日(日)に講演会を行うことになった。講師には、仙台教区大船渡教会の信徒で医者の山浦玄嗣(はるつぐ)氏を招くことになった。山浦氏は、地元の言葉であるケセン語で聖書を翻訳出版している。

昨年の大震災と津波で、出版間近だった新しいケセン語の聖書『ガリラヤのイエシュ』が海水をかぶつたが、出版することができたというエピソードなどもお聞きできるのではないかと、期待を込めて、その準備委員会を発足した。

あかとんぼ 赤蜻蛉

三木 露風

夕焼小焼の あかとんぼ 負われて見たのは 一つの目か。

この詩を作ったのは、彼が北海道のトラピスト修道院にいた頃である。おんぶされて見た赤とんぼ、第三連にある「十五で姐やは、嫁に行きお里のたよりも絶えはてたおんぶしていたのは母だと思つていたが、真実はどちらも十五の姐やである、とのことである。お母さんは露風が赤ちゃんとき、いつも子守唄のようにして長い歌を歌って聞かせていた。「私が詩を作るようになったのは、偏に神様の御恩寵であるが、その中であつて母の愛も、与つて力があつた。それを聞くともいえず、懐かしい気がした」と述べている。彼は一時、北原白秋とともに白露時代を現出した大詩人であつた。大正二年、東海道を旅行中、偶然寄つた沼津天主公教会で、宣教師ピリン師と伝道士水田為一を識り、トラピスト修道院のことを聞き、折柄是非共、修道士になろうと、思ひきはめたのであつた。妻なか夫人と共に大正九年から四年間、文学の講師として招聘された。同十一年、復活祭に露風の才能を見込んで、講師就任を要請した初代院長(フランソワ・ブリーエ)によって受洗した。2人の霊名はパウロとアンナであつた。昭和三年、交通事故に遭い入院妻はすぐに教会に連絡し、病者の塗油が施された。葬儀の中で、教皇ピオ11世と勲四等瑞宝章の叙勲があつたことが披露され、高山小学校代表32人が、近衛秀麿の指揮で「赤とんぼ」を合唱して多大の感銘を与えた。彼は我が国最初のカトリック詩人であつた。

日本カトリック難民移住移動者委員会 長崎教会管区セミナーを開催



2月11日(土・祭日)熊本マリスト学園を会場に、九州各県(長崎・福岡・大分、佐賀、宮崎)から子ども達を含め300人が集まった。

開会のあいさつはシスター細淵則子(難民移住移動者委員会秘書)。基調講演は佐藤信行氏(在日韓国人問題研究所所長、外務省事務局長)。

佐藤氏は、テーマ「改定入管法問題」(2012年7月から実行される改定入管法を検証する)と題して講演。その後、20のグループで分かち合いが行なわれた。

午後からは、「入管法」がより理解できるように中島眞一郎氏(行政書士、

外国人と共に生きる会 KOMUSUTAKA)と佐藤氏のパネルディスカッションが行なわれた。地元熊本から英語とタガログ語で通訳が付き、移住移動し結婚した方がしなければならぬ大事な手続きの問題をより詳しく提議された。

今年7月9日に「外国人登録法」が廃止され、「在留管理制度」に移行するため、各自が市町村役場に出向き情報を得、手続きをしなければならぬことになる。参加者の真剣な質問が多く、今回のセミナーの意義が確認された。

また託児室の子ども達は、折り紙や手話を習い、プレゼ

ンテーションで聖歌「私をお使いください」を披露した。最後に感謝のミサが宮原良治司教主式で行われ、その中で司教は、「お互いの文化を豊に子ども達に伝えてください」と励ました。

この委員会の長崎教会管区代表である川口敏神父(大分教区延岡教会主任)が、来年の再会を約束します、と挨拶し2011年度のセミナーが終了した。

受付やベビーシッターのサポートを受け持った熊本地区の女性の会のメンバーは、「国籍を越えて多くの人々が結び合えることは、本当に素晴らしいと思います」と語った。

好評「セラピーシリーズ」の13・14冊目です。3月11日に起こった大震災から日本人は本来の生きかたを見つめなおしはじめたといわれています。「簡素に生きる」「ゆつたりと生きる」これこそ大切にしなければいけないことではないでしょうか。おなじみの「ほっこりセラピー妖精」が登場し、貴重な宝を見つけたヒントを提供してくれます。

サンパウロ発行

税込定価 735円

☆詞華集

日だまりに 女子パウロ会編

ゆつたりと、しつかりと、心に寄り添う言葉の花束。「こころ」、「わたし」、「さがし」、「いのち」、「夢」、「祈り」についての美しく力強い詩、詞、名言がいっぱい。

女子パウロ会発行

税込み 1050円

なんでもお問い合わせください

株式会社 ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルゴリタ・マリア 吉田由美子

〒910-8044 福井県福井市大町4丁目8番4号

TEL 092-781-0800

http://www.jp-smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方がご相談ください。

費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313

福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

株式会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号

☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

〒815-0852 福岡市早良区大谷2丁目7番1号

平日 AM 10時～PM 5時 40分

日・祝日 AM 11時～PM 4時 (球団E定休日)

TEL 092-741-3688 FAX 092-741-3661

URL http://www.pax-inc.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ②

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い 『マルコによる福音書を読む』
日時：3月18日(日) 14:00
テーマ：歩みのはじめ！ 最初の感激
講師：十時伸治神父(光丘教会協働司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
～マルコによる福音書に導かれて～
日時：4月15日(日) 14:00～16:30
テーマ：イエスの死と復活を語る
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会
問合せ先：☎093・293・4981 松尾

聖書に集う会

日時：2012年3月5日(月) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何？
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも/参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)
申込：不要
次回：4月2日(月)
連絡先：092・721・2032(平日10:00～18:00)

第50回アイルランド国際聖体大会 日本公式巡礼団 募集

大会テーマ：「聖体：キリストとの一致、わたしたち同士との一致」
旅行期間：2012年6月9日(土)～6月19日(火)11日間
巡礼団長：幸田和生司教(東京大司教区補佐司教)
旅行代金：498,000円(詳細はお問合せください)
現地同行司祭：ダニエル・ホーガン神父(聖コロバン会)
申込締切：2012年5月9日
*福岡教区でお働きいただき、帰国なさっているコロバン会の司祭を訪問し共同司式、交流、墓参なども企画されています。
企画協力：日本カトリック司教協議会

ご予約・お問合せは
(株)阪急交通社 団体営業部 東京団体支店
TEL03-6745-7377 Fax03-6745-7371
http://www.hankyu-travel.com/kikaku/vec/

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第5回

日時：2012年3月25日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：ミシェル神父(箱崎教会主任)
第三部：活動協議(これからの活動協力について)

募集中 第50回クルシリヨ開催のご案内

日程：2012年5月4・5・6日
場所：福岡黙想の家
指導司祭：竹森勇神父(水巻教会)
参加費：12,000円
申込期限：2012年3月20日厳守
連絡先：☎093-592-0316 徳永哲
主催：福岡教区クルシリヨ担当



福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

今年の冬は、殊の外寒かったと思います。北の国では、豪雪による被害も多かったと聞きます。しかし春はもうそこまで来ています。「百花、春至って誰が為にか開く」誰のためでもなく、己が本性のまま、もつと言えは神の摂理のまま開き、人々を喜ばせる花々のように、毎日を送りたいものです。小生の幼稚園では、園児は毎朝、「お花の心で神様をお喜ばせることが出来ますように」と祈ります。ひとすじの心で神様をお喜ばせする四旬節でありたいものです。

案内板

福岡黙想の家のご案内 3月

5日(月)～7日(水) 御受難会 共同体的日
10日(土) キリスト者医科連盟 黙想と祈りの集い
15日(木) 四旬節 一日講話(指導：来住英俊神父)
17日(土) 福岡チェナクルム
17日(土)～18日(日) 四旬節一泊黙想会(指導：来住英俊神父)
20日(火) 福岡・自由ヶ丘キリスト教会 一日静修
22日(木) 四旬節 一日講話(指導：来住英俊神父)
24日(土)～25日(日) 四旬節一泊黙想会(指導：来住英俊神父)
26日(月)～30日(金) オプレート会 黙想会
★祈りの日・・・3月6日(火)・20日(火)はお休みです。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：3月8日(木) 10時～14時半
・内容：「過越」の子羊
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：4月12日(木) 教会を生み出す聖体
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：2月18日、3月3日、3月17日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

会合と催し

3月のこよみ
4日(日) 四旬節第2主日
6日(火) 日本カトリック女性団体連盟理事会(仙台～8日)
7日(水) †ミカエル平田寛[2002年門司教会]
9日(金) 教区カトリック幼稚園連盟会合
路上生活者への炊き出し(最終日・大名町教会)
11日(日) 四旬節第3主日
東日本大震災一周年にあたり追悼と再生を願う合同祈禱会
日時：3月11日(日) 14:30～15:30
場所：日本キリスト教団福岡中部教会(福岡市中央区赤坂1)
16日(金) 久留米信愛女子短期大学卒業式
17日(土) 長崎の信徒発見記念日(1866)
水巻聖母幼稚園卒業式
18日(日) 四旬節第4主日/小倉教会堅信式
19日(月) 聖ヨセフ
20日(火) 春分の日
25日(日) 四旬節第5主日/八代教会堅信式
30日(金) †V.チェリッツァ[2005年唐津教会]
31日(土) (宗法)幼稚園新任教職員辞令交付式・研修会
4月
1日(日) 受難の主日(枝の主日)/世界青年の日
3日(火) 聖香油ミサ(カテドラル15時)
†A.アレグリーニ[2005年ロザリオの園]
5日(木) 聖木曜日(主の晩餐の夕べのミサ・カテドラル19時)
6日(金) 聖金曜日(主の受難の祈り・カテドラル19時)
7日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭・カテドラル19時)
8日(日) 復活の主日
■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：2月18日、3月3日、3月17日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆ガビエル合唱団会員お知らせ(日時)3月10日(土)4月28日(土)13時半(場所)カトリック西新教会(指導)橋本ノブ(4月新垣王敏(会費)二千元(問合せ先)☎0940・33・5423橋本
◆第47回虹の会定例会(日時)3月17日(土)13時30分から16時30分(場所)カトリック大名町教会(参加費)600円(問合せ先)090・162・6395柴田
◆カレル在世会(日時)3月19日(月)10時半から(場所)福岡女子カレル会修道院聖堂・テレサの家(内容)ミサ・講話「創立史」(大聖テレジア著「指導」カレル会司祭問合せ先)☎097・551・1360(中林)
◆聖ヨアキム&聖アンナ会(日時)3月19日(月)12時(場所)カトリック笹丘教会聖堂(内容)ロザリオとミサ(参加費)献金(問合せ先)☎090・9568・0076野川
◆在世フランス会(日時)3月25日(日)14時から16時(場所)高宮フランス会修道院在世会集会所(指導)エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先)☎092・843・5831岩崎

◆「アフリカ友の会」講演会(日時)3月25日(日)10時ミサ後(場所)カトリック笹丘教会(テーマ)「輝けアフリカの子ども達」(講師)徳永瑞子さん(NPOアフリカ友の会)(主催)聖アウグスチノ・ボランティア会(お願い)支援のためのバザーも開催します。手作り作品、軽食など
◆心の健康セミナー(日時)5月13日(日)14時より(場所)カトリック黙想の家(内容)カトリック黙想の家ログハウス(テーマ)病との付き合い方(指導者)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)自由献金(主催)支える会(問合せ先)0940・32・173宗像市 矢田
◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます!●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分●越冬期ホームレス支援夜回り毎週金曜日20時/2月と3月は大名町教会に集合●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419コース神父

◆「アフリカ友の会」講演会(日時)3月25日(日)10時ミサ後(場所)カトリック笹丘教会(テーマ)「輝けアフリカの子ども達」(講師)徳永瑞子さん(NPOアフリカ友の会)(主催)聖アウグスチノ・ボランティア会(お願い)支援のためのバザーも開催します。手作り作品、軽食など
◆心の健康セミナー(日時)5月13日(日)14時より(場所)カトリック黙想の家(内容)カトリック黙想の家ログハウス(テーマ)病との付き合い方(指導者)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)自由献金(主催)支える会(問合せ先)0940・32・173宗像市 矢田
◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます!●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分●越冬期ホームレス支援夜回り毎週金曜日20時/2月と3月は大名町教会に集合●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419コース神父

◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)3月19日(木)11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時)3月20日(日)14時30分(場所)聖心病院(問合せ先)☎096・352・7181Sr竹内
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)3月19日(木)11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時)3月20日(日)14時30分(場所)聖心病院(問合せ先)☎096・352・7181Sr竹内

佐賀

◆佐賀祈りの集い(日時)4月7日(土)10時(場所)毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎095・2・30・8347吉武
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)3月19日(木)11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時)3月20日(日)14時30分(場所)聖心病院(問合せ先)☎096・352・7181Sr竹内

北九州

◆北九州召命を共に祈る会(日時)3月8日(木)14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)ミサとミーティング

震災のための祈りリレー

(日時)2012年3月11日(日)7:00ミサ聖祭～19:00夕の祈り
(場所)聖パウロ会修道院(福岡市中央区赤坂)
(問合せ)fr05abe19ko@yahoo.co.jp Br.阿部光一(聖パウロ会)
*どの時間帯にも参加自由

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー

佐世保港発着で添乗員が同行案内...
地元を知りつくした五島出身の企画担当者が無理なく巡礼ツアーを創り上げました。お気軽2日間、充実の3日間、53所全教会巡礼5日間の三つのプラン... 詳しいパンフレットを郵送致します。
◆主催 株式会社長崎ツーリスト公社
〒852-8044 長崎市音無町12-12-304 ニシビル
TEL.095-894-9755 FAX095-894-9760

編集後記

今年の冬は、殊の外寒かったと思います。北の国では、豪雪による被害も多かったと聞きます。しかし春はもうそこまで来ています。「百花、春至って誰が為にか開く」誰のためでもなく、己が本性のまま、もつと言えは神の摂理のまま開き、人々を喜ばせる花々のように、毎日を送りたいものです。小生の幼稚園では、園児は毎朝、「お花の心で神様をお喜ばせることが出来ますように」と祈ります。ひとすじの心で神様をお喜ばせする四旬節でありたいものです。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

サンパウロ福岡宣教センター
オープン10周年記念感謝セール!
【期間】2012年2月22日(水)～4月7日(土)
御像・十字架・ロザリオ...他 聖品 5%引き!
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

4月の意向
教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】 召命
【宣教】 アフリカの希望であるキリスト
【日本の教会】 カトリック学校における
宗教教育

3・11東日本大震災から1年を迎えて

小教区で、地域で、祈りや分ち合い

3月11日、東日本大震災発生から一年目を迎え、日本各地で、また海外で被災地への思いを一つにして亡くなった方々への追悼と再生・復興を願う祈りの集いや種々の行事が開催された。福岡教区では、四旬節第3主日のこの日、各小教区で追悼と復興へ寄せる人々の思いが神のいつくしみの中で実を結ぶよう祈りを捧げた。また、福岡では、市内のキリスト教諸教派教会から教職者、信徒250人が参加して、「東日本大震災一周年にあたり追悼と再生を願う福岡合同祈禱会」が日本基督教団福岡中部教会で行われた。北九州では、カトリック小倉教会で、「あの日・今・これから」をテーマに、被災地支援の集いが催された。

日本キリスト教団 福岡中部教会に 250人が集って



福岡の合同祈禱会は、震災から半年目の昨年9月11日、福岡教区エキムメニズム委員会の呼びかけで大名町教会で行われた。キリスト教諸教派合同祈禱会を引き継ぐ形で、

日本基督教団、日本バプテスマ連盟、日本福音ルーテル教会、日本聖公会、カトリックの代表者からなる実行委員会が主催して開かれたもの。カトリックの代表は、エキムメニカル委員会担当のG・ミシエル神父(箱崎教会主任)。合同祈禱会は、午後2時半、オルガンの前奏で開会。主司式者の入江清弘牧師(日本基督教団)のあいさつ、招きのことばに続いて復活のローソクに灯が点された。続いて開会の詩編を、共同司式者をつとめた各教派の教職者の先唱に会衆が応唱して、香の煙と香りとともに神にささげた。ことばの典礼では、ヨハネ福音書の15章11、17節が朗読され、互いに愛し合うようにとの主のご命令が与えられた。そして2時46分。琴による「六段の調」が流れる中、全員で黙祷をささげた。

主のご復活をお祝い申し上げます

説教に立った宮原良治司教は、震災から間もない昨年4月に、宮城県で、自身被災者の男性の「娘たちに、母親を奪った津波の瓦礫を毎朝見せるのは嫌だ、何とかしよう」との呼びかけに共感して集まった人たちのグループ「スコップ団」の活動を紹介。「見ず知らずでも助けを求めている被災者は皆「困っている友人」として、身近なことから行動する。スコップ団の活動は、人格と人格のふれあい、融合により生まれるエネルギーであり、それこそイエスが言う愛そのもの、目の前の、必要としている人に、自分の食卓から、家庭から、互いの気づき合いから、今再出発しよう」と語りかけた。スコップ団では、「わたしの一番の後悔は『今日もあなたを愛してる』と伝えなかつたこと。今は元気にしている」と伝えたい」との老婦人のことばに共感、「皆がまた元気でいて、笑っていた」昨年の3月10日を思い、今年の日、一番天国に近い山から「鎮魂の花火」2万発を打ち上げたという。

各教派の代表による追悼と再生・復興を願う共同祈禱をささげて祈禱会を終えた。祈禱会の後の会場で、昨年

福岡から避難してきていたある家族と、被災者のために昨年からの住宅の提供を申し出ていたカトリックの信徒との出会があり、近く引越すことになった。

「あの日・今・これから」 小倉教会での3・11



小倉教会では、第3回目となる被災地支援の集いが「あの日・今・これから」をテーマに130人が参加して実施された。

最初に、山元眞神父(小倉教会主任)が、「あの日、大震災が起こった日、震災が始まった日、それはまだ続いています。あの日、直接被災していない私たちは、地震、津波、原発事故によって愛する人や大切なものをすべてをなくした人たちに寄り添いたいと思います」とあいさつ。午後2時46分、黙祷をささげた。実家のある北九州市に、仕事で来られない夫を残し幼い子どもと避難してきた福岡県二本松市の主婦、岡直子さんが、「福岡の人々、特に子どもたちは、放射能汚染の不安

時の話題 角田茂子

3月11日(東日本大震災1年)大槌町に立ちました。大槌ベース前の城山に登りあたり一面を見渡すと雪をかぶった家の土台が延々と堤防まで続いている。遠くでボランティアの若者がスコップで作業していたので、近寄ってみると転がった大きな石の碑のまわりをきれいに片付けています。その碑は「昭和8年大津波記念碑」。碑文には被害状況とともに「地震があつたら津波を用心せ

よ。津波が来たら高いところへ逃げよ。危険地帯には住居するな」とありました。「自然の力は人知を超えろ!」たかさんの出会いもありました。監視小屋のおじさんに「休んでいきなさい」と呼び止められストローを囲んで話を聞く事ができました「大槌では地震と津波と火事と寒さで多くの人が亡くなったんだよ」と。また自宅も職場も兄弟も失くし、でも唯一残ったカメラと携帯で被災の翌日から大槌の町を撮り続けている伊藤さんが町のスーパーマーケットで写真展を開催、その受付などを手伝いました。来場された方達が写真に見入りながら「地震当日は逃げるので精一杯でどうなったのか知らなかったんだよね」「ここが自分の家だよ」などと説明されるのをただ領いて聞くばかりでした。そして現地の若者たちと被災した家屋の柱から木工品を作り大槌町に元氣と経済をと頑張っている社団法人の池ノ谷さん。熱く語られる思いに思わず「頑張ってください」と。殆ど町の復興が進んでいない中、皆さんが知恵を出し合い協力し合っている様子に力をいただきました。大槌町を立つ時、合同慰霊祭の会場でお祈りし献花できたことに感謝します。教区福岡地区婦人会会長

祝 司祭叙階60年・50年・25年

司祭叙階から60年を迎える山田成章神父様



フランシスコ・ザビエル山田成章神父は、1925年3月28日生れの長崎出身。52年3月19日浄水通教会で、ドミニコ深堀仙右衛門司教より司祭叙階。呼子教会、本郷教会、健康教会、浄水通教会、老司教会、光丘教会、茶山教会の主任司祭を歴任。この間、77年4月から85年8月まで本紙編集長。82年から90年平田三郎司教のもとで司教総代理を勤めた。

金祝を迎える
M・オファレル神父様

人吉教会の主任司祭を勤めるオファレル神父は1938年7月14日アイランドのリーズモア生れ。62年12月21日司祭叙階。71年来日し、福岡教

銀祝を迎える
山下正神父様



区では菊池教会を経て、人吉教会で司牧宣教の後、80年から4年間熊本のマリスト学園で教鞭を取った。聖コロンバ研究会の中国での宣教の歴史の研究者。



ミカエル山下正神父は、1959年3月22日生れの福岡出身。87年3月21日大名町教会で平田三郎司教より司祭叙階。司教秘書、教区教会裁判所公証官、直方教会主任、教区本部法人事務担当など歴任。現在、司祭の家の管理者。



先日、久しぶりに山歩きを楽しんだ。今回は、宝満山に登ることにした。「宝の満ちる山」という名は、何とも奥ゆかしい。宝とは決して財宝のことではなく、霊的精神的宝のことと考えたい。なぜなら、この山は、英彦山などと並んで山岳信仰の拠点だったからである。多くの修行僧や、修験者が修業を重ねた聖なる山だった。その証拠に今でも、あちこちに往時を偲ばせる寺や僧宿などの遺跡が点在している。例えば5合目あたりに「殺生禁断」と彫った石碑が目に入ってきたりして、はっとさせられる。延々と続く石段は、修験者たちが修業の一環として、何千個、何万個もの石を持ち上がったのだらうか。大変な作業だったに違いない。もう少し、登っていくと芭蕉の句碑が目に入ってくる。「世の人の 見付けぬ花や 軒の栗 この句は奥の細道に収められてる句で、芭蕉が白河の関を越えた後に詠んでいる。彼は、世を避けてひっそりと暮らす高潔な僧の庵を訪ねる。栗の花とはどんな花だろうか、見たことがない。それほど人の眼にとまらない花である。同じように、この高潔な僧は誰からも注目されることも尊ばれることもなく、お暮らしなのだが、その生き方が芭蕉と重なるところがあつたのかもしれない。イエスが亡くなられた時、その死を看取つたのは数人の女性たちだけだった。まさに「世の人の見付けぬ花」であった。しかし父なる神には、愛され尊ばれた花であった。私もそんな花として咲いたら素晴らしいと思う。「かくれ家や 目立たぬ花を 軒の栗」芭蕉

司教団
メッセージ

いまますぐ原発の廃止を 福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして

原発については、国民一人ひとり、また、様々な立場からその是非について議論されています。採算がとれるかどうかといった経済的な立場、子どもたちの健康や市民生活の安全を守る立場、国際競争力を保持しようとする立場など…。

しかし、カトリック教会は原発の是非に関する問題は倫理的な問題、人間の命の問題でもあると考えます。また、私たちはすべての人と連帯して、神の被造物である自然や環境、すべての生命を保護していく責任を持っています。以上の二つの立場から、宗教者として原発の是非について発言する責任を果たしたいと考えています。

(2011年11月10日仙台において 社会司教委員会委員長高見三明大司教の、「司教団メッセージ」『いまますぐ原発の廃止を』について)のコメントから)

日本に住むすべての皆様へ

東日本大震災によって引き起こされた福島第1原発の事故により、海や大地が放射能に汚染され、多くの人々の生活が奪われてしまいました。現在でも、福島第1原発近隣の地域から10万人近くの住民が避難し、多くの人々が不安におびえた生活を余儀なくされています。

ギョーを提供することになりましたが、一瞬のうちに多くの人々のいのちを奪った広島や長崎に投下された原子爆弾やチェルノブイリの事故、さらに多くの人々のいのちを危険にさらす生活を著しく脅かした東海村の臨界事故にみられるように、後世の人々にも重い被害を与えてしまうことになるのです。その有効利用については、人間の限界をわきまえた英知と、細心の上に細心の注意を重ねる努力が必要でしょう。しかし、悲劇的な結果を招かないために、安全な代替エネルギーを開発していくよう希望します。

原子力発電の是非について、わたしたち日本カトリック司教団は『いのちへのまなざし』21世紀への司教団メッセージ』のなかで次のように述べました。

〔核エネルギーの開発は〕人類にこれまでにないエネルギー

このメッセージにある「悲劇的な結果」はまさに福島第1原発の事故です。

今年もよいよ、教会の典礼暦の頂点に位置づけられる「聖週間」が始まります。一般的に聖週間は、受難の主日(枝の主日)から復活の主日までを指しています。が、そこには、人類に救いの恵みをもたらした「主の過越」を祝うために、司牧的な配慮から二重

典礼シリーズ

より深く『主の過越』に結ばれる

【受難の主日(枝の主日)から復活の主日へ】
受難の主日のミサは、枝を持って主イエスのエルサレム入城を歓迎する行列によって始められたため、枝の主日と呼ばれています。そして、その福音朗読では、聖金曜日に入立って主の受難の個所が読まれ、一週間後には「主の復活」を祝います。この受難の主日(枝の主日)から復活の主日への連続は、主日を単位としたいわば簡略化された主の過越の祝いです。

【聖なる過越の三日間】
主の過越により結ばれるために、主日単位の構造の中に、「聖なる3日間」が組み込まれています。「主の受難と復活からなる過越の三日間は、主の晩餐の夕べのミサに始まり、その中心を復活夜祭におき、復活の主日の『晩の祈り』で閉じる(『典礼暦年と典礼暦に関する一般原則』6番)という構造になっています。これは聖書(おもにヨハネ福音書)の記述に基づき、三日間の流れに合わせ、イエスの生涯の頂点に位置づけら

【聖なる過越の三日間】
主の過越により結ばれるために、主日単位の構造の中に、「聖なる3日間」が組み込まれています。「主の受難と復活からなる過越の三日間は、主の晩餐の夕べのミサに始まり、その中心を復活夜祭におき、復活の主日の『晩の祈り』で閉じる(『典礼暦年と典礼暦に関する一般原則』6番)という構造になっています。これは聖書(おもにヨハネ福音書)の記述に基づき、三日間の流れに合わせ、イエスの生涯の頂点に位置づけら

いまますぐ原発を廃止することに對して、エネルギー不足を心配する声があります。また、CO2削減の課題などもあり。しかし、なににより、わたしたち人間には神の被造物であるすべてのいのち、自然を守り、子孫により安全で安心できる環境をわたす責任があります。利益や効率を優先する経済至上主義ではなく、尊いいのち、美しい自然を守るために原発の廃止をいまますぐ決断しなければなりません。

新たな地震や津波による災害が予測されるなか、日本国内に54基あるすべての原発が今回のような甚大な事故を起こす危険をはらんでいます。自然災害に伴う人災を出来る限り最小限に食い止めるためには原発の廃止は必至です。

わたしたちカトリック司教団は『いのちへのまなざし』で、いまますぐに原発を廃止することまでは呼びかけることができませんでした。しかし、福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして、そのことを反省し、日本にあるすべての原発をいまますぐに廃止することを呼びかけたいと思います。

【聖なる過越の三日間】
主の過越により結ばれるために、主日単位の構造の中に、「聖なる3日間」が組み込まれています。「主の受難と復活からなる過越の三日間は、主の晩餐の夕べのミサに始まり、その中心を復活夜祭におき、復活の主日の『晩の祈り』で閉じる(『典礼暦年と典礼暦に関する一般原則』6番)という構造になっています。これは聖書(おもにヨハネ福音書)の記述に基づき、三日間の流れに合わせ、イエスの生涯の頂点に位置づけら

忘れてはならない3・11

あまりにもひどい震災の爪痕を見聞きする日々、私にできることは何かと自問自答しながら迎えた1周年の3月11日(日)。カトリックとプロテスタント合同の「追悼と再生を願う合同祈禱会」が日本基督教団福岡中部教会で行われ、参加者の皆さんと心を一つにして祈ることができた。天国に行った人に思いを伝えたいとの言葉を聞いて宮城県で一番高い山で、2万発(死者・行方不明者のおおよその数)の花火を打ち上げた人のことを紹介しながら、「人を愛する」ということは、困っている人と知ったら行動することとお話しされた司教さまの話に胸を打たれた。

私は塩釜に教師をしている知人がいる。この地も大きな被害を受けていた。あの日、学校の体育館は560人を超える避難者たちでいっぱいになった。停電、断水し、毛布・食糧、何もなかった。特別支援学級の担任をしていた彼は、特学の子どもたちが、塩釜で有名な藻塩を入れて作り、保存していた塩ビスケットを皆さんに配った。とても人数分はなかった。それでも皆は1個を割って少しずつ全

員で食えることができた。避難している人たちがいる限り、帰宅できない。ここに愛があった。彼が、ガンで闘病中の奥様を含めて家族の無事が確かめられたのはずっと後日であったと聞いた。そして秋に、奥様は2人の小学生の娘を残して天国に召された。夏、教区のボランティアとして娘が行ったところが奇しくも塩釜(カトリック塩釜教会)であった。知人は、娘たち20人のボランティア全員に特上の刺身を差し入れてくださった。その刺身は、彼が担任している子どもも家(寿司屋)の被災後最初の仕事だったということであった。皆さまは悲しむ人、困っている人のそばにいて支えてくださっている。同じ思いで集まる人とともに祈りたい。祈る中で「私はどうしたらいいのだろう」と考え、行動する力を与えられる。今回の、カトリック、プロテスタント合同の祈禱会で一つになって祈ることの力強さを感じた。同じ主旨で祈ること、行動すること、このような機会をこれからも続けてほしいと思う。

大名町教会信徒 谷口純子

【ウイリアム・カリー神父様故郷アイルランドで帰天】
3月9日故郷のアイルランドで心不全のため帰天。享年76歳。聖コロンバン会司祭。1935年5月19日アイルランドの生れ。59年12月21日、聖コロンバン会本部で司祭叙



階。福岡教区では64年から68年の間、帯山・大江・本渡教会で司牧。1995年から帰国される2005年まで手取教会の主任を勤めた。カリー神父は、日本語を読むこと、書くことに熟達していた。ゆったりとした雰囲気の中にも鋭い洞察力を持ち、近づきやすい人柄で信徒のやる気を起こさせた。その誠実さと忍耐強さ、寛大で活発な共同体を作っていた。

ちゅっぺー



【遊ぶ場をまた取り上げた駐車場】
坂牧春妙 深堀正平

来住英俊神父による四旬節の講話

個人黙想 グループ黙想 静修 研修会 セミナーなど
 利用料金 *1泊3食 7,300円
 *日帰り(9:30~16:30) 個室使用なし700円 入館料300円
 個室(ベッド使用なし 2,000円) (ベッド使用 3,000円)
 昼食(1,000円)を希望される場合は、3日目までに要申込

カトリック福岡黙想の家
 カトリック御受難修道会・宗像修道院
 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
 インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ
VINO DE MISA
 スイートタイプ(赤)(白)
 ご用命 お問い合わせは
 有限会社 **大楠酒店**
 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
 互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
 TEL 092-526-5656
 〒810-0016
 福岡市中央区平和3丁目1-5

殉教者を学ぶ、教会学校黙想会

大名町教会の教会学校では四旬節の黙想会が行なわれた。テーマは熊本県花岡山で殉教した『小笠原玄也一家』について。当初巡礼を予定していたが都合で順延となり、小学校1年生から高校生までが一緒に理解を深めてから再度巡礼を計画し直すことになった。



まずは殉教者を知ることから始まった。時代や歴史感覚、そして殉教という言葉にもなじみのない子どもたちにはその概要を理解するだけでも大変だったが、同じ信仰を生きていた彼らを知ることで殉教者たちがずっと身近な存在になったようだ。午後には小学生と中学生が分かれ、ゆつくりと分かち合いを行うことでさらに理解と共感を深めることができた。「信仰を捨てろ」と言われたらどんな気持ちだろう」「信仰を捨てさせようとした人の気持ちは?」「大好きな人を嫌いになれて言われたら?」「どうして信仰

殉教という難しいテーマに、リーダーが現地での観察と学びをもとに史実に基づいた説明を行い、また紙芝居や一家の相関図などを準備し、

ニュースで見た大槌町には何もなかった



現地には復興に燃える人々の輪があった

津波に全てを奪われ、途方に暮れる人々。何も無いその地を埋め尽くす

がれきの山、ヘドロなど、絶望的な状態ではないと思っただ。実際、大槌の地に踏み入り、辺りを見回すと、ほとんど何もなかった。正直、見るのが辛かった。一年経ったにも関わらず、絶望的なままかと思いきや、ま、大槌ベースに入った。でも、ボランティアをしていくうちに自分の間違いに気付いた。人々の輪があった。復興に燃えているのが分かるくらい、現地の人々には笑顔と元気であふれていた。テレビを見ながら落ち込んでいた自分が恥ずかしくなった。

を捨てなかつたのかな?」「自分だつたらどうするか?」「神様に愛されているとどんな時に感じる?」「神様に喜んでもらえることってなんだろう?」リーダーの先導のもと、ポストイットに各々感じたことを書いては発表するということを繰り返した。子どもたちからは「自分だつたら変装して教会に行くよ」「神様に喜んでもらえることは、友だちと仲直りすること、親切にすること」「教会に通い続けたい」「神様に喜ばれるかな」「殉教って特別なお恵みだと思ふ」など多様な意見が出ていた。

1人のリーダーは「今回の黙想会で、殉教者は命をかけて信仰を強く証した人ということを学び、キリストという最初の殉教者の存在に強められ、愛されていることを実感しながら、喜んで生きていた人たちなんだということを感じました。この豊かな学びを携えて、花岡山巡礼へと行きたいですね」と語った。

レジオ会員の奉獻を刷新



レジオオ・マリアの奉仕活動は、今年3月に刷新された。毎年3月に聖母マリアへの奉獻を刷新する行事を行う。

今年度の奉獻式は、去る3月11日(日)、佐賀、鳥栖、小郡、光丘、高宮、笹丘の各小教会から会員が集まり、高宮教会聖堂で行われた。

当日は、東日本大震災発生から1年目にあたり、被災地から1年目にあたり、被災地

2度目のボランティアだったけど



今回事業は、震災直後から大槌の姿を撮り続けた方

いる。被災地に、希望を与えなければならぬ。それがボランティアの務めだと思っただ。僕はいろんなことを学ばせていただいたが、役に立ってないか分からない。だから、被災地に希望を与えられたことを実感できるまで、何度でもお手伝いに行こうと思う。もちろん、実感できた後も行く。復興を見届けるために。黒崎教会信徒 高巣猶哉

写真展の手伝いと、近くの赤浜での漁師さんのお手伝い

写真展では、「現地のみなさんは思い出すのがつらいのでは?」と、せつなく前へ進もうとしている気持ちを傷つけてしまっているのでは?と思いました。でも、ご自身も震災の被害を受けながらも写真展を手伝っておられた方は、「そう言っただけで写真を見ない人もいます。けれど私たちも現実から目をそらすことはできないし、忘れてはいけないという思いでいるんだよ」と言われました。沿岸部の大槌は積雪量はそれほど多くなく、朝日に照らされて輝く雪の街、青い空と海がとてきれいなところでした。しかし、雪が解けて現れる「壊された」というよりも「なくなつてしまつた」そ

漁港ではホタテの養殖の作業



業と、がれきの山から浮き球を取りだす作業をしました。町を支えてきた漁師さんたちはとても元気で、この土地と自らの仕事に誇りを持っていて、それが伝わってきました。

感謝

小さな者への神の慈しみをマリアと共によろこび生きる

教会の皆様とともにあたたかな交わりのもとに過ごさせていただけたいことは、私たちにとって大きな恵みでした。私たちは、キリストの里と呼ばれる自然豊かな信仰深い人々ともにも過ごしたこの天草から2012年3月31日をもって離れることになりました。これまで頂いた教会からのご配慮、またそれぞれの小教会の皆さまに感謝し、福岡教区に貴重な宝である天草の教会が、新たな歩みに入ることをご心から祈っております。ほんとうにありがとうございます。大江修道院一同

真暗な街の中で、明かりを灯す大槌ベースは

真暗な街の中で、明かりを灯す大槌ベースはとても温かく、安心して過ごせる場所でした。「ボランティアというのは、ただ作業をしたかではなく、作業するなかで出会った人、すれ違う人とどれだけ声を掛け合い、どれだけ相手を大切にできるかというの

☆時間について100の言葉



☆時間について100の言葉 シュテファン・リーゼンフェルト編 山本文子訳 だれにも気づかれない、然るにそこにある。でも、問題になると、はつきりとわたしたちの意識の中に入ってくる。それが時間。この本の中に集められた観察、経験、格言は、たぶんすでに知っているはずのことを新たに意識し、もしかすると、時の流れという列車に乗っているうちにシグナルに気づき、人生の目標を正すための示唆かもしれない。……短い言葉は、わたしたち—しばしば時間不足に悩まされている人々—にも役立つだろう。そして、一つ、または幾つかの言葉が深い思索に「招く」なら、決断する時がきていることを示しているのかもしれない。編者の言葉

☆なぜ教会は社会問題にかかわるのか

日本カトリック司教協議会 社会司教委員会・編 本書は教会が福音化のため社会問題にかかわる意味を信徒に説く司教の責務の一端を果たすべく編まれました。のびる形式を採用し、信徒が現実を抱えている疑問に、可能な限り直接的・具体的に答えることを目指しています。税込定価 630円

Advertisement for 'Japan Smile' (ジャパン・スマイル) featuring a logo and contact information for a service.

Advertisement for FPC (福岡プライマリケア訪問看護ステーション) providing home care services.

Advertisement for 'Moriyama Construction' (森山工務店) offering general construction services.

Advertisement for 'セント・ポール FUKUOKA' (St. Paul Fukuoka) featuring a logo and contact details.

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ③

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコによる福音書を読む』
日時：5月20日(日) 14:00
テーマ：イエスの道の曲がり角と障害(6章30～8章26)
講師：エドウィン神父(高宮教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコによる福音書に導かれて～
日時：4月15日(日) 14:00～16:30
テーマ：イエスの死と復活を語る
講師：深堀勝人神父(湯川教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会

聖書に集う会

日時：2012年4月16日(月) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何?
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問) / 次回：5月7日
連絡先：☎092・721・2032 (平日10:00～18:00)

ケセン語訳聖書の山浦玄嗣氏を迎えて 世界広報の日 講演会

日時：2012年5月6日(日) 14時～17時
テーマ：心に響け《よきたより》
場所：カトリック大名町教会1階講堂
講師：山浦玄嗣(ハツグ) 医師(大船戸教会信徒)
対象：どなたでも参加ください。
参加費：500円(高校生以下無料)
主催：教区広報委員会/後援：福岡地区信徒協

震災のための祈りのリレー

日時：4月11日10時30分朝の礼拝～19時30分夕の礼拝
会場：伊都キリスト教会(バプテスト派)(JR筑肥線今宿駅)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp Br. 阿部光一
*どの時間帯からでも参加自由です。

第50回アイルランド国際聖体大会 日本公式巡礼団 募集

大会テーマ：『聖体』
旅行期間：2012年8月9日(日)～8月19日(火)11日間
巡礼区長：平野 隆司(東京)
旅行費：498,000円(参加費別)
募集期間：2012年3月27日
*募集要項は本報掲載。
主催：日本カトリック宣教協議会

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第6回

日時：2012年4月29日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：ドミニコ宮原良治司教
第三部：活動協議(これからの活動協力について)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

主のご復活おめでとうございませう。と云っても教区報4月号を皆様のもとにお届けできる日は聖週間の始まりです。主の過越を心を合わせて記念してまいりましょう。さて、4月号から「典礼シリーズ」が始まります。執筆者は、大神学院の白浜神父様です。典礼に関する素朴な疑問に答えていただくという形をとりたいと思います。ご期待ください。もし、お尋ねになりましたら、お気軽にメールやファックスでお寄せいただければ幸いです。よき復活祭を!

案内板 会合と催し

4月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 4月

2日(月) 四旬節一日講話(指導: 来住英俊神父)
4日(水)～5日(木) 笹丘カトリック幼稚園 研修会
21日(土) 福岡チェナクルム
27日(金)～30日(月) 日本心身医学教会 研修
5月
4日(金)～6日(日) クルシリオ
12日(土)～13日(日) 黙想の家後援会 黙想会・総会(左記に変更になりました)
*祈りたい時 祈るために/疲れた時 休むために/学びたい時 学ぶために、個人黙想をご利用ください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：4月12日(木) 10時～14時半
・内容：教会を生み出す聖体
指導者：フランコ・ソットコルノ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：5月10日(木) 御聖体とおとめマリア
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月21日、5月5日、5月19日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(日) 受難の主日(枝の主日)/世界青年の日
3日(火) 聖香油ミサ(カテドラル15時)
↑A. アレグリーニ [2005年ロザリオの園]
4日(水) ↑ベトロ黒川博 [2002年大牟田教会]
5日(木) 聖木曜日(主の晩餐の夕べのミサ・カテドラル19時)
6日(金) 聖金曜日(主の受難の祈り・カテドラル19時)
7日(土) 聖土曜日(主の復活徹夜祭・カテドラル19時)
8日(日) 復活の主日/多久・武雄教会主任司祭就任式
長崎カトリック神学院入学式
9日(月) 信徒使徒職協力者会会合
11日(水) 召命祈願ミサ(カテドラル大名町教会19時)
12日(木) 常任司教委員会
13日(金) [26聖人長崎への道] 5 教区会議(広島)
司教座教会献堂記念ミサ
復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
司教座教会献堂記念特別献金日/光丘教会堅信式
復活節第3主日
22日(日) 教区司祭の集い(～24日)
23日(月) 司祭評議会常任会合
24日(火) 聖マルコ福音記者
25日(水) 復活節第4主日/世界召命の日(献金)
29日(日) エキュメニカル推進の集い
福岡教区修道女連盟総会 昭和の日
30日(月) 5月
4日(金) 初金曜日(浄水通教会10時)/サーリスの集い
クルシリオ(黙想の家～6日)
5日(土) 聖心ウルスラ宣教女修道会来日60周年 こどもの日
6日(日) 世界広報の日 特別講演会(カテドラル14時)
8日(火) 司祭評議会
9日(水) 神学院常任委員会(東京)
10日(木) 常任司教委員会 ■ゴチックは司教日程

福岡

◆ 聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・821・6349 森
◆ 第3回キリスト教講座開講(日時) 4月11日(水) 毎水曜19時から・4月13日(金) 毎金曜10時から(場所) カトリック大名町教会(参加費) 原則無料(対象) キリスト教に関心のある方(問合せ先) ☎092・41・3687
◆ カルメル在世会(日時) 4月16日(月) 10時半(場所) 福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話(創立史)(大聖テレジア著)(指導) カルメル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360 中林
◆ 聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 4月16日(月) 13時(場所) カトリック笹丘教会聖堂(内容) ロザリオとミサ(参加費) 献金(問合せ先) ☎090・9568・0076 野川
◆ グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 4月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖霊賛歌(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆ こひつじ会(精神障がい者と家族の会)(日時) 4月21日(土) 14時～16時(内容) 「いちご大福」を作るIIQOL(生活の質)を高めるために楽しく過ごしましょう(指導) 家族有志(場所) カトリック案内所(福岡黙想の家) 自由ヶ丘南2丁目(参加費) 無料(自由献金)(連絡先) ☎0940・33・27
◆ 東日本大震災復興のためのチャリティコンサート(日時) 4月22日(日) 14時(場所) 雪の聖母聖堂 聖マリア病院内(演奏) パイプオルガン(松本俊徳) 長崎純心大学教授(合唱) (コーラル) 長崎(長崎カトリック合唱団) お告げのマリア修道会(曲目) ご復活の聖歌 他(問合せ先) ☎0942・35・3322 チャプレン室 山本啓子
◆ ザビエル合唱団会告知(日時) 4月28日(土) 13時半(場所) カトリック西新教会(指導) 新垣王敏氏(会費) 二千元(問合せ先) ☎0940・33・5423 橋本
◆ テレジア友の会(読書会)(日時) 5月5日(土) 13時半(場所) 福岡女子カルメル会テレサの家(内容) 「幼いイエスの聖テレジア自叙伝」(問合せ先) ☎092・807・7361 (方)
◆ 福岡結婚準備講座(日時) 5月12日(土) 18時～21時(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687
◆ 美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分 ●ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時 ●花見大会4月15日(日) 14時須崎公園(問合せ先) ☎092・431・1419 コース神父

北九州

◆ 北九州召命を共に祈る会(日時) 4月12日(木) 14時(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
◆ 小倉祈りの集い(日時) 4月27日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 『みことばを味わう』 賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209 松田

佐賀

◆ 佐賀祈りの集い(日時) 4月14日(土) 10時(場所) 第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武
◆ 熊本地区召命を共に祈る会(日時) 4月19日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆ カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 5月6日(日) 14時(場所) 聖心病院(内容) スピリチュアルケアの学びと分かち合い(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr 竹内

熊本

◆ 熊本結婚準備講座(日時) 5月12日(土) から6月9日毎週土曜日の全5回(日時) 19時～21時半(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030 F 096・352・1515

編集後記

主のご復活おめでとうございませう。と云っても教区報4月号を皆様のもとにお届けできる日は聖週間の始まりです。主の過越を心を合わせて記念してまいりましょう。さて、4月号から「典礼シリーズ」が始まります。執筆者は、大神学院の白浜神父様です。典礼に関する素朴な疑問に答えていただくという形をとりたいと思います。ご期待ください。もし、お尋ねになりましたら、お気軽にメールやファックスでお寄せいただければ幸いです。よき復活祭を!

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
集合12日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金] 28,000円
◆20教会3日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金] 48,000円
◆全54ヶ所5日間 [出発]5月20日 [旅行代金] 185,000円
[旅行企画・実施] 株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

ともにたたえ
告げ知らせよう!
主・キリストは復活された!
4月の休業日 8、15、23、29、30
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



宮原良治司教認可 発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行 福岡司教区 人カトリック福岡教区三編集人 森山信三 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-6-20729 カトリック福岡司教区 定価 一部60円

5月の意向 教皇様の意向のために祈りましょう 【一般】家庭 【宣教】宣教師を導くマリア 【日本の教会】中国の教会との連帯

世界広報の日 ベネディクト16世教皇メッセージ 『沈黙とことば、福音化の歩み』から

今年、「世界広報の日」教皇メッセージは「沈黙とことば、福音化の歩み」と題してコミュニケーションにおける沈黙の重要性について考察されています。冒頭、教皇は「人々の間に真の対話と深い親交を実現させるには、コミュニケーションは、コミュニケーションにおける沈黙と言葉の両面が均等を保ち、交互に入れ替わったり補い合ったりする必要があります。この2つが相いれなければ、混乱や冷たい雰囲気が生じ、コミュニケーションの質が低下します。しかし、互いに補い合うなら、コミュニケーションに

価値と意味が生じます」と述べて、人間関係の深まりのために沈黙が果たす役割について述べられています。具体的には言葉によらない伝達手段、例えば「手ぶり、表情、身ぶり」が、互いに自己表現するための「しるし」であり、これらは人間の「喜び、不安、苦しみが皆、無言で伝えることができます。まさに沈黙のうちに、それらとはより強く表現される」と言われます。次に「現代はソーシャル・ネットワークの普及によって、これまで受けたこともない質問や気づいていなかった要求にこたえたりするよう頻繁に迫られます。しかし、それでも沈黙の重要性を指摘して、「わたしたちは沈黙することにより、過剰な刺激や情報を受け、それらを適切に識別することができないからです」。

「コミュニケーションの世界がますます複雑化、多様化する中、多くの人が人間存在に関する究極的な問いに直面します。わたしは何者なのか。何を知らなければならないのか。何を望みうるのか。このように問う人を迎え入れ、ことばと交流による深い対話への可能性を開くことが重要です。さらに、静かに黙想するよう勧めることも大切です。黙想は、しばしば、性急な回答よりも多くを語り、導き、神によって人間の心の中に刻まれた真理への道を受け入れられるようにするので

す。こうして教皇は、神は沈黙のうちに語りかけられること、人間の言葉は不完全であるがゆえに観想を通して神に出会い、観想によって心を他者に向けていることが出来ると言われます。「こうして、わたしたちは、他者の苦しみを感じ、キリストの宣教司祭として日本に派遣されました。まず、名古屋の南山大学で2010年5月まで2年間日本語を学んだ後、2012年3月までは秋田土崎カトリック教会で助任司祭として働いていました。よろしくお祈り致します。」

福岡教区にようこそ！

◇レヴィッキ アンジェイ神父 (神言修道会)



わたしは福岡教区の飯塚教会に派遣していただいた、ポーランド出身のアンジェイと申します。神言修道会の宣教師として3年前は長崎の西町教会で、2年間は名古屋の南山教会で奉仕しましたが、主任司祭と幼稚園のチャレンジは初めてです。福岡教区の皆さんの祈りに

支えられて、宮原司教様が就任式ミサの説教の中で教えてくださいましたように、謙遜に奉仕したいと思っています。よろしくお祈り致します。◇オデイロン 金 一神父 (神言修道会)



わたしは福岡教区、カトリック小倉教会の協働司祭、オデイロン金(キムイ)です。韓国生まれ、韓国で育ち、2008年韓国神言

時の話題

内山恵介神父

美しい5月、それは教会が聖母マリアに捧げた月です。聖母の信心に生きる月です。聖母とはいったい誰でしょうか。それは、イエスの最も信じた母、それゆえ私たちが人類の母です。現在、人類を導く強い指導者でもあります。聖母は人類の救済に関して、特別な特権をいただきました。それは「汚れない御心」であり、

聖母の神秘的力と願い

ます。そのゆえに聖母の働きに協力する奉獻の道を備えられました。聖母はこの『奉獻された者』を深く御心の中に入れ、特別に愛する子供として世界の救済と平和のために役立つように養成され、ともに働かれます。協力者は『祈り

世界広報の日 記念講演会 テーマ：響けよ心 《よきたよ》 講師：山浦 弘 日時：5月6日(日) 会場：カテドラル 14時

福岡教区の神学生

◎ペトロ 李昇炫 (韓国出身) 助祭



福岡教区司祭を志願して司教館に



居住し、日本語を習得中 ◎ベネディクト 朴 鎮亮 (韓国出身) 祭壇奉仕者 (韓国出身) ◎使徒ヨハネ 秋吉 淳一 (佐賀教会出身) 休学中

◎ベネディクト 朴 鎮亮 (韓国出身) 祭壇奉仕者

◎洗礼者ヨハネ 李 晋雨 (韓国出身) 朗読奉仕者

◎ペトロ 朴 スルキ (韓国出身) 祭壇奉仕者

◎ベネディクト 金 貞根 (韓国出身)

◎ミカエル 萩原尚人 (今村教会出身)

◎ミカエル 萩原尚人 (今村教会出身)

◎ベネディクト 黒丸恭介 (武蔵ヶ丘教会出身)

◎ミカエル 高木英世 (帯山教会出身)

◎ベネディクト 黒丸恭介 (武蔵ヶ丘教会出身)

◎アイバー 上原アイバー (山鹿教会出身) 中学1年

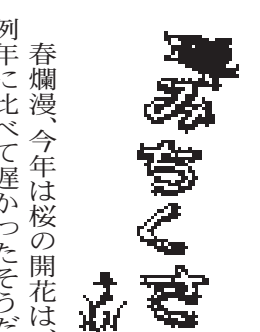
◎フランシスコ・アシジ 萩原篤志 (今村教会出身) 中学1年

◎イグナチオ 吉浦勲 (伊万里教会出身) 高校1年

◎アイバー 上原アイバー (山鹿教会出身) 中学1年

4月8日(日)、長崎市の長崎カトリック神学院で入学式が行われ、福岡教区からも3人の新入生が、司祭への道を歩み始めた。

春爛漫今年は桜の開花は、例年に比べて遅かったそうだが、散ってしまうのは殊の外早かったように思う。「時にたつて過ぎゆくものや変わりゆくものを嘆くのは多くの国民と文学に共通だが、日本に特有なのは、はかなさのなかに美の本質を見出すことである」(ドナルド・キーン；果てしなく美しい日本)「はかない」とは、辞書によると「とりとめがない、頼りにならない、かりそめである、あつけない」などの意味がある。確かに西洋人は、建築、住宅環境、家具調度品などにもより耐久性に優れた、何百年も長持ちするようものを作る。一方日本人は、キーンさんが言われる通り、非連続性のためにモノを作ってきた。家屋しかり、箸や草鞋など日用品しかり。耐久性を目指していない。天まで届けと言わんばかりのゴシックの教会の尖塔が永遠性を目指しているとするならば、日本の建築は、じめからそんなものは求めていない。所詮この世のものではないとめがなく、かりそめで、あつけない。しかしそこに愛おしさや哀しみの感情を抱いてきた私たち日本人の感性には、繊細なものがある。「もし桜花が、梅の花のように長い間散らざらぬとしたら、はかなさが少なくなるので、たぶんそれだけ評価も低くなることだろう」(同) 聖ペトロは「私たちは旅人であり、この世は仮の宿、かりそめの住まい」と言った。私たちは本当の宿を求めて旅を続ける者だ。真の宿に到達したときに、かりそめのこの世をどんな風に美しく生きて来たかが問われるであろう。M



典礼シリーズ ②

主日にはミサを依頼できますか？

【質問】「主任司祭は、小教区のすべての人のためにささげる義務があると聞きました、それが特別な個人の意向のミサを依頼することはできないのですか？」

【質問に答えて】「確かに、教会法の中に次のような規定があります。「主任司祭は、就任開始

後、主日ごとにまたその教区において守るべき祝日に、自己にゆだねられた民のためにミサをささげる義務を有する。ただし、適法にその挙行を妨げられる者は、当日他の者を介して、また他日自らそれをささげなければならない。」(534条第1項)

このように、主任司祭は、主日ごとに、また守るべき祝日（日本の教会においては12月25日・主の降誕と1月1日・神の母聖マリアの祭日）に、「自己にゆだねられた民のためのミサ」をささげることができるように、主任司祭のミサの規定は、主任司祭の

第一の務めが、自分の小教区に所属している信者のために祈る奉仕であることを思い起こさせておいてください。しかし、主日や守るべき祝日に主任司祭が「自己にゆだねられた民のためのミサ」をささげているときに、信者は特定の個人的な意向で祈ることができなないのではなく、司祭に依頼しなくても、ミサに参加するすべての信者が誰でも自由に自分の意向のために祈ることができることを忘れないようにしたいと思えます。

そのために、主日と守るべき祝日のミサにおいては、主任

司祭の義務の遂行のために、また自分の意向のために自由に祈りたい他の信者のためにも、できれば特定の個人的な意向の依頼を控えた方がよいと思われまます。しかし、主任司祭は司牧的な配慮から、主日と守るべき祝日のミサにおいて、個人的な意向の依頼を受け入れて、自己にゆだねられた民のためのミサを、他の日にささげることもできるようなってまいります。

このような場合、主任司祭は個人的な意向を依頼した信者が、他の日にはミサに参加することが困難なために、主日のミサの中でも祈ること

私が先生と初めて接するようになったのは、私が大学院在学中に非常勤講師として、大神学院のラテン科および哲学科の学生に西洋史を教えるように依頼されたときからである。

それは昭和33年の後期からであったと思う。しかしこちらは週1回の非常勤であり、しばらくはそれほど親しく話し合う機会は無かった。確か昭和36年に、後に天理大学教授に就任された日置孝二郎氏が大神学院に英語の非常勤

講師として見えらるようになったとき、年の暮れに久保先生から、我々も世間並みに3人だけでも忘年会をやりましょうと提案されて、会食することにになり、それ以来親しく語り合うようになったと記憶している。

すでに述べたようにその後久保先生は、福岡大学へ移られ、昭和44年に学生部長に就任された。私が同大学に新たに開設された人文文学部のスタッフとして赴任したのも同年であり、以来同じ学部と同僚として接することとなった。この年は前年から厳しさを増していたいわゆる大学紛争により、多くの学部が閉鎖され、遂に東大の入試が中止になった年であった。この間にあって先生は学生部長として事態収拾の先頭に立つて努力を傾けられ、福岡大学を全国でも数少ない大学独自による紛争解決に導かれたことは、忘れがたい出来事である。

その後先生は人文文学部長や研究所長などの要職も務められたが、先生のご専門は中世哲学、とくに聖トマスの研究にあり、テキスト読解の基礎となるラテン語の学力には定評があった。大神学院で長くラテン文法のテキストとして使用された教科書は、先生が九州大学の学生時代にすでに翻訳されているほどである。先生に最後に会ったのは5・6年前のカタリック学生会においてであったが、その時は全くお元気であっただけに、今回の訃報は残念であった。

最後まで謹んでご冥福をお祈りしたい。

茶山教会信徒 河井田研朗

「忘れられない誉められた事々々められた人」

＊教えぶりもしかと見ておく参観日

坂牧春妙

深堀正平

カトリック福岡教区 2011年の現勢

教会名	在籍信徒数2011			在籍信徒数2010			死亡者数			教区外転入者			教区外転出者			受洗者数				求道者数				ミサ参加者数							
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	2011	2010	合計	主日	復活祭	降誕祭				
	幼児洗礼		成人洗礼		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計				
1 糸島	200	238	438	199	236	435	1	0	1	3	2	5	1	0	1	1	0	1	0	0	1	5	2	1	3	0	141	180	225		
2 今村	414	536	950	416	547	963	4	12	16	1	0	1	2	1	3	1	2	3	0	0	3	16	0	0	0	350	400	430			
3 大楠	148	198	346	149	199	348	2	1	3	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	2	3	3	1	28	29	17	100	200	500	
4 大牟田	133	239	372	133	243	376	1	7	8	1	0	1	1	1	2	0	1	0	2	2	3	4	0	1	1	1	100	200	300		
5 小郡	165	261	426	165	263	428	2	3	5	0	1	1	0	3	3	1	1	2	1	1	2	4	11	1	2	3	5	150	250	250	
6 久留米	371	508	879	365	518	883	7	9	16	1	1	2	2	2	4	6	5	11	2	3	5	16	10	4	11	15	14	300	400	600	
7 古賀	419	518	937	425	521	946	6	3	9	3	2	5	0	0	0	0	0	1	3	4	4	10	3	6	9	5	244	453	556		
8 糟屋	326	454	780	344	508	852	3	2	5	6	2	8	3	1	4	2	2	4	8	4	2	6	2	6	2	200	300	400			
9 浄水通	206	329	535	197	304	501	3	2	5	4	6	10	0	2	2	1	0	1	9	16	25	26	16	4	66	70	25	150	250	450	
10 大名町	690	1,057	1,747	700	1,069	1,769	5	8	13	16	14	30	1	3	4	7	11	18	4	7	11	29	27	6	20	26	25	400	500	1,400	
11 高宮	241	360	601	235	361	596	2	5	7	7	7	14	1	1	2	2	0	2	0	1	1	3	7	2	6	8	7	130	280	330	
12 茶山	193	223	416	200	227	427	6	2	8	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	85	190	185	
13 西新	585	801	1,386	600	805	1,405	3	3	6	2	11	13	10	7	17	7	5	12	0	11	11	23	7	2	7	9	17	350	320	500	
14 箱崎	140	205	345	140	207	347	0	2	2	1	2	3	1	1	2	0	1	1	1	2	3	4	3	3	1	4	3	90	150	300	
15 光丘	481	568	1,049	603	701	1,304	2	3	5	7	6	13	2	2	4	3	7	10	1	4	5	15	6	1	2	3	4	200	450	645	
16 二日市	278	315	593	276	311	587	2	1	3	5	4	9	4	2	6	0	1	1	0	1	1	2	3	2	6	8	1	120	350	450	
17 本郷	308	364	672	311	368	679	3	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	250	450	500	
18 吉塚	231	295	526	309	423	732	2	0	2	4	3	7	8	4	12	0	0	0	1	2	3	3	3	0	2	2	2	100	210	230	
19 老司	265	278	543	273	281	554	2	3	5	1	3	4	2	4	6	0	1	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	80	200	250	
福岡地区計	5,794	7,747	13,541	6,040	8,092	14,132	56	70	126	62	64	126	39	35	74	32	37	69	25	55	80	149	147	35	161	196	128	3,540	5,733	8,501	
20 飯塚	124	148	272	122	147	269	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	1	4	4	1	2	3	3	70	150	200	
21 黒崎	440	631	1,071	436	636	1,072	7	5	12	2	3	5	0	3	3	6	1	7	1	1	2	9	4	1	1	2	2	300	500	550	
22 小倉	1,169	1,721	2,890	842	1,212	2,054	10	11	21	4	1	5	7	5	12	4	4	8	1	5	6	14	7	1	32	33	38	300	500	800	
23 新田原	756	840	1,596	771	861	1,632	4	9	13	2	0	2	1	3	4	1	2	3	0	0	0	3	7	0	4	4	1	500	817	849	
24 田川	20	51	71	37	63	100	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	30	45	65	
25 天神町	81	139	220	82	139	221	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	110	110
26 戸畑	185	266	451	180	261	441	1	2	3	1	2	3	1	0	1	2	3	5	3	2	5	10	6	0	1	1	6	170	250	450	
27 直方	83	77	160	92	85	177	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	4	8	0	0	0	2	55	60	75	
28 水巻	342	431	773	339	429	768	5	5	10	2	3	5	1	3	4	1	1	2	0	3	3	5	5	0	0	0	1	160	230	300	
29 門司	138	223	361	141	225	366	3	0	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	2	2	2	100	200	200	
30 湯川	554	630	1,184	563	640	1,203	4	7	11	1	0	1	2	1	3	0	2	2	0	3	3	5	4	1	0	1	1	200	400	520	
31 井橋	411	458	869	412	460	872	1	3	4	1	0	1	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3	18	3	4	7	5	250	600	600	
32 若松	100	156	256	99	155	254	3	3	6	1	0	1	0	1	1	3	1	4	1	3	4	8	4	0	0	0	2	70	140	190	
北九州地区計	4,403	5,771	10,174	4,116	5,313	9,429	39	48	87	14	9	23	12	17	29	18	20	38	9	19	28	66	67	7	47	54	67	2,285	3,982	4,909	
福岡県合計	10,197	13,518	23,715	10,156	13,405	23,561	95	118	213	76	73	149	51	52	103	50	57	107	34	74	108	215	214	42	208	250	195	5,805	9,715	13,410	
1 伊万里	137	159	296	135	158	293	0	0	0	1	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	3	9	50	100	120
2 鹿島	23	30	53	21	30	51	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	1	1	2	2	15	30	50	
3 唐津	213	244	457	214	251	465	0	1	1	1	0	1	2	2	4	1	1	2	3	2	5	7	3	0	0	0	2	70	150	200	
4 佐賀	238	395	633	239	389	628	1	2	3	0	4	4	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5	4	3	2	5	4	100	250	260	
5 多久	42	57	99	41	56	97	0	1	1	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	31	40	
6 武雄	32	41	73	32	41	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	20	40	100
7 鳥栖	141	209	350	146	211	357	1	1	2	3	5	8	11	11	22	3	4	7	2	5	7	14	6	1	6	7	7	120	200	300	
8 馬渡島	114	82	196	138	98	236	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	90	130	140	
9 呼子	225	223	448	222	222	444	2	4	6	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150	250	250
佐賀県合計	1,165	1,440	2,605	1,198	1,456	2,644	6	10	16	6	15	21	13	14	27	4	11	15	7	7	14	29	19	5	13	18	25	635	1,181	1,460	
1 荒尾	36	72	108	36	72	108	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	30	40	40	
2 大江	116	185	301	119	190	309	4	4	8	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	1	2	1	0	1	0	80	150	280	
3 常山	142	190	332	137	184	321	0	1	1	0	2	2	0	0	0	2	4	6	0	1	1	7									

カトリック学校教職員のための養成塾



写真提供・カトリック新聞社

2009年、私は東京にて設立された「カトリック学校に奉職する教職員のための養成塾」(以下、養成塾)に第一期生として、翌年は運営スタッフとして勤務校より派遣される傍聴を得、学びを深めることができました。

この養成塾は、日本のカトリック学校が司祭や修道者の減少という喫緊の問題に對し、次代の担い手として期待される教職員の養成を図つていこうと、河合恒男師(日本カトリック学校連合理事長)や森一弘司教様(真生会館理事長)、Sr.杉田紀久子(幼

きイエス修道会日本管区長等を世話人として発足し、年間約十八回の講義と夏冬二度の合宿を実施しています。主に地元関東のカトリック学校の先生方が集う中、遠路福岡から馳せ参じた私は否応なく注目されましたが、かえってそのことが生半可な気持ちで臨むことはできないという緊迫感を生み、強い気持ちで上京させてくれました。

各講座では神父様やシスター方から、聖書やイエスキリスト、教会の歴史、カトリック学校の建学の精神、宗教教育や生徒指導の観点などの講義を受け、その後グループに分かれて分かち合いとして意見交換を行い、代表者が発表するという流れでしたが、私にとつては特にこの「分かち合い」が大変印象深いものでした。

同じ講義を受けても受講者により様々なとらえ方があること、また学校現場での喜びや苦悩はかなりの部分で共通していることを知ることができました。これによってカト

2012年福岡教区宗教法人立 幼稚園教職員辞令交付式



宮原良治司教様司式による言葉の祭儀に始まり、厳かな雰囲気の中、辞令交付式が行われました。新任の先生方の名前が一人ずつ呼ばれ、司教様から辞令が交付される時、みなさん緊張の中にも、これから幼稚園教諭として一杯働きたいという意気込みに溢れているように感じられました。

2012年3月31日、カテドラル大名町教会での辞令交付式、新任研修会にあずかりました。

第1講話は、司教様による「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」というテーマで「キリスト的精神に基づいて幼児教育に取り組んでいきたい」と結論から述べら

ご復活祭は恒例のお餅つき



リックの特徴の「多様性」と「普遍性」を深く感じることができたうえ、互いの想いのやり取りが、回を重ねるにつれて深まり、結びつき合うようになっていきました。この養成塾に参加した先生方とは、今でも各校の現場で切磋琢磨を誓い合う「同志」の仲です。カトリック学校の未来を

茶山教会では今年もご復活のお祝いの日に、お年寄りも小さな子どもも信者でないお友達も交わってにぎやかに餅つき大会が行われました。普段熱心に祈られる姿しか印象がない大先輩のおじちゃんおばちゃんに、餅の搗

き方や丸め方を習い、そして語らい、笑い合い、お腹いっぱい食べて楽しく過ごしました。普段見られないカッコイイ意外な姿を発見できた事も親しみが湧きうれしくなりました。ほろ酔い気分です。浄水通教会から駆け付けて来られたリチャード神父様も餅つきパフォーマンスでたくさん笑いに囲まれていました。みなさん笑顔満開でした。

自分一人だったら教会から離れていたかもしれない私の僅かな信仰心ですが、両親をはじめとする大人の信者の温かい招きと導きによって育てられている事をあらためて感じる一日でした。茶山教会学生 青山理恵

れ、先生方一人ひとりが幼児教育のプロとして、MVP (Mission, Vision, Passion) を持ち、「教育の目標は、人格の完成を目指す」、そのために子どもを中心に保護者・地域社会・幼稚園が二次元の三角形の線として繋がり、その頂点に神様を置き三次元の立体となり、互いに対話を通して信頼と絆を深めることにより真の教育ができる、と教えていただきました。

第2講話は、鳥栖カトリック幼稚園副主任の田中佳代子先生による「新任教諭に望むこと」というテーマで「カトリック教育の為に信仰が必要であること」、「先生の価値観が全て子どもに反映される」、

カトリック看護協会福岡支部のご案内



カトリック看護協会のグループは、カトリック医療者、カトリック看護協会、カトリック看護協議会等がありますが、カトリック看護協会はその中の一つの組織です。その看護協会の中で、私たちは福岡支部の会員

と、話し合いの中で合意に至りました。今年度は、W・キツベス師(レディングツール会)、デニン師(ザビエル宣教会)の2人の顧問司祭の派遣をいたたいです。なかでもW・キツベス師は長年、臨床パストラルケア(魂のケア)ワーカーの養成者として経験豊かです。師のご指導のもと、カトリック医療者として、魂のケアワーカーとして、いのちに向き合う学びを深めることが出来ればと願っております。今後は司教様のご了解を得、パラメディカル的な立場で働いておられる皆様に、「共に学びましょう」の想いで、ご参加をお願いしご案内いたします。

この度、昨年の熊本阿蘇での全国大会を機に、看護師だけ行っていた隔月の例会を、ボランティアを含めたパラメディカル的なものにした

例会は、北九州・久留米・熊本の会員が隔月に集い、主としてイエズスの聖心病院(熊本)で開いております。多くの方々、特に福岡教区で看護師として従事している方、従事されていた方の参加もお待ちいたします。カトリック看護協会 福岡支部長 浜崎喜美代

聖ヨアキム・聖アンナ会

私たちは、2007年7月26日聖ヨアキム・聖アンナの祝日から、数名で毎月、ロザリオとミサを捧げて、祈ってきました。

現在は聖母マリアの両親に倣い、私たちシニア世代が集まり、家庭、教会、社会、人類のため、イエスの御心が行われますようにと、心を一つにして一致して祈り、聖家族を模範にして共に祈ることを目的としています。現在は笹丘教会で遠山神父様の下、ロザリオ、ミサ、分かち合いをしています。

5月からは第二水曜日の午後一時からロザリオとミサに

加え、聖体礼拝、聖霊の助けを得て、ギター伴奏で皆で歌い、神を賛美していきたいと思っております。現在のメンバーは50代から80代までの5人ですが、年齢は問いません。色々な世代の人が集まって、これからの祈っていきたく思います。尚、この会の祈りには、免償がついており、祝日には全免償もいただけます。祈りの後は神父様と共にお茶をいただきますが、楽しくお話ししていただけます。一緒に分かち合いませんか？お待ちしています。5月9日(水) 13時から、カトリック笹丘教会です。



☆新約聖書 原文校訂による口語訳



2011年8月の発売以来、好評を博している。スコア聖書研究所注の『新約聖書』。このたび、その中から『新約聖書』だけを総ふりがなで発売。持ち運びに便利なハンディサイズ、肌触りの良いビニールクロス装丁で新登場。サンパウロ発行

◇聖母月に女子パウロ会がご紹介したいマリアさまの本 ☆イエスのお母さんマリア 児童書 聖書と伝説にもとづいた聖母マリアの伝記。 1300円 ☆まりあさまといっしょ えほん いつでもどこでも、まりあさまがともい 1260円 ☆イエスとマリア 現代の偉大な霊性の作家ヘンリ・J・M・ナウウエンによる、マリアの説教とルルド巡礼記。 735円

*本の価格は、いづれも税込

何でもお問い合わせください 株式会社 ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルゴリタ・マリア 吉田由美子 〒910-8044 新潟県中野区大塚6丁目5番4号 TEL 092-781-8800 http://www.jp-smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市上白水 5-11-102 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 株式会社 森山工務店 ヨゼフ 森山新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 平井 / AM 10時 ~ PM 5時 40分 日・祝日 / AM 11時 ~ PM 4時 (球団E定休日) TEL 092-741-8888 FAX 092-741-8601 URL http://www.pax-inc.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ③

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコによる福音書を読む』
日時：5月20日(日) 14:00
テーマ：イエスの道の曲がり角と障害(6章30～8章26)
講師：エドウィン神父(高宮教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

ローマ・ルルド・ヌベール・パリ聖地巡礼

全工程添乗員、3人の司祭が同行します。
【飛行機】福岡空港発着
【宿泊地】ローマ2泊、ルルド2泊、ヌベール1泊、パリ3泊(3～4星ホテル利用予定)
【巡礼地抜粋】ローマではバチカンや主要巡礼地、ルルド、ヌベール、モンサンミッシェル、パリミッション会訪問など
【旅行期間】7月25日(水)～8月10日(金) 8泊10日
【旅行代金】お一人あたり 398,000円
【旅行企画】(株)阪急交通社 福岡団体支店

子どもたちの夏期練成会

日時：8月23日(木)～25日(土)
場所：聖パウロ修道会・箱根修行所
集合場所：東京都新宿区四谷1-2 サンパウロ前 午前11時
対象：小学校4年生～中学生男子/参加費：7,000円
締切日：8月10日
担当：聖パウロ修道会 Br.小島 次郎
問合せ：TEL:03-3351-5154 FAX:03-5363-3505
E-mail: ssp-voc@sanpaolo.or.jp

第38回日本カトリック女性団体連盟福岡総会 第29回福岡地区婦人会総会

日時：5月16日(水)～17日(木)
テーマ：キリストに学び、家庭の現実に向き合う～食卓からいのちの輝きへ～
場所：カテドラル大名町教会
*参加希望者は、各小教区の婦人部等へ問い合わせ下さい。
特別講演会：5月17日(木)9:30から
テーマ：～食卓からいのちの輝きへ～
講師：内田美智子さん(助産師)
参加費：1000円(特別講演のみでも参加できます)
主催：日本カトリック女性団体連盟・福岡教区福岡地区婦人会

第51回 朝禱会全国大会

日時：5月18日(金)13:00～20日(日)9:00
会場：カテドラル(カトリック大名町教会)
大会主題：「へりくだって神とともに歩む」
記念講演：5月18日14:00～15:15
テーマ：「福岡とキリスト教」
講師：坂井信生先生(九州大学名誉教授)
特別講演：5月19日9:30～10:45
テーマ：「殉教者たちが示した一致の証し」
講師：デルカ・レンゾ神父(26聖人記念館館長)
参加費：1000円(3日間共通) 当日受付
主催：朝禱会全国連合/実行委員会=福岡朝禱会

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第7回

日時：2012年5月27日(日)16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分ち合い)
講師：G. ミッシェル神父(箱崎教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

「俺には、人を立ち上げさせる力がある、生き生きと人を生かす力がある。この俺の言うことを本気で受け止め、その身も心も委ねる者は、たとえ死んでも生きるのだ。」
これは「私は復活であり、生命である。」(ヨハネ11:25)の山浦さん訳です。独学でギリシャ語を学ばれ、東北をはじめ、日本各地の方言で翻訳するなど本筋に頭が下がります。今年の広報の日記念講演会、是非是非をお運びください。M

案内板

会合と催し

5月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 5月

12日(土)～13日(日) 黙想の家後援会黙想会・総会
19日(土)～20日(日) 山口島根地区信者養成研修会
27日(日)～6月2日(土) 援助修道会黙想会
6月
4日(月)～6日(水) 休館
9日(土)～10日(日) 聖マリア在俗会黙想会
16日(土) 福岡チェナクム
*祈りたい時 祈るために/疲れた時 休むために/学びたい時 学ぶために、個人黙想をご利用ください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：5月10日(木)10時～14時半
・内容：御聖体とおとめマリア
指導者：フランコ・ソットコノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：6月14日(木)キリストによって、キリストとともに、キリストの内に
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：5月19日、6月2日、6月16日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

東日本大震災復興支援室だより

◆長崎教会管区運営の『カリタスジャパン大槌ベースキャンプ』も徐々に軌道に乗り、ボランティアの受入れや地域との連携に忙しい毎日です。
継続した、様々な支援が今後とも必要です。みなさまにできる形の支援をお願いします。
ボランティア窓口：E-mail:cdf-curial@mbe.nifty.com
Tel.092-522-5138 / Fax.092-523-2152
支援金口座：福岡中央銀行平尾支店(普)1076206
(宗)カトリック福岡司教区/代表役員：宮原良治

北九州召命を共に祈る会

【日時】5月10日(木)14時(場所)カトリック小倉教会(内容)ミサとミーティング(指導)谷口尚志神父(新田原教会助任)(問合せ先)☎0949・24・9905 藤井
【小倉祈りの集い】(日時)5月25日(金)13時半(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難会)(内容)『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡)☎090・3985・5209 松田

6日(日) 復活節第5主日
山浦玄嗣医師特別講演会(カテドラル14時)
8日(火) 司祭評議会
9日(水) 神学院常任委員会(東京)
10日(木) 常任司教委員会
12日(土) 聖心ウルスラ幼稚園講話
13日(日) 復活節第7主日/世界広報の日(献金)
佐賀地区カトリック青年会壱岐巡礼
笹丘教会バザー
14日(月) 聖マチア使徒
16日(水) 日本カトリック女性団体連盟総会(～17日福岡)
↑ミカエル中浜一男[2005年浄水通教会]
20日(日) 主の昇天
有志の集い・ソフトボール大会(大神学院)
西日本司祭団親睦ソフトボール大会(大分)
福岡教区幼児教育連盟会合
↑L. グロージャン[2006年八王子教会]
熊本マリスタ学園・聖堂祝福式
「司祭のマリア運動」九州チェナクム
27日(日) 聖霊降臨の主日
福者アダム荒川殉教祈念ミサ(本渡)14:00～16:00
聖母の訪問
31日(木) 6月
1日(金) 聖ユスチノ殉教者/初金/サーリスの集い
2日(土) ↑ヨセフ松永久次郎司教[2006年第5代教区長]
3日(日) 三位一体の主日/↑V. マテオ[2002年黙想の家]
7日(木) 常任司教委員会・神学院常任委員会
↑P. ダイヤモンド[2006年崎津教会]
キリストの聖体/聖体行列(島崎教会)
26聖人殉教者列聖150周年記念感謝ミサ(長崎)
■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時から(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・みことばの分ち合い(問合せ先)☎092・821・6349
◆震災のための祈りのリレー(日時)5月11日(木)7時～19時(場所)カテドラル西新教会聖堂(問合せ先)↑ro5ape19ko@yahoo.co.jp Br.阿部光一
◆福岡結婚準備講座(日時)5月12日(土)6時～9時(場所)カトリック大名町教会(参加費)カックブルで1万円(問合せ先)☎092・741・3687
◆心の健康セミナー(日時)5月13日(日)14時より(場所)カトリック黙想の家ログハウス(テーマ)病との付き合い方(指導者)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)自由献金(主催)支える会(問合せ先)☎0940・32・173 宗像市 矢田
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)5月15日(火)11時(場所)聖クララ寮(福岡市南区塩原(内容)聖母に捧げて(問合せ先)☎096・380・5686 堺敬子
◆カルメル在世会(日時)5月21日(月)10時半(場所)福岡女子カルメル修道院聖堂・テレサの家(内容)ミサ・講話「創立史(大聖テレジア著)(指導)カルメル会司祭(問合せ先)☎097・551・1360 中林
◆在世フランシスコ会集会(日時)5月27日(日)14時から16時(場所)高宮フランシスコ修道院在世会集会所(指導)エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎
◆テレジア友の会読書会(日時)6月2日(土)13時半(場所)福岡女子カルメル会テレサの家(内

佐賀

容)「幼いイエスの聖テレズ自叙伝」(問合せ先)☎092・807・7361(カルメル会)
◆第56回福岡典礼聖歌研修会(日時)6月3日(日)14時(場所)浄水通教会(テーマ)ミサ/共同体の賛美(講師)深堀純氏(参加費)自由献金(問合せ先)☎092・541・3730 松山
◆美野島司牧センター
●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分
●ホームレス支援夜回り第1金曜日20時●路上からアパルトに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 コース神父
◆北九州召命を共に祈る会(日時)5月10日(木)14時(場所)カトリック小倉教会(内容)ミサとミーティング(指導)谷口尚志神父(新田原教会助任)(問合せ先)☎0949・24・9905 藤井
◆小倉祈りの集い(日時)5月25日(金)13時半(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難会)(内容)『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡)☎090・3985・5209 松田

熊本

◆佐賀祈りの集い(日時)5月12日(土)10時(場所)毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎095・2・30・8347 吉武
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)5月17日(木)11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825 青木悟神父
◆熊本結婚準備講座(日時)5月12日(土)から6月9日毎週土曜日の全5回(土)19時～21時半(場所)カトリック手取教会(参加費)カックブルで1万円(問合せ先)☎096・352・3030 F 096・352・1515

アダム荒川 天草のキリシタン慰霊祭

日時：5月27日(日)14:00～16:00
場所：キリシタン墓地(天草キリシタン館下)
講演：「ルイス・アルメイダとアダム荒川」
講師：S. R. 片岡瑠美子(長崎純心大学教授)
福者アダム荒川と天草のキリシタン慰霊ミサ
主催：大江教会、崎津教会、本渡教会
問合せ先：本渡教会 ☎0969-22-2758
*雨天の場合は、本渡教会で行う。

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー

添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
【集合】2日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】28,000円
◆20教会3日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】48,000円
◆全54ヶ所5日間【出発】5月20日【旅行代金】85,000円
【旅行企画・実施】株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

アヴェ・マリア
慈みに満ちた方
主はあなたとともに
サンパウロ福岡司教センター
10-00-18 092-21-4894・21-5550(受付時間)
〒814-0212 福岡県福岡市東区 092-721-5222 fax709-3211

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
内科・外科臨床研修指定病院
総合産科産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
*入院基本料(一般病棟)1:1
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人 山本信三
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】感謝の祭儀に現存するキリスト
【宣教】ヨーロッパのキリスト者
【日本の教会】日本の教会で働く司祭の
聖化のために祈る

山浦玄嗣氏を迎えて広報委員会が特別講演会
心に響けよききたより

5月6日(日)、カテドラル大名町教会において福岡教区広報委員会主催の特別講演会が行われた。5月13日の「世界広報の日」にちなむことではあったが、各地から、また宗派を超えて300人以上の参加があり、山浦玄嗣氏(仙台教区大船渡教会所属)のユーモアと力強い語り掛けに笑いあり、涙ありの2時間はまさに心に響くものであった。



「心に響けよききたより」というテーマの講演会には日曜日であつたこともあり、主日のミサから引き続きて来られた福岡、熊本や北九州などからの信徒の姿が見られた。受付が始まると市内の聖公会やバプテスタの教会などからの参加者の姿もあつた。

2012年度第1回司祭評議会開催

5月8日(火) 司教館にて、司祭評議会が開催された。各地区からの報告の後、司教は、今年に日本二十六聖人殉教地は教区レベルから全日本レベルの殉教地に引き上げられ、「日本二十六聖人長崎への道」ネットワークの準備が始まっていることが報告された。

また来年4月に長崎コレジオが、現在の幼きイエス会修道院(浄水通)に移転し、長崎教会管区福岡コレジオとして、スタートし、高見大司教を代表として、九州の5教

世界広報の日を受けて

「私は道、真理、命である。」この言葉を「俺は、人を本當の幸せに導く。俺は、人が本當に幸せになる方方を教える。俺は人を幸せに生き生き生かす。」俺には人を立ち上げさせる力がある。生き生きと人を生かす力がある。この俺の言う事を本気で受けとめ、その身も心も委ねる者は、たとえ死んでも生きるのだ。」と訳した山浦氏は、講演をつうじて、イエスが発したメッセージは、当時の人々だけに向けられたものではなく、現代の私たちにもまた普遍的であると語った。

山浦氏が医療者として多忙を極めるなかで、独学でギリシア語を学んだのは「福音書の本當のメッセージを同郷の人々に響く言葉で伝えたい」という熱意からだ。原語に忠実にあたりつつ、「届く言葉」にこだわった翻訳は心の奥にストンと落ちる説得力

久留米の聖マリア病院での受診となるため、研修会は久留米で開催するが、個人や施設等で受診している司祭もいるので受診は任意で行うこととなった。

次に教皇大使の公式訪問について、大使をお招きして司祭や信徒との対話の機会を設ける、教区内の殉教地を訪問していただく等の意見があつたが、お招きする期間や場所などを再検討していくことになつた。次に天草・崎津教会と周辺地区の世界遺産登録について、登録の判断を崎津小教区

時の話題

Sr. 真浦直美

今回福岡に派遣されたのは生まれ育った長崎県上五島の仲知を離れて、7度目の引越しです。何度も回数を重ねれば慣れてくるものだと思つておりまして、これが、こればかりはそう簡単にはいかないようです。長くなればなるほど、年を重ねると尚更、人との別れはもろもろ、住み慣れた場所を離れることに戸惑いを感じるものです。ところが7度目に

して、新鮮な思いを致しました。大楠教会に入り、祈座台から十字架を見上げると、「懐かしい!」という思いで一杯になったのです。その後、これまでお世話になった教会が次々に思い出され、最終的には、なぜか幼い自分が部屋の片隅に立つて、イエス・キリストのご絵を見上げている場面に及びました。何か不思議な思いと同時に、初めての教会、しかも十字架を見上げて心から懐かしいと思え、心が温かくなるという体験。何と幸せなことだろうと。教会の中で、キリストを見上げ、懐かしい家を感じ、そして家族の温かさを感じられる喜び。

神を信じる者にしか、到底理解できないお恵みなのだろうと思ひます。5月、マリア様の月に母の日を祝い母の愛を感じました。6月、イエスの聖心の月には、父の日を祝い御父の愛を感じます。それぞれ家族、小教区共同体、全教会、修道共同体、被災地及び被災された方々、全世界の人々の上にキリストの愛が注がれ、人々の心に、平和と喜び、癒しの恵みが充ち溢れますように。キリストの愛の象徴、十字架を眺めながら、祈りをささげています。

今年広報の日の講演会は医師の山浦玄嗣先生にお越しいただいた。エネルギーでユーモア溢れるお話しに満場の会衆も一心に聴き入った。先生が25年ほど前にお書きになった「父さんの宝物」という書物がある方からお借りした。「タカラモノ」はケン語では自分の子ども、よその子どもを問わず、子どもをこのように呼ぶのだという。山浦さんは8人のお子さんをお育てになった。本の中で、カトリックの信仰、教会をいつも第一に考え、その価値観をしっかりと子どもに伝える父が描かれている。信仰に關しては一步も譲らない父、頑固者、一徹者の父が描かれている。信仰は強制するものではない、だから子どもが自分の意志で選ばせればよい、そんなことを最近よく聞く。確かに自分で選べばいい。信仰はより強固なものとなる。しかし、親が自分が大切だと考えているものを伝承しなくては、いつか誰か神を知り、教えを知り、福音に触れるだろうか。むしろ十分に伝え、与えた後に子どもは選べる。山浦さんは、毎晩子どもたちに聖書の話を聞かせておられたそう。標準語ではなく、ケン語でたくさん語られたのであろう。子どもたちが興味を持って聴き、み言葉が心の中に入っていくためにはどのようにすればよいか、読み聞かせを通して学んでおられた。この子どもたちは何と幸せなことか。今回の福音書翻訳の完成もこの25年前、家庭からすでに始まっていたと言えるのかもしれない。

日本二十六聖人殉教者列聖150年について

6月8日は、日本カトリック教会にとつて大きな意味を持つ。1862年6月8日、教皇ピオ9世(福者)は、バチカンにおいて、日本26聖人(正式には「パウロ三木と同志殉教者」)を列聖された。

それは「幕末の日本が開国するにあたり、ローマが日本の教会の再興を願つて」(前高松教区長 溝部脩司教)のことだ。今年はその列聖から150年の節目の年を迎える。日本カトリック司教団は、長崎信徒発見(1865年3月17日)から今日までを振り返り、今年を日本の教会の再スタートと位置づけ、日本の全教会が新しい福音宣教へ向かうべく意識を新たにすることを願っている。

まず、列聖150周年記念事業として、列聖記念日の6日、河原町教会(京都)で午後3時から、バチカン教皇駐日大使による記念ミサ。さらに9日には岡山教会(広島)で午前11時半から記

ウィリアム・アクイン・カルー大司教帰天



ウィリアム・アクイン・カルー大司教(元駐日教皇庁大使) 5月8日、カナダで帰天。享年89歳。1922年、カナダ生まれ。1947年、セントジョーンズ教区(カナダ)司祭として叙階。1970年に大司教に叙階。1983年から1997年の間、駐日教皇庁大使を務めた。福岡教区では86年のカテドラル献堂式を司式され、「教区の信者は神の教会の建物の部分たれ」という激励の言葉を残された。また翌87年の教区公式訪問中に故平田三郎司教の司教叙階25周年記念ミサに臨席、さらに91年の故松永久次郎司教の着座式を司式され、福岡教区にも度々足を運ばれた。引退後は、母国に戻り、静養しておられた。

M

広報委員会の特別講演会に参加して

読み飛ばしていい みことば...



山浦氏の講演は、一部であるがユーチューブで聞くことができる。著作も多く、「アマゾン」などで探して取り寄せて読んでみると、「言葉」の意味が深められる。単に「わかりやすい」ということではない。言葉の本来の意味が浮き出てくる。その浮き出てきた空気にとつぷりと浸かったような気になり、言葉が腹に落ちてくる。

首を長くして待っていた山浦玄嗣氏の講演会。大震災後すぐに「お水くぐりの」ケセン語訳新約聖書を求めて以来、いつか直接に話しを聞きたいと思っていた。最新作の「ガリラヤのイエシュ」は今や座右の書となっている。新共同訳や他の翻訳に慣れてしまっている自分に気づく。肝心の言葉を軽く読み過ぎている。たとえば「福音、愛（する）、祈り、み旨、罪、教会など。わかつたつもりでいたが、そのような大切な言葉を深く考えないで、わかつたつもりで読み飛ばしていったような気がする。そのように感じさせる講演であった。

「質問」 「イエスさまは『皆これを取って食べなさい、飲みなさい』と言っておられるのに、どうして司祭だけがぶどう酒（御血）を飲んで、信徒には飲ませないのですか。」

典礼シリーズ ③

【質問に答えて】

歴史を紐解いてみると、この質問と類似したテーマが、かつてトレント公会議（1562年）において、すでに取り上げられていること

あるということにも気づかされた。もっとも多くの人に講演を聞いてもらいたい、山浦氏の翻訳に触れてもらいたいと思つた。

臣下は主君を愛するとは 言わない



長い年月、私たちが聖書

「はじめに言葉があつた」と聞かされてきました。言葉によつて成つたということ。聖書の言葉の一つひとつは、祈りの言葉とあわせて無意識のうちに感じていく神様と対峙する手段でもあり、納得、やすらぎ、平和の手段でもあつたと思つていまい。しかし、本当の言葉の意味は文法とか辞書では理解できないのではないかと、どこかに間違いがあるのではないかと、との問いかけで講演は始まり、聴者に驚きと感動と新鮮さを与えてくれました。

山浦玄嗣先生のお話には、80年近く生きていく自分は何だつたのかとさえ、考えさせられる。鳥栖教会信徒 日高賢二

「古代の教会では両形色による聖体拝領が慣習であつた」のに、「時代の変遷とともに」この慣習が大きく変わったのは、「正当で重大な理由のため」である、この公会議は述べています。この正当で重大な理由は、①「秘跡を受ける人の利益」と②「秘跡の尊敬」の二つの観点から説明がなされています。

「すべてのキリスト者の間の一致再建を促進すること」は、聖なる第2バチカン公会議の主な目的の一つである（エキュメニズムに関する教令第1項）と述べて公会議はすべてのキリスト教諸派との対話を促した。

「すべてのキリスト教以外の諸宗教に対しても」カトリック教会は、諸宗教の中に見出される真実で尊いものを何も排斥しない。諸宗教の信奉者との話し合いと協力を通して、かれらのもとに見出される精神的、道徳的富をよび社会的文化的価値を認め、保存し、促進するように

福岡教区諸宗教委員会から

これを受けて、キリスト教諸派との対話協力、さらにキリスト教以外の諸宗教との対話協力が推進されることとなつたのである。

父（箱崎教会）と井手公平神父（門司教会）が任命されている。また、諸宗教部門は、フランコ神父（真命山）を中心にすすめられていた熊本地域諸宗教対話研究会が、このほど教区が関わる活動となり新たな段階を迎えることとなつた。それに伴い、牧山美好神父（崎津・大江教会主任）、アルビン神父（老司教会）が加わり、体制が強化された。

朝祷会全国連合福岡で全国大会を開催



「朝祷会」第51回全国大会がカテドラル大名町教会を主な会場として5月18・19・20日に開催され、県内外から265人の参加があつた。

「朝祷会」は早朝に集まり、祈り、そして朝食を共にするキリスト教超教派の信徒の祈りの集いである。福岡では大阪・東京に次いで51年前に始められ、現在は九州キリスト教会館（福岡市中央区赤坂）で毎週月曜日の早朝7時30分から創設以来1回も休会することなく続けられ5月28日で2643回になる。

「古代の教会では一回のミサに集まる信者のグループが小規模でした。しかも成人のキリスト者がほとんどで、参加者は適度な量のぶどう酒（御血）をふさわしく拝領できる状態であつたと推測されています。しかし、教会の発展とともに、一回のミサに集まる信者のグループが次第に大規模になって行き、そこには成人のキリスト者だけでなく、多くの子供たちも参加して、全員が御血を拝領す

ることが、かなり困難な状態になってきました。例えば、拝領中に御血をこぼしてしまつたり、途中で少なくなる、聖別されていないぶどう酒を混ぜたりして、御血を心から尊んで拝領するということが危ぶまれる事態も起こってきました。

「現代の教会の立場」：現代の教会は、トレント公会議が下した判断と、秘跡の受ける方法の慣習を維持しながら、同時に聖体の秘跡がパンとぶどう酒という豊かなしをもつ聖なる食事として制定されていることに注目し、ミサに集う信者が両形色による拝領をふさわしく行うことが、両形色による拝領を勧めます。そして、両形色による拝領が可能かどうかの判断は、ミサを司式する司祭の責任に委ねられています（総則85/283参照）。

奉獻生活者のための黙想会 ①
【指 導】 来住英俊神父
【日 程】 7月22日(日)夕食～29日(日)朝食
【テーマ】 山上の説教を聴く（マタイ5章～7章）
★費用 7万円（講師謝礼含む）★前泊については、ご相談ください。
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
E-メール fmokuso@mvi.biglove.ne.jp
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命 お問い合わせは 有限会社 **大楠酒店** ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

ちゅっぺー
一息
*待ち合わせの本屋二人で読みふけり
*虹に音符置くと素敵な音出そう
坂牧春妙
深堀正平

日力連と福岡地区婦人会が総会と講演会 内田美智子さんの話に振り返る子育て



家庭の現実に向き合う」を深める研修会・黙想会の実施「いのちを守る運動」の推進、被災地支援活動等を行っていく事が了承されました。

午後からの日力連総会には全国から110余人の会員が集まり活発な質疑応答の中、基本テーマ「家庭・召命・いのち」のもと2012年の種々の活動が決定しました。

5月16日(水)、17日(木)大名町教会に於いて、第38回日本カトリック女性団体連盟(日力連)福岡総会、および第29回福岡地区婦人会総会が開催されました。16日、午前中は福岡地区婦人会の総会が行われ、前年度の活動報告・会計報告と共に会の名称変更が承認されカトリック福岡司教区福岡地区婦人会から「福岡地区カトリック女性の会」と呼ばれることになりました。



「親は子供より先に死んでいく」「いこのちをつなぐ」等など、たくさんの分ち合いがありました。若い人も子育て中の人も子育てを終えた人も自分を振り返り、今を大事にしなければと思ったひと時でした。

福岡教区修道女連盟が役員改選など総会



ら、会員87人の参加者が会場を埋めた。福岡市内の会員有志によって整えられた温かいコーヒー・茶菓は、早朝から雨の中を駆けつけた遠来の会員を喜ばせ、既に、開会前には和やかな親睦の雰囲気の流れていた。

総会に先立ち、宮原良治司教様よりご講話をいただいた。今秋開催されるシノドスについての情報、特に「新しい福音宣教」をめぐる方向性とその具体化の問題について概要が示された。シノドス参加後の、より具体的な指導に大きな期待を抱くことが出来た。

な活動について話し合いを進める事になりました。17日、「食卓からのいのちの輝きへ」をテーマに、内田美智子さん(助産師)を迎えお話を聞きました。スクリーンに映し出される助産師としての種々の体験からなる言葉・映像そして音楽を強く打ちました。

最後に総会においては、会計・活動の報告・計画などを規定に従って執り行った。続いて、新役員の紹介。▽会長 黒木紗耶子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)▽副会長 Sr.平井篤子(マリアの宣教師フランシスコ修道会)▽会計 Sr.窪田ヨシ子(シャルトル聖パウロ修道女会)▽書記 Sr.三井萬里子(カノッサ修道女会)▽書記・監査 Sr.林優子(シヨファイユの幼きイエズス修道会)。

来年度の福音宣教の使命を、より忠実に生きるようにとの司教様の特別のご意向でミサを捧げていただき、心一つにして歩き続ける熱意を新たに燃え立たせる恵みをいただきました。最後に総会においては、会計・活動の報告・計画などを規定に従って執り行った。

雨の中でも燃える心で 西日本司祭団交流ソフトボール大会



遠くから参加された会員の皆様も課題も含め、何かを持って帰られた事と信じます。福岡教区福岡地区カトリック女性の会 代表 角田茂子

5月21日(月)金環日食日のこの日、大分市の球場を借りて、第5回西日本司祭団交流ソフトボール大会が行われた。グラウンドには広島・高松教区連合チーム、大分教区チーム、福岡教区チーム、そして長崎教区チームが参集し、当地の浜口末男司教の始めの挨拶と祈りによって試合

指し、修正すべき課題を残しながらも、本年度の議案を無事終了した。会員の減少、高齢化、事業所の縮小・移管など、痛みを背負いながらも、現実に向き合って、固有のカリスマを生きようと歩み続けている私たちが、「連盟」というより大きな共同体を通して、祈り助け合う心を実感できたのではないだろうか。この機会を利用して、司教様・神父様を囲み、自由な対話のひとときを設けることが出来ればいいのではないかとこの声も聞こえそうである。

◆夏季召命学校は8月21日より23日の予定を立てています。詳細は、追って掲載・連絡いたします。

教区召命委員会 年間予定

- ◆1 召命祈願ミサ
 - ① 7月11日 午後7時
 - ② 10月10日 午後7時
 - ③ 12月12日 午後7時
 - ④ 2月6日 午後7時
- ◆2 徹夜祈禱会
 - * 6月9日(土) 19時より
 - 10日(日) 午前7時の感謝の御ミサにて終了。
- ◆3 共に祈る会定期集会所
 - ① 5月24日 午後14時30分
 - ② 8月16日 14時30分
 - ③ 9月20日 14時30分
 - ④ 10月18日 14時30分
 - ⑤ 11月15日 巡礼予定
 - ⑥ 12月20日 14時30分
 - ⑦ 1月17日 14時30分
 - ⑧ 2月21日 14時30分
 - ⑨ 3月21日 14時30分
- ◆4 共に祈る会黙想会
 - * 7月9日(月)
 - 13時30分受付開始、翌10日(火) 昼食後終了
- * 指導司祭 山口尚志神父 (新田原教会)
- ◆5 召命を志す青年の為の黙想会(男性限定) 予定
 - * 9月1日(土)
 - 13時30分受付開始、翌2日(日) 昼食後終了

☆天国の窓 晴佐久 昌英 詩 菅井 日人 写真

「今の世界に最も足りないものは、魂を救う美しいことば...」

「だいたい...」

「天国の窓」から10年、待望の詩集です。月刊誌「家庭の友」の巻頭詩「一行目は光」が1冊の本になり、登場しました。サンパウロ発行 税込価格 2415円

◇◇◇
◇◇◇
◇◇◇

◇キリストの使徒パウロ 脇田晶子 著 岩淵慶造 絵 今道瑠子 監修

ペトロとならんで、キリストの二本の柱と呼ばれるパウロ。使徒パウロの手紙と使徒言行録をもとに、パウロの生涯とその教えをわかりやすく語る。対象は小学上級から大人。やさしい聖書入門書。女子パウロ会発行 税込価格 1260円

◇◇◇
◇◇◇
◇◇◇

◇御受難会の聖人と福者 女子御受難会 編

神の愛の最も偉大な現われであるキリストの御受難を自分の心に刻み、また人々をも受難の黙想をとおして神の愛に導くことを使命とした、御受難会の聖人・福者の小伝と祈りの小冊子。ドン・ボスコ社 税込価格 315円

なんでもお問い合わせください

株式会社 ジャパン・スマイルか

代官事務所 マルゴウ・マリア 吉田由美子
〒910-8044 福井県福井市大町4丁目8番4号
TEL 092-781-0800
http://www.jp-smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

株式会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書局・信心道具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大馬場2丁目大名町カトリック教会1F
平日/AM10時~PM5時40分
日・祝日/AM11時~PM4時(祝日定休日)
TEL 092-2741688 FAX 092-2741661
URL http://www.pax-inc.co.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ④

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い 『マルコ福音書を読む』
日時：7月15日(日) 14:00
テーマ：障害と壊れた橋(8章22節～13章37節)
講師：今田昌樹神父(笹丘教会助任司祭・聖アウグスチノ会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒協同協議会 聖書典部会

2012年北九州地区聖書講座 ③

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう ～マルコに導かれて～
日時：6月17日(日) 14:00～16:30
テーマ：マルコ福音書におけるイエスの癒し
講師：今田昌樹神父(笹丘教会助任・聖アウグスチノ会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部会

聖書に集う会～福音書って何？

日時：2012年6月4日(月) 19時～20時30分
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも/参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)/申込：不要
次回：7月2日(月)
連絡先：092・721・2032(平日10:00～18:00)

第10回福岡ユースカトリックキャンプ

FYCC 10 家族
日時：8月3日(金) 14:00受付 8月5日(日) 12:30解散
テーマ：『家族』
場所：神学院福岡キャンパス
対象：中学生/高校生(先着60人)
参加費：4500円(宿泊費・食費)
スタッフ：司祭・シスター・青年
主催：福岡地区青年会
問合せ先：092-741-3687 大塚神父
Email:fycc10.together@gmail.com

東北震災のためのいのりのリレー

日時：6月11日(月) 6:30ミサ～19:00夕の祈り(テゼ)
場所：カトリック中町教会聖堂(長崎市中町1)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一
*いのりのリレーの案内やチラシをPDFで送ることができます。

ローマ・ルルド・ヌベール・パリ聖地巡礼

全工程添乗員。
同行司祭：Fr. 青木悟・Fr. 下町豊重・Fr. 竹内英次
(飛行機) 福岡空港発着
(宿泊地) ローマ2泊、ルルド2泊、ヌベール1泊、パリ3泊(3～4星ホテル利用予定)
【巡礼地抜粋】 ローマではバチカンや主要巡礼地、ルルド、ヌベール、モンサンミッシェル、パリミッション会訪問など
【旅行期間】 7月25日(水)～8月3日(金) 8泊10日
【旅行代金】 お一人あたり 398,000円
【旅行企画】 (株) 阪急交通社 福岡団体支店
*資料請求等：092・761・8833

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第7回

日時：2012年6月24日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：森山信三神父(西新教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

編集後記
編集後記を書いていく今日(22日)は、東京スカイツリーが開業した日でした。大震災から一周年が過ぎ、何となくこれでいいのだろうかという思いが、素直に世界一の電波塔の完成を喜べない気がしています。しかし、被災者にも希望を与えるものになれば、それは喜ばしいことなのかもしれません。ところで、バベルの塔は「有名になるため、天まで届く塔のある町を建てた」とあります。その結果、神は人々の言葉を混乱させられました。スカイツリーは、高層ビルが林立する東京で、より確実に電波を送るために建てられたそうです。バベルの塔では、建設の結果、人々の言葉が混乱して、意思の疎通が出来なくなりました。人々の心と心をつなぐ手段になるのでしょうか、最終的にはメディアを用いる私たち人間の課題だと思います。

みこころの月

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 6月

4日(月)～6日(水) 休館
7日(木) 門教会婦人部 巡礼
9日(土)～10日(日) 聖マリア在俗会 黙想会
13日(水)～15日(金) イエズス会四校合同研修会
16日(土) 福岡チェナクルム
20日(水) ミカエル会
23日(土) 北九州クリスチャンの集い
7月1日(日)～6日(金) 聖霊刷新 司祭黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：6月14日(木) 10時～14時半
・内容：キリストによって、キリストとともに、キリストの内に
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：7月12日(木) 御聖体に生かされて生きる
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月16日、7月7日、7月21日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

◆福岡
■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・みことばの分かち合い(問合せ先) ☎092・821・6349
■在世フランススコ会集會(日時) 6月17日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランススコ会修道院在会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
■第3回教会学校関係者の集い(日時) 6月17日(日) 14時～17時(場所) カテドラル大名町教会4階(内容) 教会学校の諸問題と展望・一致に向けて(講師) 松井忠之神父(主催) 福岡地区信徒協 召命・信仰育成部(締切り日) 6月11日(問合せ先) 090・6468・6844 目良豊
■カレル在世会(日時) 6月18日(月) 10時半(場所) 福岡女子カレル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話「創立史(大聖テレジア著)(指導) カレル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360 中林
■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 6月19日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 講習会/講師 Sr平戸京(シヨファイユの幼きイエズス修道会)(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
■テレシア友の会読書会(日時) 7月7日(土) 13時半(場所) 福岡女子カレル会テレサの家(内容) 幼いイエスの聖テレザ自叙伝(問合せ先) ☎092・807・7361 (カレル会)

◆北九州
■美野島司牧センター(日時) 7月26日(木) 13時より(場所) カトリック笹丘教会聖堂(内容) ロザリオ・ミサ・聖体礼拝・賛美/この日は聖ヨアキム聖アンナの祝日にあたり、条件を満たすことで全免償を受けられます(問合せ先) 090・9568・0076 野川
■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 6月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
■カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月8日(日) 14時(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr 竹内

◆佐賀
■佐賀祈りの集い(日時) 6月9日(土) 10時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武* 次回は7月7日(土)
◆熊本
■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 6月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆その他
■小倉祈りの集い(日時) 6月22日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209 松田

教区納骨堂委員会 一般清掃日お知らせ

【日程】 7月29日(日)
【場所】 教区和田墓地
【時間】 清掃 9:00 ミサ 11:00
【一般墓地開放日】
*毎月第2日曜日の12:00～15:00まで
Tel:nagasaki@nxc.cncm.ne.jp 長崎黙想の家

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院
総合産科医療センター
〒830 8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
【集合】2日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】28,000円
◆20教会3日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】48,000円
◆全54ヶ所5日間【出発】5月20日【旅行代金】85,000円
【旅行企画・実施】株式会社 長崎ツーリスト公社
◆095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

Veni Sancte Spiritus
あなたの息を送ってください
すべてが新たになるように
6月の休業日 3、10、17、24、28、30
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区 三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

7月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】仕事の保障
【宣教】キリスト者のボランティア
【日本の教会】日本の殉教者の執り成しを願う

本渡・崎津・大江の天草3教会主催に200人
福者アダム荒川と天草キリシタン慰霊祭



5月27日(日)、天草の本渡市にある殉教公園に天草はもとより八代、北九州、福岡、岡山などから200余人が集い福者アダム荒川をはじめ、天草で教会の礎となった多くのキリシタンの方々の祈念する集いが開催された。記念ミサを前に、天草に最初の教会を開いたルイス・デ・アルメイダとアダム荒川についてSr片岡瑠美子(長崎純心大学教授)の講演が行われた。

Sr片岡は、最初に教会を開いたアルメイダ神父(外科医)について「どんな困難にも、自分の病弱にも臆することなく、教会を造り、また新しい土地に行き、教会を開く。このアルメイダの熱い行いは、最初に商人として

追放される時、アダム荒川に教会の世話を託した。アダム荒川は病人を見舞い、幼児に洗礼を授け、司祭のいない教会にあって信徒を励まし、自分の殉教に至るまで信仰を守り、キリスト教の礎となった人である。アダム荒川の伝道する力は、祈ることだったと思うとSr片岡は語った。

日本に来る途中で伝染病の感染を恐れず介護する宣教師の姿に打たれたことだった」と話した。



この式典は、天草の3つの教会が例年合同で行って来て、今年本渡教会が担当した。本渡教会の子ども達が「花まき少女」として正装し、キリシタン墓碑に花びらをまき、ミサの中でも花をまいて賛美する奉仕をした。

日本二十六聖人殉教者列聖150周年記念式典



『日本カトリック長崎・西坂巡礼所』銘板を除幕



6月10日(日)、長崎市の西坂殉教公園で10時より2つの記念式が行われた。

まず第1部、26聖人のリーフの左下に日本カトリック司教協議会が承認した「西坂巡礼所」の碑が除幕された。これまで、長崎教区巡礼所

二十六聖人の殉教の後、彼らの十字架が立てられていた

銘板を、列聖150周年を記念して日本の巡礼所として「ここを訪れる人々の信仰・希望・愛を育む巡礼所」となることを多くの参列者と共に祈った。

この除幕式には長崎市長の田上富久氏も参加し、多くの参列者と喜びを共にした。

穴に、信徒たちが椿の木を植えたこと語られている。

第2部では、西坂の記念館の周りにこれまで18本の椿の木があったのに加え、今回8本が植樹されたが、その1本がリーフ右手にある「26聖人殉教記念跡」の前に、紅白の花びらをもつ椿の木が植樹された。

式典の終りに本渡教会の信徒会長の徳永至氏と、来賓の天草市長安田寛氏から挨拶と祝辞があった。

式典の終りに本渡教会の信徒会長の徳永至氏と、来賓の天草市長安田寛氏から挨拶と祝辞があった。

時の話題

山下ゆかり

外国人登録証と住民基本台帳法

今回平成24年7月9日より、外国人登録証が廃止され、住民基本台帳法が改正され、外国人の方も住民票が作成されます。福岡市では、平成24年5月8日以降に仮住民票記載事項通知書が(以下仮住民票という)発送されています。

先日、私の教会の外国人の神父様から「このような物が送られて来たので見て下さい。」と見つけました。それはローマ字を含めて9桁の番号でした。在留カード等番号の欄です。

「聖パウロ三木と同志殉教者」として二十六聖人殉教者を列聖し、今年150年を迎えましたと語った。

と担当者の回答は「変更後の在留カードは9桁になるので、これまでの外国人登録証番号の末尾1桁を削除しています」ということでした。しかし、「それについては、何の説明書もつけないのですか?」と尋ねると「そうですね」とあつさり答えられました。

10日(日)14時から、長崎カテドラル浦上教会で「日本二十六聖人殉教者列聖150周年記念ミサ」が盛大に執り行われた。「エッチェ サチエルドス



先月6月号に掲載されたが司教協議会は「日本26聖人長崎への道」ネットワークの立ち上げを承認。「日本26聖人長崎への道巡礼マップ」の出版が来春に予定されている。



6月9日26聖人列聖150周年記念式で前日の岡山での式後、長崎へ向うジョゼフ・チェノツトウ大使を長崎への12分間の乗換えホームに宮原司教が親しく出迎えた。



初金のミサで故松永司教を偲ぶ
毎月の初金曜日10時から浄水通教会で宮原司教主式のミサ祭が行われている。

紫陽花が梅雨に濡れて鮮やかに映えています。紫陽花の色は青から赤紫へ変化することから「七変化」とも言うそうです。さて、5月に日本国中の原発がとまって、これから本場に私たちは何が大切なのか考えることが出来るのではないかと思っています。



紫陽花

福岡教区内カトリック校 中堅教職員 宮原司教の呼びかけで研修会を開催



福岡教区内のカトリック学校の中堅教職員を対象とする研修会が、6月12日に福岡市南区の福岡海星女子学院高等学校で開催された。

第一回目となった今回は、まず、宮原司教が出席者に対し、カトリック学校とはカトリックの目的と使命をもって社会に派遣されている存在であり、それにふさわしい内容を備える必要がある、と挨拶した。

続いて、鎌倉の栄光学園（イエズス会経営）の李聖一神父（イエズス会大船修道院長）が「カトリック学校をめぐる現状と将来の展望」と題して講演した。

李神父は司祭修道者の減少や共学化といった現状にふれたうえで、移民の教育に特化したアメリカの「クリスト・レイ」運動を紹介しつつ、カトリック学校が「誰を教育するか」を明確に意識する必要性を訴え、また「ホリスティックな（欠けたところのない）教育」をその教育の目標として提案した。

福岡ユースカトリックキャンプ

第10回を迎えるFYCCによせて

忘れられない。10年前の第1回FYCCアンケート。
Q.「FYCCで最も印象に残ったことは何ですか？」
A.「神学校の冷たい水シャワー」（中学男子）

「……これが、何十回も会議して作り上げたFYCCの感想か」、思わず力が抜けた。

FYCCを提案し代表を務めた当時、私もまだ19歳。沢山失敗し、学んだ。

院（サレジオ会経営）OBで、不登校生徒の自立を支援する立花高校の校長である齋藤眞人氏が講話を行った。

齋藤氏は軽快な語り口で、不登校生徒や保護者との関わりを紹介し、さらに「早くしなさい」という否定的な声かけがトップにきたアンケートの結果などを示した。そして同じ子どもを「週に一度しか学校に来ていない」とみるか、

福岡地区信徒協教会学校担当者の集い開催



6月17日（日）、カテドラル大名町教会で、福岡地区信徒協の「召命・信仰育成部」が福岡地区の20の小教会へ呼びかけて「教会学校担当者の集い」を開催した。

「週に一度もがらばって学校に来れた」とみるかは周りの大人にかかっている、と、子どもが「自己有用感」をもつことの重要性を強調した。

それぞれの講話の後、出席者はグループでの分かち合いを行い、感想や現状の分かち合いをおこなった。

同研修会は今年度残り二回開催される予定。

もうひと息の旧ザビエル記念聖堂



2007年4月に起工式を行ったザビエル記念旧聖堂（宗像市）の再生工事は現在、建物の外観が赤い屋根をふいてほぼ完成し、

2007年4月に起工式を行ったザビエル記念旧聖堂（宗像市）の再生工事は現在、建物の外観が赤い屋根をふいてほぼ完成し、昔日のなつかしい姿をみることができ、昨年4月には宮原

司教により中期祝式が行われ、「続聖堂再生プロジェクト2年間」が発足しました。来年4月7日（聖ザビエルの誕生日）の完成を目指して、内部の漆喰塗り、床板張り、柱頭の漆喰彫刻が行われています。やっと先が見えてきました。これからまだ1200万円が必要ですが、これまでの多くの方々のご協力に感謝すると共に、さらなる寛大なご支援をお願いする次第です。



☆教皇ベネディクト十六世 イエスの祈り



実践と形式である以前に内的な態度であり、神の前での人のあり方そのものである「祈り」に関する連続講話集。旧約の族長や預言者の祈り、詩編の祈り、そしてイエスの祈りを、聖書をひもとき考察しつつ、神の愛の呼びかけに対する応答である「祈り」、その真の「学びや」に誘う。

ペトロ文庫最新刊 カトリック中央協議会 出版部 発行 税込価格 893円

ゆるしの秘跡に戸惑うあなたに、神父の経験から、聖コロンバン会宣教師 マラキー・ハンラッティ 著 金成彰子 訳



ゆるしの秘跡を受けて70年、授けて50年の神父。長年の取り組みをもとに、この秘跡が、神の憐れみに触れ、よい弟子となり、人びとに開かれてゆくための特別に大切な助けであることを語る。「おかげで告解が怖くなくなりました」というある女性の思いがけない言葉に確信を得た著者が、自分の提案を披露する。準備の仕方や共同回心式についても易しく語られていて、大いに参考になる本。

女子パウロ会発行 税込価格 315円

しかし、教会の醍醐味はその先にある。もし私たちが、「常識」の先で「神様、私に何を望みでしようか」と祈りながら前へ進むならば、目の前の光景はたちまち姿を変えていく。

「私には何の取り柄もない」と悲嘆する青年のことを「彼がいなければ神様に出会ってはいない」と慕う中学生。「FYCC当日の記憶はないけれど、会議中の分かち合いで心底、救われた」と涙を流す青年。突然の雨で急遽やらざるを得なかった室内ゲームが一番楽しかったと賑わう参加者。自由時間で仲を深め合う笑顔……、スタッフの期待や不安は、次々と裏切られていく。

FYCC10 家族

日時：8月3日（金）14:00 受付
8月5日（日）12:30 解散

テーマ：『家族』

場所：神学院福岡キャンパス

対象：中学生/高校生（先着60人）

参加費：4500円（宿泊費・食費）
（兄弟姉妹の割引あり）

スタッフ：司祭・シスター・青年

主催：福岡地区青年会

問合せ先：092-741-3687 大塚神父
Email:fycc10.together@gmail.com

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

株) ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール
Pauline FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ④

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い 『マルコ福音書を読む』
日時：7月15日(日) 14:00
テーマ：障害と壊れた橋(8章22節～13章37節)
講師：今田昌樹神父(笹丘教会助任司祭・聖アウグスチノ会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年北九州地区聖書講座 ④

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう ～マルコに導かれて～
日時：9月30日(日) 14:00～16:30
テーマ：「お金、名誉、権力」と信仰について考える
講師：山元真神父(小倉教会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部会

聖書に集う会～福音書って何？

日時：2012年7月2日(月) 18時30分～20時
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも/参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)/申込：不要
次回：9月3日(月) 8月は休会
連絡先：092・721・2032(平日10:00～18:00)

福岡地区平和を祈る集い

日時：2012年8月11日(土) 12:00～16:00
会場：カテドラル大名町教会 1階講堂
テーマ：司教団メッセージ「いまずく原発の廃止を」に学ぶ
第1部 13:00～14:30 講話：谷大二 司教(さいたま教区)
第2部 14:45～15:15 「原発被災者に聞く」
参加費：自由献金(献金は被災地支援)
主催：福岡地区信徒使徒職協議会
*被災地支援の物産販売 12:00から

シンポジウム 宗教者の使命～自死をめぐって

日時：9月17日(月) 14:00～17:00
会場：カテドラル大名町教会/参加費：無料
パネリスト：三橋 健(神道)
中山義紹(禅曹洞宗)
井上博隆(浄土真宗)
宮原良治(カトリック)
連絡先：真命山・諸宗教対話センター
フランコ神父 ☎0968-85-3100
主催：日本カトリック司教協議会 諸宗教部門

東北大震災のためのいのりのリレー

日時：7月11日(月) 7:00ミサ～19:00夕の祈り(テゼ)
場所：カトリック吉塚教会聖堂(福岡市博多区吉塚)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第7回

日時：2012年7月29日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：井手公平神父(門司教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

今年の梅雨は、しのぎやすい気がしています。例年ならジメジメして高い不快指数となる時期ですが、比較的涼しい日々が続いています。さて、今年、26聖人列聖150周年という事で、記念すべき年となりました。感動的だった列福式から4年、殉教者たちは今もなお、私たちに語りかけているばかりではなく、天国から社会に福音を伝え続けていると感じます。大きな苦難を体験した私たちに、本当は大切にしなければならぬものを殉教者の生きざまを通してもつと学ぶべきでしょう。彼らが命をかけて勝ち取ったものは、自由であり、信仰であり、永遠の命、そして何よりも神の計り知れない愛です。彼らの流した血脈々と流れていることを忘れないようにしたいものです。

編集後記

今年、梅雨は、しのぎやすい気がしています。例年ならジメジメして高い不快指数となる時期ですが、比較的涼しい日々が続いています。さて、今年、26聖人列聖150周年という事で、記念すべき年となりました。感動的だった列福式から4年、殉教者たちは今もなお、私たちに語りかけているばかりではなく、天国から社会に福音を伝え続けていると感じます。大きな苦難を体験した私たちに、本当は大切にしなければならぬものを殉教者の生きざまを通してもつと学ぶべきでしょう。彼らが命をかけて勝ち取ったものは、自由であり、信仰であり、永遠の命、そして何よりも神の計り知れない愛です。彼らの流した血脈々と流れていることを忘れないようにしたいものです。

案内板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

1日(日)～6日(金) 聖霊刷新 司祭黙想会
7日(土)～8日(日) 山口島根地区信者養成研修会
9日(月)～10日(火) 召命を共に祈る会(浦川神父)
14日(土) 早良キリスト教会一日研修
15日(日)～18日(水) 産業医科大学セミナー
21日(土) 福岡チエナクルム
22日(日)～29日(日) 奉獻生活者のための黙想会(来住神父)
30日(月)～31日(月) カトリック学校教職員研修会
8月1日(水)～10日(金) 純心聖母会黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
日時：7月12日(木) 10時～14時半
内容：御聖体に生かされて生きる
指導者：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
次回：9月13日(木) 御聖体の典礼と美
☎0968・85・3100 0968・85・3186
1391-7・E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月7日、7月21日、8月4日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(日) 年間第13主日
福者ベト口岐部司祭と187殉教者記念日
福者加賀山隼人殉教地巡礼
3日(火) 聖トマ使徒
4日(水) 諸宗教部門会議
5日(木) 常任司教委員会
↑F. ハンター [2000年手取教会]
6日(金) 初金ミサ聖祭 サーリスの集い
8日(日) 年間第14主日/高宮教会堅信式/唐津教会バザー
11日(水) 召命祈願ミサ(カテドラル19時)
12日(木) 真命山祈りの集い
15日(日) 年間第15主日
福岡地区聖書講座
カルメル山の聖母
福岡教区創立記念日 [1927] 海の日
22日(日) 年間第16主日
カトリック直方教会起工式
25日(水) 聖ヤコブ使徒
26日(木) 聖ヨアキムと聖アンナ
28日(土) 唐津教会夏祭り
29日(日) 年間第17主日
熊本地区フィリピン人グループリーダー研修会
教区内カトリック小中高教職員研修会(～31日)
8月
3日(金) 初金ミサ(浄水通教会)
5日(日) 年間第18主日
↑ペトロ平田三郎司教 [2007年第4代教区長]
主のご変容
日本カトリック平和旬間(～15日)
■ゴチックは司教日程

福岡

◆バート・パスター神父様による黙想会(日時) 7月8日(日) 14時～17時/9日(月) 10時～16時(場所) 大名町教会(内容) 「信徒の聖性」(主催) 聖霊による刷新福岡祈りの集い(問合せ先) ☎092・821・6349
◆テレジア友の会(読書会)(日時) 7月7日(土) 13時半(場所) 福岡女子カレッジ(内容) 「幼いイエスの聖テレジア自叙伝」(問合せ先) ☎092・807・7361(カメル会)
◆在セフランシスコ会集會(日時) 7月15日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831(岩崎)
◆西新カトリック教会ミニコンサート(日時) 7月15日(日) 12時～13時(場所) 西新教会聖堂(演奏) 西南学院大学聖歌隊チャペルクワイア(指揮) オルガン 安積道也氏(西南学院音楽主事)(入場料) 献金(プログラム) アカペラ合唱(日本の童謡など) /オルガン演奏(小フーガ)ト短調 J.S.バッハ(他)
◆カルメル在世会(日時) 7月18日(月) 10時半(場所) 福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話「創立史(大聖テレジア著) (指導) カメル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360(中林)
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 7月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖体賛美(問合せ先) ☎096・380・5686(堺敬子)
◆虹の会(日時) 7月21日(土) 13時半から(場所) カトリック大名町教会3階(対象) 子どもを亡くした親の会です。(会費) 600円(連絡先) ☎090・1162・6395(柴田)
◆聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 7月26日(木) 13時より(場所) カトリック笹丘教会聖堂(内容) ロザリオ・ミサ・聖体礼拝・賛美(問合せ先) ☎090・9568・0076(野川)
◆心の健康セミナー(日時) 8月26日(日) 14時(場所) 福岡黙想の家ログハウス(テーマ) 病者とその家族(指導) 小宮豊師(精神科医)(参加費) 自由献金(主催) 心の健康セミナーを支える会 ☎0940・32・1173(矢田)

教区納骨堂委員会 一般清掃日お知らせ

【日程】 7月29日(日)
【場所】 教区和田墓地
【時間】 清掃 9:00
ミサ 11:00
【一般墓地開放日】
*毎月第2日曜日の12:00～15:00まで

◆美野島司牧センター
●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分
●ホームレス支援夜回り第1金曜日20時●路上からアパルトに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419(ス神父)
◆北九州
◆北九州召命を共に祈る会(日時) 7月12日(木) 14時(場所) カトリック水巻教会(内容) ミサとミレーティング(指導) 谷口尚志神父(新田原教会助任)(問合せ先) ☎0949・24・9905(藤井)
◆小倉祈りの集い(日時) 7月27日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209(松田)
◆青年黙想会(日時) 8月4日(土) 10時から16時(場所) 聖母訪問会

佐賀

◆佐賀祈りの集い(日時) 7月7日(土) 10時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347(吉武)
◆熊本
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時) 7月19日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825(青木悟神父)
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月8日(日) 14時(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181(Sr竹内)

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
*入院基本料(一般棟棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
【集合】2日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】28,000円
◆20教会3日間【出発】5月3、7月14日【旅行代金】48,000円
◆全54ヶ所5日間【出発】5月20日【旅行代金】85,000円
【旅行企画・実施】株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

Veni Sancte Spiritus
あなたの息を
送ってください
すべてが新たにできるよう
6月28日(土) 9:00、11:00、14:00、17:00、20:00
サンパウロ福岡宣教センター
10-09-16 096-721-2032
〒810-0832 福岡市博多区東区10-9-16
☎092-721-2032 fax709-3322

「日本二十六聖人殉教者列聖150周年記念式典」

教区報 7月号掲載記事一部訂正

「福岡教区報」7月号の1面「日本二十六聖人列聖150周年記念式典」文中
4段目記事「列聖150周年記念ミサ浦上教会で」に記載されています
高見大司教さまの説教紹介の文中(5段目)で、列聖年月日に
誤りがございますので訂正させていただきます。

誤	まだ迫害最中の1864年6月4日に聖座は・・・
正	まだ迫害最中の1862年6月8日に聖座は・・・

掲載記事などは掲載前に筆者等と確認をしていますが
確認違いによる誤掲載が発生していましたことを
お詫び申し上げます。

福岡教区被災者支援室だより

東日本大震災復興支援ボランティア募集 長崎教会管区大槌ベースキャンプ

大槌ベースでボランティアのつづきやき：

お父さんを津波でなくしたあどけない子どもが、相手をしてくれたボランティアに「おじちゃんはお母さんでしょ」としがみついた様子に、誰もが胸キュンでした。

*募集要項など詳細は、支援室にお問合せください。
*福岡教区ホームページでも確認できます。

(http://fukuoka.catholic.jp/pdf/ej111kanku01.pdf)

連絡先：福岡教区災害支援室 担当：松井忠之神父
Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com

☎ 092-522-5138

支援金口座：福岡中央銀行（平尾支店）（普）1076206
（宗）カトリック福岡司教区 代表役員 宮原良治

震災のための祈りのリレー続いています！

日時：8月11日（土）6:30 ミサ～18:30 夕の祈り
場所：聖パウロ会福岡宣教センター
次回：9月11日（火）鹿児島教区ザビエル教会



6月26日から28日まで、教区内で働く全司祭を対象として研修会が51人の参加で開催された。今年度は、研修会に先立ち、健康診断を受けることとなり、希望者は聖マリア病院で受診後、久留米の施設を会場として司祭たちが集った。



溝部脩司教

司祭研修会

テーマ 沖に漕ぎだして網をおろしなさい 『教区司祭の霊性は崖つぷちの霊性』と溝部司教

6月26日から28日まで、教区内で働く全司祭を対象として研修会が51人の参加で開催された。今年度は、研修会に先立ち、健康診断を受けることとなり、希望者は聖マリア病院で受診後、久留米の施設を会場として司祭たちが集った。

2日目には、「司祭として今大切にしていることは何か、宣教のために必要なことは何か、信仰年に当たって何をすべきか」の3点に絞って分かち合いが行われた。司祭たちは、日頃の宣教司牧において実践していることやアイデア、課題などを分かち合い、有意義な時間となった。

決められた共同体があり、帰るべきところ、逃げ場あるいは、守られる場があるが、教区司祭にはそれが無い。いつ崖から落ちてしまふか分からない状況の中に生きている。そして、自らが委ねられた小教区内外に共同体、自分のファミリアを築いていかなければならない。しかし、その時に崖つぷちが生きてくる。なぜなら、信徒の多くも崖つぷちを生きているのだから」と語った。

研修会の最後に宮原司教は、高山右近の列福、列聖にむけて準備が進められており、そのための祈りと献金を要請した。最後に、感謝のミサが捧げられ、司祭たちは新たな心で現場へと戻った。

講師は溝部司教（前高松教区長）で「教区司祭の霊性」について基調講演をした。その中で溝部司教は、「教区司祭の霊性は崖つぷちの霊性である」と述べた。すなわち、「修道会の司祭であれば、決められた共同体があり、帰るべきところ、逃げ場あるいは、守られる場があるが、教区司祭にはそれが無い。いつ崖から落ちてしまふか分からない状況の中に生きている。そして、自らが委ねられた小教区内外に共同体、自分のファミリアを築いていかなければならない。しかし、その時に崖つぷちが生きてくる。なぜなら、信徒の多くも崖つぷちを生きているのだから」と語った。

「一般」牢に在る人びと
【宣教】若者達によるキリストの証し
【日本の教会】平和旬間に核兵器廃絶の実現を祈る



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

8月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】牢に在る人びと
【宣教】若者達によるキリストの証し
【日本の教会】平和旬間に核兵器廃絶の実現を祈る



7月22日（日）直方教会
（主任司祭）寺浜亮司 田川
梅雨明け猛暑の中、地区の

宗教者の使命 ～自死をめぐる～

各宗教は、自死とどのように向き合っているのでしょうか？
4人の宗教者が自死をめぐる、語り合います。

パネリスト
三橋 健（神道）
中山義紹（禅曹洞宗）
井上博隆（浄土真宗）
宮原良治（カトリック）

日時：9月17日（月）14時～17時
場所：カテドラル大名町教会
入場料：無料
連絡先：真命山・諸宗教対話センター
フランコ神父 ☎0968-85-3100
*多くの皆さまのご参加をお待ちします。
主催：日本カトリック司教協議会 諸宗教部門 岡田武夫大司教

直方教会は、直方市司祭館の改築起工式が教区長宮原良治司教司式のも行われた。

直方教会は、直方市司祭館の改築起工式が教区長宮原良治司教司式のも行われた。

時の話題

井手公平神父
録、変更届

前号の『時の話題』に掲載の通り、7月9日より改正出入国管理法が施行され、60年続いた外国人登録制度が廃止され、日本人同様住民基本台帳への登録が可能になりました。

制度では住民票も外国人登録証明書に代わる「在留カード」も交付されません。住民サービスの前提であるはずの住民登録から非正規滞在者を排除するのですから、これまで彼らに認められていた最低限の権利は保障されないのではないかと不安が残ります。少子高齢化の進む日本社会において外国人を受け入れ、彼らとともに協力して生きていく、多文化共生社会を確立することは不可欠だと思いますが、果たしてこれだけの思いが実現するのでしょうか。

前号の『時の話題』に掲載の通り、7月9日より改正出入国管理法が施行され、60年続いた外国人登録制度が廃止され、日本人同様住民基本台帳への登録が可能になりました。

制度では住民票も外国人登録証明書に代わる「在留カード」も交付されません。住民サービスの前提であるはずの住民登録から非正規滞在者を排除するのですから、これまで彼らに認められていた最低限の権利は保障されないのではないかと不安が残ります。少子高齢化の進む日本社会において外国人を受け入れ、彼らとともに協力して生きていく、多文化共生社会を確立することは不可欠だと思いますが、果たしてこれだけの思いが実現するのでしょうか。

小生の小教区では、今年に入って、「聖書100週間」を始めました。これは、ルドルフ神父様という方が始められたもので、3年ほどかけて全聖書を通読します。皆様も一生に一度は、全部聖書を読んでみたいと思われて、チャレンジされた方も多いいのではないでしょうか。しかし、旧約のある書物は、私たちの文化とはあまりにもかけ離れていて、読みづらく、結局は断念してしまいます。ところが、グループで読むと互いに折り返し、励まし合いながら読み進めます。この集会では、毎回次週までに読む箇所を割り当てがら、各自は1週間の間、それを読み、読んだことへの感想を集会の日にかち合います。み言葉から発見した宝を単純に分ち合うのです。この集会を始める以前は、主日の福音を7・8人で読んでいたのですが、「聖書100週間」を始めると、何と今やのべ30人近くの方々が、毎週集っています。当教会のみならず、近隣の各教会からもお見えになり、また毎回のよう新しい方が来られるというところで、み言葉に飢えておられる、聖書を真剣に読みたいという方が多いことに正直、驚いています。日曜日に聖書の言葉を聴くだけではなかなか、霊的な糧とすることは難しいと思います。もし全聖書を分かち合うという経験ができれば、ミサそのものが変わってきます。共同体にも変化が出てきます。よいよい10月から「信仰年」が始まります。教会の教え、カテキズムとともに聖書も深めていきたいですね。

小生の小教区では、今年に入って、「聖書100週間」を始めました。これは、ルドルフ神父様という方が始められたもので、3年ほどかけて全聖書を通読します。皆様も一生に一度は、全部聖書を読んでみたいと思われて、チャレンジされた方も多いいのではないでしょうか。しかし、旧約のある書物は、私たちの文化とはあまりにもかけ離れていて、読みづらく、結局は断念してしまいます。ところが、グループで読むと互いに折り返し、励まし合いながら読み進めます。この集会では、毎回次週までに読む箇所を割り当てがら、各自は1週間の間、それを読み、読んだことへの感想を集会の日にかち合います。み言葉から発見した宝を単純に分ち合うのです。この集会を始める以前は、主日の福音を7・8人で読んでいたのですが、「聖書100週間」を始めると、何と今やのべ30人近くの方々が、毎週集っています。当教会のみならず、近隣の各教会からもお見えになり、また毎回のよう新しい方が来られるというところで、み言葉に飢えておられる、聖書を真剣に読みたいという方が多いことに正直、驚いています。日曜日に聖書の言葉を聴くだけではなかなか、霊的な糧とすることは難しいと思います。もし全聖書を分かち合うという経験ができれば、ミサそのものが変わってきます。共同体にも変化が出てきます。よいよい10月から「信仰年」が始まります。教会の教え、カテキズムとともに聖書も深めていきたいですね。

典礼シリーズ ⑤

2011年(平成23年)年度 福岡教区本部 資金収支計算書

Table with financial data for 2011. Columns include '収入の部' (Income), '支出の部' (Expenditure), and '摘要' (Remarks). Total income is 140,606,330 and total expenditure is 140,606,330.

【質問に答えて】 「最近ではどこの教会でも跪き台がなくなつてしま...

ミサを行うときの典礼的な法規や説明をまとめた『ローマ・ミサ典書(総則)』(1978年版)21番によれば...

を除外。座るのは、福音朗読の前の聖書朗読および答唱詩編の間、説教の間、奉納の供えもの準備のときである...

ままたの規定を採用しています。①立つのは、歓迎、尊敬、主の復活への信仰、自由、決意などを表す姿勢...

が、宗教的礼拝と表敬にはおのずと合掌することが伝統である(1969年8月14日、典礼委員会秘書局69/72)...

また、十字架のもとに立つて祈っていた聖母マリアのよう(ヨハネ19:25)、十字架に掛けられていたイエス...

間にはひざまずくという動作は行われなくなつてしまふ。しかし、ひざまずくという動作には礼拝、表敬の他に、痛悔、回心、謙遜などの意味もあり、個人的に祈るときなどには、自分の自然な気持ちの表現として自由にひざまずいて祈ることができるのである。

ちょっと一息



*赤ん坊だけは演技でないドラマ *自動ドアノックしない子になりそう

坂牧春妙 深堀正平

奉献生活者のための黙想会 ②

【指導】 来住英俊神父 【日程】 10月8日(月)夕食~15日(月)朝食 【テーマ】 救いの歴史をたどりながら、教理を再確認する...

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家 811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)...



ミサ用ワイン



VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社

TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

九州地区カトリック学校連盟 理事長・校長研修会



6月18・19日の2日間、九州地区カトリック学校23校から32人の理事長・校長が福岡に集まり、研修会が開かれた。始めに、み言葉の祭儀の中で、宮原良治司教より「神を愛し人を愛する福音の原点に戻るように」との励ましを受けた。

その後、総会を挿んで研修会に入り、イエズス会樺山義雄管区長より「カトリック学校の回顧と展望」イエズス会

その後、分科会に分かれて各学校の実情を踏まえて意見が交換された。

まず、それぞれの学校の建学の精神に立ち返り、そのスクールアイデンティティを明確にすることの重要性が話し合われた。司祭修道者が少なくなった今、特にそれを意識する必要がある、この意識を育てることは困難を伴い時間と費用が必要となるが、さまざまな研修を通して教職員

10月からの信仰年に心合わせて カルメル山の聖母ミサ



梅雨の晴れ間のその日、福岡市今宿上の原の福岡カルメル会修道院では、宮原良治司教主司式、糸島教会の竹内英次神父の共同司式により記念ミサが執り行われた。

糸島教会、西新教会を始め、広く教区一円から大勢の信徒が集まり、シスター方と共に祈りを捧げた。グレゴリアンの歌声は里山の聖堂に響き、ミサ後、参加者は祝いの軽食を共にした。

7月16日はカルメル山の聖母の日である。この日は遠く聖地イスラエルのカルメル山、預言者エリヤの聖書の世界に思いを馳せる日でもある。また、福岡教区創立記念の日でもある。

の共通理解とすべきであるとして、

次に教職員間の一致に関して、講演にも強調された「教職員が同じ地平に立つ」という意見が交わされた。

立場が違い、多忙な日常の中にも出来る限り言葉と思いを交わし合う心のゆとりをつくること、互いに共通の理念に立っていることへの信頼を育てることである。そして、現実には直面する問題として、経済環境や少子化などによる生徒募集の困難さが取り上げられ、苦勞と工夫が分かち合われた。

後継者の養成にしても教職員団の一致にしても、教育哲学が必要である。しかし、その哲学は福音に基づいたものであることが一番大切であるとの確認がなされた。

研修2日目は、今村教会を訪問し、今村キリシタン発見等の話を伺い資料を見学し、多くの信者さんとともにミサに与ったが、大きな励ましと恵みのときであった。

学校法人 泰星学園
理事長 外川直見

控え、心合わせて祈る、いい時間を頂きました。自給自足祈りの修道会を盛りたてていきたいものです」という声が聞かれた。

また同じ日、大分カルメル会でも、祝いのミサが執り行われた。これは、大分・別府の信徒が初めて企画したというのである。

大分からは「個人の信仰も大切だが、土台は教会。修道会はその命がけで支えて下さっている。私たちは修道者の為に祈っているだろうか。自分の信仰をどこに向けているのか意識したい」という声が届いている。

カルメル会は3年後の2015年には、改革カルメルの母である聖テレジア生誕500年を迎える。

看護職の現場を離れて尚、「役に立つことはありませんか」と支援室に声をかけてくれた梅津さん(70歳)が、2週間の大槌ベースでの体験を寄稿してくださった。

梅津さんは熱心な仏教徒。娘さんは、大名町教会の信徒である。

看護職の現場を離れて尚、「役に立つことはありませんか」と支援室に声をかけてくれた梅津さん(70歳)が、2週間の大槌ベースでの体験を寄稿してくださった。

梅津さんは熱心な仏教徒。娘さんは、大名町教会の信徒である。

看護職の現場を離れて尚、「役に立つことはありませんか」と支援室に声をかけてくれた梅津さん(70歳)が、2週間の大槌ベースでの体験を寄稿してくださった。

梅津さんは熱心な仏教徒。娘さんは、大名町教会の信徒である。

看護職の現場を離れて尚、「役に立つことはありませんか」と支援室に声をかけてくれた梅津さん(70歳)が、2週間の大槌ベースでの体験を寄稿してくださった。

梅津さんは熱心な仏教徒。娘さんは、大名町教会の信徒である。

看護職の現場を離れて尚、「役に立つことはありませんか」と支援室に声をかけてくれた梅津さん(70歳)が、2週間の大槌ベースでの体験を寄稿してくださった。

梅津さんは熱心な仏教徒。娘さんは、大名町教会の信徒である。

看護職の現場を離れて尚、「役に立つことはありませんか」と支援室に声をかけてくれた梅津さん(70歳)が、2週間の大槌ベースでの体験を寄稿してくださった。

梅津さんは熱心な仏教徒。娘さんは、大名町教会の信徒である。

召命黙想会へのご案内

◆福岡教区召命部会主催
テーマ:「司祭職の喜び」
対象者: 司祭召命を考える青年男子
日時: 9月1日(土)~2日(日)
場所: 神学院福岡キャンパス
参加費: 2000円
申込先: 久留米教会浦川神父
☎ 0942-32-8011 F:0942-32-7884
*申込締切: 8月19日

◆聖パウロ修道会主催
テーマ: あなたは私の選びの器
対象者: 35歳までの未婚男子信徒
日時: 10月6日(土)~7日(日)
場所: 聖パウロ修道会管区修道院
参加費: 無料
申込先: 聖パウロ修道会(新宿区若葉)
☎ 03-3351-5154 F:03-5363-3505
*申込締切: 9月28日

◆聖マリア在俗会主催
テーマ: 在俗奉獻という生き方、今、ここで、福音に生かされて…
対象者: 在俗会の召命を考える女性信徒・在俗会に興味をお持ちの方
日時: 10月28日(日) 10時~15時
場所: 福岡黙想の家(宗像市)
参加費: 1000円
申込先: ☎ 06-4396-2236 高崎恵子
*申込締切: 10月15日



司祭召命を祈って

7月9・10日「召命を共に祈る会」(担当: 浦川務神父)が、宗像の福岡黙想の家で「気づくこと、気付き、祈ること、共有することの大切さ」をテーマに黙想会を行った。

指導は、谷口尚志神父(新田原教会協働司祭)。

谷口神父は、「自分たちのすべき事、お互いに連携する事、イエス様を中心に働く事」を大切に語った。

参加者は、「召命は共同体の中の、互いに愛する事から、また出会いの中から生まれることを再認識するひと時となった」と語った。



被災地でのボランティアを体験して

私が今回お世話になった「カリタスジャパン大槌ベースキャンプ」は、カトリック

看護師 梅津 節子

父様が母体。ベース長は神父様でスタッフもブラザーや信者さん、全国から来られるボランティアさんも教会関係の方も多く、信者でなくてもボランティアの志を持った人たちが受け入れてくださっている。

このベースは朝7時から30分間聖堂でミサがある。宗教は違っても祈りは一つと思ひ、震災にあわれた人たちの一日も早い復興と、亡くなられた人たちの供養を祈り、私もミサにあずかった。

だがカリタスジャパンにお世話になってから、日本の仏教は、お寺はこういう支援活動をしているのだからか?と心にモヤモヤするものがあった。

わかめ作業(写真) 3回目の手伝いをしていて、ドンドンと太鼓の音が聞こえてきた。外に出ると、遠くの方

で鉢のお坊さんが太鼓を叩き、念仏を唱え、震災で亡くなられた方々の供養をしながら歩かれているのを見てモヤモヤしていた気持ちが楽になるのを感じた。

ボランティアの最終日ベース近くの被災した墓地に行ってみた。側に、住職もご家族も亡くなられたという全壊したお寺の跡があった。3畳くらいのコンクリートの広間の真中にお地蔵様が津波にも流されず立っておられた。被災して亡くなられた多くの人のことを思い、一生懸命般若心経をあげ祈らせてもらった。

私は、震災の跡地で見たこと、聞いたこと、感じたことを自分の周りの人たちに話していきたい。そして、毎日の私の祈りの中で、一日も早い復興と亡くなられた人々の供養の祈りを続けていきたいと思った。

子ども達が主人公の物語10編を集めた絵本。不安やケレン力、失敗に直面した子ども達に、様々な登場人物によって知恵が示され、最後にはほっとさせる。幸せになるためのヒントが描かれている。一日の終りおやすみまえのこどもに聞かせて、楽しい夢をみせたいもの。

女子パウロ会発行
税込価格 1365円

◇おやすみまえに
ちいさなてんしちへ

サラ・ドッド 文
ドウブラヴカ 絵
コロノヴィッチ 訳編
女子パウロ会 印刷

サンパウロ 発行
税込価格 630円

★暗闇、それが内なる光となるために
ブラザー・ロジェ 著
(テゼ・コミュニケーション)

黙想と祈りの集い準備会訳

暗闇、それが内なる光となるために

BOOK 読書専科

不特定多数/預金・貸付・保証
信んでもお問い合わせください

株 ジャパン・スマイルか

〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-3 3階4号
TEL 092-761-8800
http://www.jpica.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表: エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール
FUKUOKA

〒810-0044 福岡市中央区大宮2-1-1 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時~PM5時40分
日・祝日/AM11時~PM4時(球団E定休日)
TEL 092-741-8888 FAX 092-741-8861
URL http://www.psl-inc.co.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

福岡黙想の家ご案内 8・9月

1日(水)～10日(金) 純心聖母会黙想会
10日(金)～17日(金) ショファイユの幼きイエズス会黙想会
18日(土) 福岡チエナクム
19日(日)～25日(土) サレジオ会黙想会
9月
2日(日)～7日(金) オプレート会黙想会
8日(土)～9日(日) 聖マリア在俗会黙想会
15日(土) 福岡チエナクム
15日(土)～16日(日) 福岡双葉学園職員研修会
16日(日)～17日(月) 九州アシュラム
26日(水)～29日(土) NCF 全国大会
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 瀬0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ: 御聖体、愛の秘蹟
・日時: 9月13日(木) 10時～14時半
・内容: 御聖体の典礼と美
指導者: フランコ・ソットコノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先: 真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次回: 10月11日(木) 御聖体と福音の宣教
☎0968・85・3100 瀬0968・85・3186 玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

2012年福岡地区聖書講座 ⑤

年間テーマ: 福音 ～イエスとの出会い
『マルコ福音書を読む』
日時: 9月16日(日) 14:00
テーマ: 到達点(死と復活)(14章1節～16章8節)
講師: S. リチャード神父(浄水通教会主任・神学修道会)
場所: カトリック大名町教会1階講堂
主催: 福岡地区信徒使徒職協議会 聖書部

2012年北九州地区聖書講座 ④

年間テーマ: とともに学び、生活の場で伝えよう
～マルコに導かれて～
日時: 9月30日(日) 14:00～16:30
テーマ: 「お金、名誉、権力」と信仰について考える
講師: 山元眞神父(小倉教会)
場所: カトリック小倉教会
主催: 北九州地区信徒協 聖書部

2012年 熊本地区神学講座

第1回: 『福音としてのキリスト、福音としての教会』
講師: 森一弘司教(カトリック真生会館理事長)
日時: 9月23日(日) 13:30～16:30
会場: カトリック手取教会
受講料: 1,000円(第2回講座含む)
第2回: 第1回講座の振り返り・分ち合い
日時: 10月21日(日) 13:30～16:30
会場: カトリック手取教会
*申込先: FAX: 096-352-1515 岸

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第7回

日時: 2012年8月26日(日) 16時～18時
場所: カテドラル大名町教会、1階信徒会館
対象: 福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部: 開会(祈りと種々の報告)
第二部: 養成(教えと分ち合い)
講師: 櫻井尚明神父(大名町教会)
第三部: 活動協議

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

伊藤龍也という写真家が、福岡教区内の教会の写真を撮影、来年のカレンダーを作成しました。収益の一部を被災地に送金するそうです。8月の下旬頃、各小教区に届けるのとお考えしますので、販売の協力をお願いします。酷暑の候、呉々もご自愛下さい。

編集後記

カトリック新聞は、日本の司教団が発行し定期購読者に支えられています。国内はもとより世界のカトリック教会の最新情報を毎週お伝えしています。申込: 教会窓口の「カトリック新聞4週間無料試読キャンペーン申込書」ハガキにてお申し込みください。締切: 12月末日
問合せ先: カトリック新聞社 購読担当 ☎03-5632-4432

無料試読キャンペーン

日時: 8月12日(日) 13:00から
テーマ: 尊いいのち・新しい生き方を～いますぐ原発の廃止を～(司教団メッセージ)
会場: カトリック小倉教会
講師: 前田万葉司教(広島教区長)
参加費: 自由献金(大槌ベース支援)
主催: 北九州地区信徒協(平和の集い実行委員会)
*子ども広場も開催します。

北九州地区平和の集い

日時: 2012年8月11日(土) 12:00
会場: カテドラル大名町教会 1階講堂
テーマ: 司教団メッセージ「いますぐ原発の廃止を」に学ぶ
第1部 13:00～14:30
講話: 谷大二司教(さいたま教区)
第2部 14:45～15:15
「原発被災者に聞く」
参加費: 自由献金(被災地支援)
主催: 福岡地区信徒使徒職協議会
*被災地支援の物産販売 12:00から

福岡地区平和を祈る集い

8月のこよみ

案内板

会合と催し

9月のこよみ

6日(月) 主のご変容
日本カトリック平和旬間(～15日)
↑J. P. ラベル [2004年大神学院]
8日(水) 聖ドミニコ司祭
司教霊名のお祝い(カテドラル11時)
神学生合同練成会(教区本部事務所15時～11日)
福岡平和を祈る集い(カテドラル12:00)
年間第19主日/馬渡島教会堅信式
北九州平和の集い(小倉教会13:00)
14日(火) 聖マキシミアノ・マリア・コルベ
15日(水) 聖母の被昇天
教区和田墓地ミサ(14:00)/
北九州納骨堂追悼ミサ(14:00)
(宗法)幼稚園事務員研修(湯布院～18日)
↑ミカエル堤要吉 [2002年浄水通教会]
18日(土) 年間第20主日
19日(日) ↑L. デジャンプ [2001年八王寺教会]
↑D. グリフィン [2001年玉名教会]
22日(水) 天の元后聖マリア
24日(金) 聖バルトロマイ使徒
25日(土) ↑フランシスコ X. 堤敏雄 [2011年飯塚教会]
九州カトリック青年キャンプ(カテドラル～26日)
年間第21主日
27日(月) 聖モニカ
福岡地区カトリック女性の会・モニカ祭
29日(水) 洗礼者聖ヨハネの殉教
30日(木) ↑J. ガイヤール [2007年水巻教会]
■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 8月18日、9月1日、9月15日 10時～12時
場所: カトリック大名町教会小聖堂

1日(土) 熊本地区結婚セミナー(手取教会)
2日(日) 年間第22主日
筑後地区カトリック・スポーツ大会
3日(月) 聖書に集う会(サンパウロ福岡宣教センター18時半)
6日(木) 常任司教委員会
7日(金) 初金(浄水通教会10時)/サーリスの集い
↑フランシスコ X. 牧山重光 [2005年門司港教会]
8日(土) 福岡地区結婚セミナー(大名町教会)
コグレガツィオ・ド・ノートルダム来日80周年記念ミサ
9日(日) 年間第23主日
浄水通教会創立60周年・堅信式
10日(月) 日本205福者殉教者
↑J. パーク [2000年崎津教会]
11日(火) 司祭評議会
↑A. セトアイン [2003年イエズス会上智福岡]
14日(金) 十字架称賛
15日(土) 悲しみの聖母/水巻カトリック幼稚園創立50周年
年間第24主日/水保教会修復祝式
16日(日) 日本カトリック司教協議会諸宗教部門シンポジウム
(カテドラル14時) 敬老の日
20日(木) 聖アンデレ金と同志殉教者
21日(金) 聖マタイ使徒福音記者
22日(土) 秋分の日
23日(日) 年間第25主日
世界難民移住移動者の日(献金)
↑J. バイヨ [2004年光丘教会]
28日(金) 聖トマス西と15殉教者
行政・法制委員会(福岡司教館)
大天使聖ミカエル聖ラファエル聖ガブリエル
年間第26主日
湯川教会堅信式/北九州地区聖書講座
■ゴチックは司教日程

召命学校開催案内

日時: 8月20日(月) 15時現地集合
22日(水) 15時現地解散
テーマ: 『僕にとってこれが信じられるもの』
場所: 日本カトリック神学院福岡キャンパス
持参品: ロザリオ、洗面具、着替え、バスタオル、上履き、健康保険証の写し
参加費: 2000円
問合せ先: ☎0930-23-1594 谷口尚志神父
*申込み締切: 8月11日(土)

北九州

◆小倉祈りの集い
(日時) 8月24日(金) 13時半
◆美野島司牧センター
ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分
ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 コース神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり
(日時) 9月30日(日) 13時半
(場所) 聖心病院(内容) スピリチュアルケアの学び(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内

熊本

◆熊本結婚準備講座
(日時) 9月1日(土) 10時から10日毎週土曜日の全5回(土) 19時～21時半(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030 F 096・352・1515
◆熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 9月27日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり
(日時) 9月30日(日) 13時半
(場所) 聖心病院(内容) スピリチュアルケアの学び(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内

佐賀

◆佐賀祈りの集い
(日時) 9月1日(土) 10時。毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ペトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
(集合) 2日・3日間は 佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間 [出発] 5月3、7月14日 [旅行代金] 28,000円
◆20教会3日間 [出発] 5月3、7月14日 [旅行代金] 48,000円
◆全54ヶ所5日間 [出発] 5月20日 [旅行代金] 85,000円
[旅行企画・実施] 株式会社 長崎ツアリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

平和と
永井 隆
休業日 8月 5、12、14-16、19、26 9月 2、9、16、17、23、30
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



2012 10・11

信仰年が開幕

2013 11・24

教皇ベネディクト16世は、2011年10月に、自発教令『信仰の門―「信仰年」開催の告示』により、「信仰年」開催を告示しました。「信仰年」は、第二バチカン公会議（1962年～1965年）開幕50周年の2012年10月11日に始まり、2013年11月24日の王であるキリストの祭日に終わります。

日までシノドス（世界代表司教会議）が「キリスト教信仰を伝えるための新しい福音宣教」をテーマとしてローマで開催されます。

実は、教会が「信仰年」を開催するのは、これが初めてではなく、教皇パウロ六世は、1967年に「信仰年」を開催しました。この年は、公会議の直後で、教会の中には様々な混乱がありました。教皇は、全教会が「信仰を自分のものとし、そこから信仰を生かし、清め、強め、告白することができるようになる」機会ととらえました。

また、2012年10月11日という「信仰年」開始日は、『カトリック教会のカテキズム』発布20周年を記念する日でもあります。

『カトリック教会のカテキズム』は、信仰の力とすばらしさをすべての信者に示すために、福者ヨハネ・パウロ二世教皇が発布しました。

公会議後50年が経過した今日、教会内外の状況は大きく変化しています。

ベネディクト16世は言います。「ペトロの後継者としての奉仕職を開始して以来、わたしは信仰の道を再発見しなければならぬ」と述べてきました。それは、キリストと出会うことの喜びと新たな熱意をますます明らかに示すためです。



8月8日（水）、ドミニコ宮原良治司教の霊名の祝いが司祭、神学生、修道者、信徒など200余人が集いカテドラルで行われた。

宮原司教は、ミサの中で聖ドミニコが活躍した時代にふれ、「多くの異端で教会が混乱する時、聖ドミニコはキリストの福音、キリストの真理をいたると

す。...キリスト信者はしばしば自らの活動の社会的・文化的・政治的結果に関心を向けます。そして、信仰を社会生活の当然の前提と考え続けます。実際には、この前提は当然のものではなく、しばしば公然と否定されています（2）。過去においては、統一的文化状況を見いだすことが可能でした。信仰の内容と、信仰から靈感を受けた価値観に訴えることも広く受け入れられていました。しかし、現代においては、社会の広い分野において、同じことをいえることはできません。信仰の深刻な危機が多くの人々に影響を及ぼしているからです。」（「信仰の門」）と述べて前回の信仰年とは異なる状況、社会事情を踏まえて「信仰の危機」という言葉を使い、新しい福音宣教という観点から、宣教的な意味でこの信仰年を行うといわれます。

ここで述べた。説教をするためによく祈り、特にロザリオの祈りと念珠によつて教会全体を導きました。

今日、教会のカテキズムをもう一度見直し、聖ドミニコの模範に倣い、祈りに裏づけられ、学問に裏づけられて「信仰年」を生きましよう。」と語った。

ミサの後の祝賀式で大勢の参加者から「益々のご健康を」と声が掛けられていた。

全国会議（1987年）では、教義や旋中心の教会観から「開かれた教会」、苦しむ人々と連帯し、福音宣教する教会への転換を図ったのも事実です。しかし、その結果、これらのかつての「伝統」は大きく後退し、カトリック信者と誰かということとは非常に曖昧になってしまった感はありません。

そこで教会は今一度、信仰とは何かを改めて問います。要約すれば、信仰年のねらいは「信仰を生き、育み、伝えること」を目指しているといえるかもしれません。

具体的には、家庭でどんな祈りをしていきますか、定期的に聖書を読んでいますか、教会のカテキズムを学んでいますか、周囲の人々や家族にどのようにして福音を伝えていきますか、教会内外でどんな奉仕をしていますか、ということとです。

さあ、私たちもこの1年間、「信仰の門」を開いて、教皇様のご意向に沿って、全教会と心を合わせて過ごしていきましょう。

第2回司祭評議会
年間行事など決議

9月11日に司教館で開催。第1の議題は、「信仰年の教区として取組み」で、10月14日（日）、主日のミサにおいて各小教区で信仰年開幕のミサを行うこととなった。

また、信仰年の間、教区全体で新たな企画や、行事を行うのでなく、現在行っているものを充実させ、聖書を学ぶ等も含め、信仰を深めていく

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般】新しい福音宣教

【宣教】世界宣教の日

【日本の教会】日本における諸宗教対話の推進

私の名前は萩原直人です。私の霊名はミカエルです。出身教会は今村教会です。今、私は高校1年生として長崎南山高校に通いながら、長崎カトリック神学院で生活しており、その生活もすでに4年半が過ぎていきます。なぜ私がこのような生活を歩み出したのかという問いは、私自身もよくわかりません。私たちが一人ひとり、常に神さまからの召命のお恵み、呼びかけを受けています。もし私に何かこの道を歩み出したきっかけがあるとすれば、それは私自身が今、神さまからの呼びかけ「神学生になる」ということで応えられたことだと思えます。このように神さまからの呼びかけに応えたい私は、この呼びかけに呼ばれたいと思っています。そして、将来私は困っている人々のすぐそばに一緒にいてあげられる神父様になりたいと思います。お祈りして下さる方々の祈りを糧に、これからも神学生として頑張っていきたいです。

今村教会出身小神学生

◇福岡教区小神学生の皆さんから「わたしの召命のきっかけ」で原稿をいただきました。ここに萩原直人神学生のものを掲載いたします。

福岡教区小神学生が練成会

「みなさんの支えに感謝しています」

8月27日

▽教区邦人司祭黙想会 10月28日～11月1日

▽8月と11月の納骨堂での司教式ミサについては、平田三好神父と山元眞神父で調整する、などが決議された。

25日～27日

▽来年度の主な教区年間行事

▽聖香油ミサ 3月27日（水曜日）

▽（宗法）幼稚園新任教職員辞令交付式・研修 4月1日

▽教区内全司祭研修会 6月

福岡教区小神学生が練成会

「みなさんの支えに感謝しています」

8月8日（水）の午後から9日まで、長崎の小神学校で学んでいる6人（内1人欠席）の教区神学生が司教館で練成会を行った。

練成会では、招いた宮原司教がずっと同伴し、神学生養成担当の谷口尚志神父が指導にあたった。

閉会の間際、小神学生にインタビューを行った。

◆自分の出身教会の自慢

8月8日（水）の午後から9日まで、長崎の小神学校で学んでいる6人（内1人欠席）の教区神学生が司教館で練成会を行った。

練成会では、招いた宮原司教がずっと同伴し、神学生養成担当の谷口尚志神父が指導にあたった。

閉会の間際、小神学生にインタビューを行った。

◆自分の出身教会の自慢

文責 編集部

ユスチノ

三村邦明神父帰天

8月20日 午前0時1分

三村邦明神父様は入院先の聖マリア病院（久留米市）で帰天。享年87歳。

1957年4月16日モンテリオールで司祭叙階。サン・スルピス大神学院教授、大名町教会助任を経て、1968年久留米教会助任、翌年主任司祭に。このとき以来、久留米教会で、付属の幼稚園で、久留米信愛短大や聖マリア看護学院などで、司牧と教育に生涯を捧げられた。特にモンテソリー教育を早くから取り入れ、幼児教育でキリストを証した。園庭に車の乗り入れを要請した信徒に「どんな小さな輪だちの跡でも、園児がケガをするかもしれないから駄目だ」と言う言葉は語り草、というほど三村神父の幼児教育への思いは熱かった。

21日（火）、カテドラルでの葬儀ミサ、告別式は宮原司教の主式で、多くの司祭、修道者、信徒が参列。病室に最後まで付き添った浦川務神父（久留米教会主任）と久留米教会信徒の中島幸男氏がお別れの言葉を述べた。

マルティノ枢機卿が8月31日、帰天された。ミラノの大司教として20年以上務められ、イタリア国民にも広く愛された。また聖書学者として、み言葉を分かりやすく解説され、師の言葉に多くの人が耳を傾けた。最晩年のインタビューがイタリアの新聞に掲載され、それを日本の有力紙も報じた。枢機卿は語る。「教会は2000年程も時代から取り残された。官僚組織が肥大化し、儀式と服装ばかりが仰々しい。我々の文化は年老いた。教会は大きいのが中身は空っぽだ。『福者ヨハネ・パウロ二世前教皇の後任と目されていた枢機卿が歯に衣を着せぬ表現で、現代の教会を批判する。小生にとつて心に響いたのは次の点である。疲弊した教会に対するアドバイスとしてという質問に「第1は回心。教皇や司教が先頭に立って、自らの過ちを認め、変革への道を歩み出すべきだ。第2にみ言葉に聖書の重要性。心のみ言葉を受け入れる人だけが、教会の刷新を助ける。法や教義は人の内的いのちの代わりにはならず、内的な声を明らかにし、霊を識別するために与えられているに過ぎない。第3は秘跡。秘跡は誰のためにあるのか。教会は、結婚の不可解性を擁護するが、人生の弱さの中にある人々、例えば離婚し、再婚された方またその家族こそ教会は守るべきではないか。彼らを切り捨てるとすれば、その子どもたちや孫までも教会から離れ、結果的に次の世代を担う人々を失うことになる」と。枢機卿の言葉は、現代の教会が熟考し、取り組むべき多くの課題が提起されていると思う。

M

世界の宗教者が比叡山で平和を祈る



去る8月3日(金)から4日(土)にかけて比叡山宗教者サミット25周年記念「世界宗教者平和の祈り」の集

教師を招いて「平和の祈り」をささげた折、その招待を受けて参加した比叡山の天台座主山田恵諦が、仏教者もこのような集いを率先して実行すべきであるとの確信を得たことに始まります。

師は、翌年以降は、比叡山において同様の「宗教者世界平和の祈りの集い」を開催することにしました。「継続は力なり」との信念にもとづいて、比叡山はこの「集い」を毎年開催し、今年も25周年を迎えました。

ヨハネ・パウロ二世の意思に賛同して始まった比叡山宗教者サミットですが、毎回パチカンからの代表者参加を求められています。今年も、教皇庁諸宗教対話評議会から同局長トラン枢機卿に代わり、諸宗教評議会

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

名譽局長ルイジ・チェラータ大司教、駐日パチカン大使ジョセフ・チェノットウ大司教、京都教区長大塚喜直司教が出席しました。その随行員として真命山からシスター・マリア・デ・ジョルジ、園田善昭神父が参加しました。

8月3日、「自然災害と人間の文明」と題して梅原猛哲学者・東日本大震災復興構想会議特別顧問の記念講演がありました。天台本覚思想草木国土悉皆成仏を本流とする日本の文明の特性に基づいて、比叡山はこの「集い」を毎年開催し、今年も25周年を迎えました。



「宗教者の使命〜自死をめぐって〜」シンポジウム。最後は福岡でシンポジウム

9月17日、台風16号の影響により、時折突風も吹き荒れる中、カトリック司教協議会諸宗教部門主催による自死についてのシンポジウムが、宗教者の使命〜自死をめぐってと題して、カテドラルにて開催された。

パネリストは、神道の立場から三橋健師、禅曹洞宗から中山義紹師、浄土真宗から井上博隆師、そしてカトリックの立場から宮原良治司教の4人が登壇した。

次に中山師は、釈迦の死生観を紹介した後、現代は仏教が盛んになった戦乱の鎌倉時代ほど人間の生存が脅かされることはないが、生きることに不安、自己の存在を認めてもらえないといった不安がある。このような中で不安と向き合い、どう克服していくかが宗教者としての自分の使命だと語った。

最後に宮原司教は、人の命は神との関わりでのみ受け止められる、人の命は神から授けられたものであり、命の真の所有者は神である。また、自死とは自分の意志で命を終わらせる行為、と定義されるが、病気の人が、自ら死に向かおうとするとき、明確な意志、すなわち自ら判断し決定する能力があるか疑問であり、難しい問題であると語り、教会の教えや教会法の教えを紹介した。会場からは、死にたいと考えている人々にどのように接するべきかや、自死した人々の遺族に対するケアについてなどの質問が出され、参加者の多くが、何らかの形でこの問題に直面していることを感じさせた。

「信仰年」を旅するために 歴史的な観点から 平田敬神父

信仰年が始まりました。この1年、教区内の多方面の方々に寄稿していただき、教会の現状を把握し、次の世代に何をどのように伝承すべきかを考えていきます。第1回目は、教区総代理の平田敬神父です。

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福



「僕にとつてこれが一番信じられるもの」をテーマに、8月20日から22日まで日本カトリック神学院福岡キャンパスで夏季召命学校を開催。古賀、久留米、飯塚の各教会から6人の参加者があった。

参加した小神学生や各参加者がまず、「信じられるもの」と信じられないもの」を挙げ、次にそれぞれの共通点を確認し、信じられないものをも信じることで自分を探そうという流れで行った。

途中、実在の医師が医学生時代に体験した信じられるものと信じられないものが共存する現実で、真実を探求する

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジヨルナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

ちゅっぺー 一息 *押し花に秋をはさんだ日記帳 坂牧春妙 深堀正平

祈るために・休むために・学ぶために カトリック御受難修道会・福岡黙想の家 811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)・Fax 0940-32-3385 E-メール fmokuso@mvi.biglove.ne.jp インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

ミサ用ワイン VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰 〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち 草苑 (SOU-EN) カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社 TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書週間特別講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコ福音書を読む』
日時：11月11日(日) 14:00～16:00
講師：山下敦神父(大分教区)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒徒職協議会 聖書典礼部

2012年北九州地区聖書週間特別講座

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコに導かれて～
日時：11月18日(日) 14:00～16:30
テーマ：生活の中でのマルコ
講師：森山 信三 神父(西新教会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部

2012年 熊本地区神学講座

第2回：第1回講座『福音としてのキリスト、福音としての教会』の振り返り・分ち合い
日時：10月21日(日) 13:30～16:30
会場：カトリック手取教会
参加費：無料(前回からの連続)
*申込先：FAX:096-352-1515 岸

聖書に集う会

日時：2012年10月9日(火) 18時30分～20時
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)

震災のための祈りのリレー

日時：10月11日(木) 10:30朝の祈り～19:30夕の祈り(テゼの祈り)
場所：伊都キリスト教会(今宿駅下車すぐ)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

神と出会う イエス・キリストと出会う 自分と出会う

カトリック通信講座

講座名：
/T001 キリスト教とは /T002 聖書入門〔I〕
/T003 キリスト教入門 /T004 神・発見の手引
/T005 聖書入門〔II〕 /T006 幸せな結婚
/T007 生きること・死ぬること
受講料：
T001～T004 4500円/T005～T007 5000円
*お申込みは郵便局の振替用紙にご希望の講座名・講座番号(T001～T007)をご記入のうえ、受講料を下記にお振込みください。
振替口座番号：00170-2-84745
加入者名：オリエンズ宗教研究所
<お問い合わせ・お申し込み>
オリエンズ宗教研究所 カトリック通信講座
Tel:03-3322-7601 Fax:03-3325-5322

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第12回

日時：2012年10月28日(日) 16時～18時
場所：カテドラル大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分ち合い)
講師：G. ミシェル神父(箱崎教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

いよいよ信仰年が始まりました。この1年間、教区内の様々な立場の皆さまに寄り添い、お祈りし、信仰年を過ごしていただきたいと思っております。この年が教区の皆さまにとって、恵みの年、信仰を見直し、また新たな発見をする年になり、また新しい一歩を踏み出す年になります。
シノドスの実りとともに祈りたいと思います。

編集後記

和墓地一般清掃日お知らせ

日時：10月21日(日) 9時(28日予備日)
ミサ：11時30分
*ご協力をおねがいします。
◆死者のためのミサ
日時：11月11日(日) 14時
*納骨の手続きは2週間前までに、各教会の納骨委員にお尋ねください。

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10月

8日(月)～15日(月) 奉獻生活者のための黙想会
15日(月)～19日(金) 福岡教区司祭黙想会
20日(土) 福岡チェナクルム
27日(土)～28日(日) 聖マリア在俗会
11月
2日(金)～4日(日) 防府教会黙想会
9日(金)～10日(土) 北九州レジオマリエ黙想会
10日(土)～11日(日) 山口島根地区信者養成研修会
*個人黙想 グループ黙想 静修 研修会 セミナーなど
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。お問い合わせください。
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 瀬0940・32・3385
Email:fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交渉センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：10月11日(木) 10時～14時半
・内容：御聖体と福音の宣教
指導者：フランコ・ソットコノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交渉センター
・次回：11月8日(木) 御聖体礼拝
☎0968・85・3100 瀬0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：10月20日、11月3日、11月17日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

6日(土) ローマ出発
7日(日) 年間第27主日 シノドス出席(～28日)
†J. ノーリス〔2007年八代教会〕
9日(火) 召命祈願ミサ(カテドラル19時)
†K. オマホニ〔2003年荒尾教会〕
†E. ハトリック〔2007年笹丘教会〕
10日(水) 年間第28主日
14日(日) イエスの聖テレジアおとめ教会博士
大聖テレジア祝日ミサ(カルメル会修道院10時半)
教区邦人司祭黙想会(黙想の家～19日)
†フランソア徳山登〔2000年門司港教会〕
16日(火) 聖ルカ福音記者
18日(木) 十字架の聖パウロ
19日(金) 年間第29主日/世界宣教の日(献金)
21日(日) 黒崎教会(聖家族の集い)/島崎教会(聖テレジア祭)/南粕屋教会バザー
†H. キニユ〔2004年天神町教会〕
27日(土) 年間第30主日
28日(日) 今村教会聖体行列/高宮教会バザー/大牟田教会・幼稚園合同バザー/茶山教会・幼稚園合同バザー/西新教会・幼稚園合同バザー
30日(火) 11月
1日(木) 諸聖人/伊万里トラピスト修道院 盛式誓願式
2日(金) 死者の日/初金ミサ(浄水通教会10時)
3日(土) 召命の集い(神学院福岡キャンパス)
4日(日) 年間第31主日/水巻教会堅信式/北九州納骨堂ミサ
糸島教会バザー/古賀教会バザー
司祭評議会
カトリック大名町教会125周年ミサ(15時から)
■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 10月10日13時(場所) 笹丘教会(内容) ロザリオミサ聖祭(連絡先) ☎090・9568・0076 野川
◆カルメル在世会集會(日時) 10月15日(日)10時半(場所) 福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話(指導)カルメル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360(中林)
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 10月16日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(内容) 聖母賛歌他(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆福岡地区カトリック女性の黙想会(日時) 10月20日(土) 10時(場所) 司教館5階(講師) 田尻由貴子(慈恵病院看護部)
◆美野島司牧センター(参加費) 5000円/弁当5000円(要予約)(連絡先) ☎092・933・6741 角田(締切) 10月14日
◆聖マリア在俗会(案内)(日時) 10月28日(土) 10時(場所) 福岡黙想の家(テーマ) 在俗奉獻という生き方(講師) ダシオ・ブルーノ神父(神言会)(参加費) 10000円(申込先) ☎06・4398・2236 高崎恵子
◆こひつじ会(精神障害者と)

家族の会

(日時) 11月10日(土) 11時から(場所) 福岡黙想の家ログハウス(内容) たのしいクッキング教室(参加費) 自由献金(問合せ先) ☎0940・33・2731 吉永
◆虹の会(日時) 11月10日(土) 13時半から(場所) カトリック大名町教会3階(対象) 子どもを亡くした親の会です。(会費) 6000円(連絡先) ☎090・1162・6395 柴田
◆心の健康セミナー(日時) 11月11日(日) 14時から(場所) 福岡黙想の家ログハウス(テーマ) 死という危機とそれに対する私たちの霊的状態(指導) 小宮豊氏(精神科医)(参加費) 資料代5000円(連絡先) ☎0940・32・1173 矢田
◆美野島司牧センター(ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分(問合せ先) ☎092・431・1419 コース神父

北九州

◆北九州召命を共に祈る会(日時) 10月11日(木) 14時(場所) カトリック黒崎教会(内容) ミサとミレーティング(指導) 谷口尚志神父(新田原教会協働司祭)(連絡先) ☎090

熊本

◆熊本地区召命を共に祈る会(日時) 10月18日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

佐賀

◆佐賀祈りの集い(日時) 11月3日(土) 10時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

2013年カトリック教区カレンダー
昨年好評だった東日本大震災復興支援チャリティーカレンダー「北に祈る」は、今年は福岡教区・仙台教区・さいたま教区・横浜教区・新潟教区の5都府県を制作いたしました。1冊購入していただくと1,000円がカタラスジャパンと仙台教区の被災地支援活動のために寄付されます。
◆ご注文方法 フラックス・電話またはイー・ピックスのホームページ(e-pix.jp)にてご注文ください。郵次やメールアドレスを記載いたします。
◆お支払い方法 お支払いは商品と同封の郵便払込用紙にて後払いとなります。[送料手数料は弊社負担]

1,000円
好評発売中! 各2000部限定
販売価格1部/2,000円
1,000円の献金+送料237円(送料別)
イー・ピックス出版
TEL:0192-26-3334 / FAX:0192-26-3344
URL: http://www.e-pix.co.jp E-mail: contact@e-pix.co.jp

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL:0942-35-3322(代表)
FAX:0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
[集合]2日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金]28,000円
◆20教会3日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金]148,000円
◆全54ヶ所5日間 [出発]5月20日 [旅行代金]85,000円
[旅行企画・実施] 株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

Ave Maria...
10月の休業日 7, 8, 14, 21, 28
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



日本カトリック司教団「信仰年」メッセージ

信仰の恵みを見つめ直す旅に招かれて

キリストにおける
兄弟姉妹の皆さん

教皇ベネディクト十六世の自発教令『信仰の門』の呼びかけに呼応して、わたしたちは全世界のカトリック教会とともに、今日から「信仰年」の歩みを始めます。

現代の日本の社会には、少子高齢化、経済の低迷、家族関係や人間関係の問題、いじめ、自死、原発問題など、さまざまな困難があり、多くの人が悩みや苦しみを抱えて生きています。ここには、生きる意味と救いを求める声なき叫びが満ちているとも言えます。その中で、信仰という尊

いたまものを受けられた方は、主とともに生きようとする決断（『信仰の門』10）のうち

に、自らの言葉と行いで信仰をあかしするように招かれています。

わたしたち自身がどのような信仰の喜びを生きているか、信仰から来る希望と愛をいざいづかすか、問い直しましょう。昨年2011年3月11日の東日本大震災と福島第1原発事故は、多くの犠牲者・被災者・避難者を生み出しました。それはまた、わたしたちの信仰と生活のあり方を大きく問い直す機会にもなりました。

全国各地の多くの教会や信者の方々が、信者の少ない被災地で復興支援に関わっています。少しでも支援をしたいという思いをもって現地に赴きますが、かえって被災された方々から寄り添う大切さ、「一緒に生きる喜び」「未来へ

の希望」を教えられる体験も数多くありました。このような体験を通じて、神がわたしたちの信仰に新たな光を与えてくださっていることを強く感じます。

わたしたちはこの「信仰年」を通して、もう一度信仰の恵みを見つめ直す旅に招かれています。

まず、わたしたちは祈り、神のことば（聖書）、感謝の祭儀を通して自分の信仰を深めるよう励みましよう。この信仰の道はたった一人で行く道ではありません。信徒も修



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編 集 人 森 山 信
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

11月の意向
教皇様の意向のために祈りましよう
【一般】福音を伝える聖職者
【宣教】旅する教会
【日本の教会】
日本における福音宣教の推進

福岡教区被災者支援室だより 東日本大震災復興支援ボランティア募集 長崎教会管区大槌ベースキャンプ



子ども達の運動場に、土入れ、ならしのボランティア

福岡教区被災者支援室への連絡と寄付

連絡先：福岡教区災害支援室 担当：松井忠之神父
Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com
☎ 092-522-5138
支援金口座：福岡中央銀行（平尾支店）
（普）1076206
（宗）カトリック福岡司教区 代表役員 宮原良治
*随時ボランティアも受け付けています。



福岡教区司祭の黙想会が、10月15日から19日まで30人、まに受け止めることだ」と語った。

福岡教区司祭の黙想会 ～自らの信仰を見つめて～

2012年10月11日
日本カトリック司教団

の司祭が参加して福岡黙想の家にて行われた。今年、宮原司教がローマで開催中のシノドス（世界代表司教会議）参加のため、司教不在の黙想会となった。同時に、信仰年の始まりというところで、参加司祭の中から6人が、信仰体験を分かち合うという形式で行われた。

最初に平田敬神父（佐賀教会）は、自身のキリスト者としての歩みを幼少期の様々な体験から、「信仰とは神さまをそのまま、ありのまま

「道であり真理であり命である（ヨハネ14・6）主イエスは「信仰の創始者・完成者（ヘブライ12・2）であり、わたしたちの信仰の最高の導き手です。主イエスに従い、希望をもって信仰の旅路を共に歩んでまいりましよう。

聖母マリアの取り次ぎを願いながら、主イエス・キリストがわたしたちの歩みを守り導いてくださいますよう祈ります。

「これまで出会った人々から「なぜ、司祭は独身なのか、結婚しないのか、男性としてどのように性をコントロールするのか」など多くの質問に真摯に答えてきた。一人の人間として様々な葛藤や試練もあった。しかし、司祭は叙階の恵みにより、「消えないしるし」をいただき、神のものとなつている。独身制は愛の証しであり、イエスが独身だったから、司祭も独身を守るのでもなく、また、聖なるものに触れるから独身を守るのではない。独身制は、神の招きに呼んで自分のすべてを委ねる行為であり、そこに徹して生き抜くとき生命が輝く。イエスが神の招きに呼んで

時の話題

ジャンピエロ神父のブルーニ

70年代のときに、大きな社会変化の中で、教皇パウロ6世は偉大な勇気を示しながら『福音宣教（回勸）』を通して、教会の使命、つまり福音宣教の役割と使命、正義と平和と社会の進歩について

から、そういう状態の中で福音宣教がどういう立場をとつたらよいかを考える時期でした。と同時に、多くの人は世界中、いたるところで非人間的な生活を強いられるという現実に搾取されているという現実があり、搾取されているという現実の明確化は教会の意識の大変なポイントになっていました。教皇様は、そういうことをはっきり認めて、福音宣教と人々の進歩と改善の間に重要な関係があることを強調しました。まず、福音を聞く人々には、いろんな社会と経済的な状態によって悩まされているから、この現実を忘れては

いけません。そして、主イエスから与えられた救いと解放が世の不正義を明確にし、それが悪であり、それをなくすために働かなければならないという意識を起こします。そして信仰は愛によって働きますから、いろんな方法で苦しんでいる兄弟の状態に対して愛の働きを通して彼らを助けるはずで、そういう状態の中で（教皇様が強調するのは）教会の第一の役割は、主の派遣に従って、世界に抱いている信仰を述べ伝えることです。

夏に岩手県花巻の宮沢賢治資料館や、童話館を訪れる機会がありました。彼の童話には、森羅万象、自然界のあらゆる動植物、昆虫などが登場します。さらに宇宙にも深い興味を持っていた彼は、まさに地球だけではなく、全宇宙と人間の関わりを考えていた人だと思えます。花巻という風土に数日身を置いてみて、賢治の時代と現代は大きく変わっていると思えますが、美しい森や自然の風景の中に彼の文学が生まれた秘密が少し分かったような気がします。賢治の家庭は熱心な浄土真宗の家庭でした。しかし、彼は法華経を読み、日蓮宗に改宗します。そして熱心な日蓮宗信徒として、生涯を送りました。彼の文学にはその信仰をあちこちに垣間見ることが出来ます。と同時に「銀河鉄道之夜」等には、キリスト教の思想も色濃く感じられます。「真の法華経信仰者であった彼は晩年になって、異教徒であるキリスト教の教えにも関心を持つようになったと思われ。仏教徒賢治の作家としての多元性、真の信仰者としての寛大さ、つまり異教徒の教えを容認する心の深さが明白になっていいると思われ。P・A・ジョージ編「宮沢賢治の深層」とすれば、賢治は自然界と人間の共存のみならず、諸宗教の対話という現代の課題をすでに先取りしていたと言えましよう。先日カワウソが絶滅したという報道がありました。次から次へとあらゆる昆虫や動物が絶滅しつつある現代、賢治の語りかけるメッセージには、私たちが耳を傾けるべきものが多々あると思えます。

次に、竹森勇神父（水巻教会）は、自分にとって信仰の歩みは理屈ではなく、自分のからだで感じて表現することであり、幼少期に受けた信仰教育が今の司祭生活のベースにあると語った。

続いて牧山勝美神父（手取教会）は、「今までの司祭生活で分かち合われた記憶がないテーマであるが」と前置きして、司祭の独身制について自分の体験に基づいて淡々と語った。

「わたしの望みではなく、イエスの望み」を追求していくことが大切だと述べた。

最後に深堀勝人神父（湯川教会）は、パリミッシヨン会およびミラノ会の多くの宣教師に薫陶を受けた。自分は今は亡き数多くの司祭たちの上に胡坐をかいているのかもしれない。たくさん愛されてきたのだから今度は多くの人々を愛する司祭になりたい。

また、黙想会を終えて帰途に着くとき、寂しさを感じる。普段司祭は孤独に生きているが、だからこそこうして司祭

福岡教区信徒協が研修会



「教会の明日を担って」。9月22日(土)教区信徒協は、初めて具体的な社会問題について分かち合った。今回の研修会を一言で表すと「祈りが行動に、行動が祈りへと導く」ことを学んだと言えそうである。

会には本当に良いものとなった。いろいろの発言が信仰深いのも感心させられた。

・原発の司教団メッセージには衝撃的だった。分かち合いは同じ目線(信仰)で話が進み参考になった。

・司教の分かりやすい話は心に残った。

・正しい事を伝えようとするところでも生きにくい社会。し

寄せられた感想を少し紹介したい。

・本当に今の日本の政治に怒りを感じる。原発が良いと言って国民をだました代償が今回の事故につながった。一人ひとりが立ち上がる大きな時期にきたのではないか。

・研修会での出

「信仰年」を旅するために 現実をみつめることから

山元 眞神父

かつては「10年1昔」といわれていたが、最近では「5年1昔」といってもいいような気がする。世相の変わり様はかつてないほど速い。

福岡教区の教勢から、この10年を振り返ってみよう。そして、おそらく過去10年の動きは、これからの5年に凝縮されるかもしれない。

毎年報告される「教勢」に信憑性があることを前提に動きを見てみる。

1990年頃から3万人を保っていた信徒総数は2010年に3万人を切った。この10年間で、約12000人減。

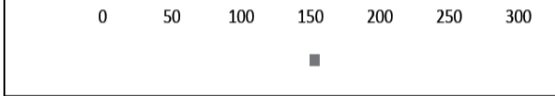
主日のミサ参加者数も1990年頃から1万人を保っていたが、この10年間で約3000人減った。

かしろいろいろな社会問題から目を背けず自分の問題として具体的に動いていきたい。

・原発のいままう廃止のために、祈りと行動へのあゆみを。このような感想が多く寄せられた今回の研修会だった。

確かにこれまでの、教会内問題に目を向けてきた内容とは大きく違うテーマを設定したが、短期間の案内にもかかわらず、170人以上が参加したことは、関心の高さを物語っていたと思う。

講師の宮原良治司教は、挨拶の中でテーマが「信仰年への導入として時宜に叶ったもの」と語った。そして、司教団メッセージが出された背景、福島原発事故から見えてきた課題、メッセージの内容の3点について整然としかも大変分かりやすく説明した。そのことが16グループの分



ことかもしれない。そして主日のミサ参加者も8割は60歳以上ではないだろうか。

宮原司教はこの質問に対し「全国は広いので、具体的なことは大変難しい。むしろメッセージは方向性や姿勢を示しているの、一人ひとりがそれぞれに出来ることを進めてほしい。またメッセージは全ての人に届けたもので、もっとアピールしてもよいと思う」と丁寧に応えた。

◎「この研修会をどのように伝達は崩れかけている。少年高齢の時代ならば、その時代の福音宣教の仕方があるだろう。それを模索する時が来ている。何年も前からこのような状況は予想されていた。この現実は何を意味しているのだろうか。この現実から目を背けてはならない。

かち合いを活性化へと導いたことは間違いない。

午後は先ず「福島からあなたへ」のDVD観賞から始まった。続いて行われた2人の体験発表は、わたしたちの今後の針路を示してくれたようであった。

全体会の質疑に次の質問が出された。

◎「どのような具体的な行動を私たちに望まれていますか？ またこのメッセージを社会に向けたものにされるべきだと思いますか？」

このままでは、これから悲観するのではなく、「新しい福音宣教」の時代になると思うし、そうしなければならぬと思う。

「親から子へ」という信仰

川上惣一神父(光丘教会)率いるタイ学習ツアーは今年で7回目を数える。今年は8月2日から9日の日程で、小中、高校生合わせて6人が参加して行われた。

毎年、参加者は日本人が忘れてしまったもの、あるいは忘れかけているものに出会い、また、タイの人々との出会い、交流を深めながら、多くの新しい発見をしている。

以下、参加者の感想文から抜粋して掲載する。

◆ある日、バンマイの村の人と一緒に村のゴミ拾いをしました。日本では、村の人達みんなで村をきれいにすることがないし、そのためにほとんどの人が集まることのないので、すごく温かい気持ちになりました。

ゴミ拾いの途中、村の人からジャスミンの花をもらいました。知らない人にあたり前

準備をすすめる。また、そこから見えてきた学びと課題をそれぞれの教会や信徒協で話し合っ頂きたい、と担当者から今後の予定と主催者の願いが述べられた。

(高1・二日市教会) 原田 かなえ

◆最後に山岳民族の人たちについて。

カレン族の人々は、自分たちの文化と伝統を壊さないように、自分たちでまきりを作っていた。

また、山岳民族の人たちは「なまけ者」(木の下で上を向いて口をあけ、口の中に落ちてくるのを何もせず待っている人)をスローガンにしていた。そして「なまけ者」になっても生きていけるような、自然と共存できる環境作りを目指していた。

日本は自然が破壊されているから、「なまけ者」になっても生きていける環境作りを見習って、近くの自然から良

その中に、家庭の事情があったり、HIVで親を亡くしたり、また感染している子がいまいました。

◆今年もタイ学習ツアーに参加できて、自分を見つめ直すことができました。バンマイという村の子どもセンタールと交流しました。

その中に、家庭の事情があったり、HIVで親を亡くしたり、また感染している子がいまいました。

◆今年もタイ学習ツアーに参加できて、自分を見つめ直すことができました。バンマイという村の子どもセンタールと交流しました。

その中に、家庭の事情があったり、HIVで親を亡くしたり、また感染している子がいまいました。

10月9日3時28分、帰天されました。1917年12月29日生れ。東京出身。享年94歳。福岡教区(新田原・伊万里)でのトラピスチヌ修道院創立者の一人。長く院長・副院長を務めた。典礼、オルガン伴奏など多方面にわたり伊万里の修道院の基礎造りに献身的にかかわられた。

幼キイエス会 (ニコラ・パレ) 修道院 移転 (ニコラ・パレ) 修道院 住所 〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-7 電話 092-521-5114 092-526-9100 院長 Sr.佐無田 郁子

待降節一泊黙想会

自然の美しさに彩られた黙想の家で、祈りのひと時を過ごしませんか。

日程1: 12月8日(土)16時~9日(日)15時
 テーマ: 「わたしたちの祈り~待ち望むということ~」

日程2: 12月15日(土)16時~16日(日)15時
 テーマ: 「主の降誕にみる神の愛」

指導: 中村克徳神父(御受難修道会) 費用: 9,000円(一泊三食を含む)

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
 811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)・Fax 0940-32-3385
 Eメール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
 インターネット検索

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ **VINO DE MISA**
 スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは 有限会社 **大楠酒店** ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
 互助会制度もご利用できます。

木下株式会社
 TEL 092-526-5656
 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

典礼シリーズ ⑥

【質問】「カトリック教会で物や人を祝福するときに聖水が使われますが、これには『浄め』の意味、例えば『神道のように汚れを祓う』というような意味が含まれていますか。また、聖堂に入るとき、聖水をつけますがどんな意向をもってすべきか教えてください。また、聖堂を出る時にも聖水を付ける人がいますが、意味がありますか。」

【質問に答えて】「カトリック教会で物や人を祝福するときに聖水が使われますが、これには『浄め』の意味、例えば『神道のように汚れを祓う』というような意味が含まれていますか。また、聖堂に入るとき、聖水をつけますがどんな意向をもってすべきか教えてください。また、聖堂を出る時にも聖水を付ける人がいますが、意味がありますか。」

祝福された水のことを「聖水」と呼ばれています。聖水は、例えば土地や家の祝福、信心のために用いられるイエス様・マリア様・その他の聖人の方の像の祝福、また、結婚の指輪の祝福などの物に対して用いられる場合と、灌漑式が行われるときに人に振りかけられたり、また、病者の塗油の式のはじめに病者に注がれたりして、人に対して用いられる場合があります。

しかし、物に対して用いられる場合でも、その物自体ではなく、必ずその物を用いる人のことが想定され、その人のために教会が祈るという一貫性があります。ですから、

結果的には物に対する祝福も、人に対する祝福に含めて考えることができます。聖堂に出入りするときに信者が聖水を用いて十字架のしるしをする場合も、その人に対する祝福です。

「聖にして母なる教会は、そのほかに準秘跡を制定した。これは、秘跡にならうと定められたしるしであって、これによっておもに霊的効果が表され、教会の祈りによってそれが与えられる。準秘跡は、人々に秘跡の主要な効果を受ける心構えを持たせ、またこれによって生活の種々の状況が聖化される」(60)。

この中で、秘跡と準秘跡が関連づけられて説明されています。準秘跡とは、①教会が秘跡にならうと制定したもので、②目に見えない恵みを表すことばとしてのしるしが用いられる場合、③その恵みが与えられるよう、それをうける人のために教会が祈るといふものです。

イエス・キリストによって制定された秘跡と、それにならうと教会が定めた準秘跡では、霊的効果(恵み)が大きく異なりますが、準秘跡は、秘跡の主要な効果(秘跡的な恵み)を受ける心構えを準備させるもの、あるいは秘跡の恵みを受けた人が、生活の種々の状況の中で、その恵みをよりよく生きるよう助ける(促す)ためのものと理解することが出来ます。

土地や家、イエス様・マリア様・その他の聖人の方の像などを、聖水を用いて祝福する場合、信者がこれらの物によりよく用いて、洗礼の恵みを生かすよう促します。

10月9日(火)、第十回「諸宗教者平和の祈り」が真命山で行われ、九宗教者・団体が、世界平和を願って熱心な祈りを捧げた。この集いは2年ごとに開かれ、今年20年目を迎える。同時にこの日は、真命山設立25周年を祝う日ともなった。



「諸宗教者平和の祈り」九宗教者・団体、真命山に集った。続いて園田師が比叡山での「世界宗教者平和を祈る集い」を、Sr.マリアがサラエボで行われた祈りの集いの報告、今こそ宗教を信じる者が積極的に協力して、平和実現のために働かなければならないと強調した。



日本カトリック難民移住移動者委員会全国研修会 10月16日から18日、福岡教区(大分教区)の松浦悟郎司教(難民移住移動者委員会委員長)はじめ全国から70人程の司祭、修道者、信徒、大分在住の外国籍信徒が参加。福岡教区から2人の司祭、3人の信徒が参加しました。

10月20日(土)、福岡地区カトリック女性の会主催の黙想会が83人が参加して司教館で開催されました。

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修 親から子へと繋がってゆく命に目を向けていのちの大切さを考えてみたい、慈恵病院(蓮田太二理事長熊本市)の田尻由貴子看護部長を迎え、「いのちをつなぐ」こののりのゆりかごというテーマで講演をいただきました。

今年ゆりかごを利用する人たちの気持ちを助けること、中絶される命が減ってほしいこと、家庭環境に緊急避難できる社会の成熟が必要なこと、教会の役割と地域の関わりを痛感すると共に、家庭での愛情と関わり的重要性を再認識させられました。

「第二バチカン公会議に学ぶ」糸永真一司教著 鳥教区長の糸永真一司教が、教皇の勧めに従い、過去50年間の司牧経験を振り返りながら、第二バチカン公会議の意味を改めて考察する。

「信仰年」あたり、元鹿見鳥教区長の糸永真一司教が、教皇の勧めに従い、過去50年間の司牧経験を振り返りながら、第二バチカン公会議の意味を改めて考察する。

その後、天理教、天台宗、曹洞宗、浄土真宗、立正佼成会、生命山シュバイツァー寺、百光信宏会、ルーテル教会カトリック教会がそれぞれに祈りを捧げ、会場は祈りに包まれた。歌い、時にはすがるような切々と、時には宣言するように切々と、時には宣言す

「互いに尊敬し合うことが対話の基礎です。その基礎の上に立って、私たちは対話の橋を築いてきました」と、フランコ師は25年を振り返った。

3日目の全体会では、大分教区の外国籍信徒、福岡教区の日本人信徒、CTIC(カトリック東京国際センター)、仙台教区外国人支援センターのギャリー・ゲストウエオ神父の報告がありました。「被災地はまだまだ大変です。弱くされている人のことを忘れず、真ん中において歩んでください。」と話されました。

「日本の教会とは、日本人の教会」ではなく日本の中の教会です。メンバーに国は関係ありません。外国人と日本人が一緒に創っていくのです。皆使命を持って共に生きるのです。」というお話が心に響きました。

講演後は、6人前後の小グループに分かれ、心に響いた言葉等を分かち合いました。午後からのミサで、オカロール神父様は、「沈黙の叫び」のフィルムについてふれ、中絶時のお腹の中の赤ちゃんの様子は、処刑の場面を連想させられると語られた。そして、いのちをつないでいく大切さ、神の愛の重要性について話されました。

震災の後に起きた原発事故で、わたしの住む福島県の川俣町も放射能の被害を受けました。自然の豊かな山里。季節が巡れば以前と同じように花や虫たちは、それぞれの営みを繰り返します。わたしの生活のなかで撮っていた小さな命の姿を、故郷の恵みを多くの方々に見ていただきたいと、このささやかな本を編みました。(著者まえがきより) 女子パウロ会 発行


☆第二バチカン公会議に学ぶ 糸永真一司教著 税込価格 1050円 ☆「信仰年」あたり、元鹿見鳥教区長の糸永真一司教が、教皇の勧めに従い、過去50年間の司牧経験を振り返りながら、第二バチカン公会議の意味を改めて考察する。サンパウロ 発行 税込価格 945円 ☆「第二バチカン公会議に学ぶ」糸永真一司教著 税込価格 150円

なんでもお問い合わせください

 日本カトリック・スマイルか
 代表取締役 マリア・マリア 吉田由紀子
 〒910-8044 福井県福井市大町4丁目8番4号
 TEL 092-7871-0800
 http://www.jlcc-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
 春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
 ・一般住宅(新築・改築工事)
 ・鉄骨工事
 ・RC工事
 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
 株式会社 森山工務店
 ヨゼフ 森山新太郎
 福岡市早良区四箇1丁目15番28号
 ☎(092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

 セント・ポール
 FUKUOKA
 〒815-0861 福岡市早良区大谷2丁目7番10号
 平日/AM10時～PM5時40分
 日・祝日/AM11時～PM4時(球団E定休日)
 TEL 092-741-3688 FAX 092-741-3681
 URL http://www.ppfukuoka.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書週間特別講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコ福音書を読む』
日時：11月11日(日) 14:00～16:00
講師：山下敦神父(大分教区)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典部会

2012年北九州地区聖書週間特別講座

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコに導かれて～
日時：11月18日(日) 14:00～16:30
テーマ：生活の中でのマルコ
講師：森山信三神父(西新教会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部会

聖書に集う会

日時：11月5日(月) 18時30分～20時
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)

震災のための祈りのリレー

日時：11月11日(日) 9:00ミサ～19:00夕の祈り(テゼの祈り)
場所：カトリック加世田教会(鹿児島教区)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

第65回福岡市民クリスマス

日時：2012年12月10日(月) 18時開場/18時半開演
場所：福岡市民会館大ホール(福岡市中央区天神5)
入場無料/手話通訳つき
トーク&コンサート：沢知恵さん
主催：福岡市民クリスマス実行委員会
*キリスト教各教派を越えて企画しています。キリストの誕生をみんなで祝い、平和な世界を求め祈りの日にしましょう。ご家族でご来場ください。

子どもの問題を考える会 連続講演会

第1回 宣教の現場から
日時：2012年11月10日(土) 13:00～16:30
講師：メディナ・ヨセフ神父(イエズス会司祭)
第2回 差別をなくすということ
日時：2013年1月27日(日) 14:00～17:00
講師：小西清則氏(福岡県同和教育研究協議会会長)
開場：カトリック大名町教会1階講堂
参加費：1000円
*全7回を企画しています。どなたでも参加できます。

ザビエル合唱団員募集

福岡黙想の家に再生建築中の旧ザビエル聖堂完成をともに祝うために練習中
献堂式 2013年4月7日
練習日時：2013年1月19日(土) 13:00～16:30
指揮者：新垣壬敏氏/場所：カトリック大名町教会1階
参加費：2000円/問合せ：☎0940・33・5423 橋本

福岡地区エキュメニカル推進の集い第14回

日時：2012年11月25日(日) 16時～18時
場所：カテドラル大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開成(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：G. ミシェル神父(箱崎教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

あちこちから金木犀の香りがして、心地よい気分になります。最近の子どもたちは「トイレットの香りがする」と言っています。笑えないような気がしますが、人工的な香りや音に囲まれた現代人は、本物の感覚が薄くなっていくのかもしれない。信仰も借り物ではなく、自ら培った本物の信仰を求めなければならぬと思います。黙想会での兄弟司祭たちの話しを聴きながら、閉塞感や時には空虚感、孤独感等と闘いながら皆現実に生きていく姿が印象的でした。

編集後記

熊本地区召命を共に祈る会(日時) 11月15日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

案内板 会合と催し

11月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 11月

2日(金)～4日(日) 防府教会黙想会 (空室:20室)
5日(月)～8日(木) (空室:30室)
9日(金)～10日(土) 北九州レジオマリエ黙想会 (空室:20室)
10日(土)～11日(日) 山口島根地区信者養成研修会 (満室)
12日(月)～16日(金) (空室:30室)
17日(土) 福岡チエナクルム
17日(土)～18日(日) 聖マリア在俗会黙想会 (空室:15室)
21日(水)～22日(木) ウルスラ会黙想会 (空室:10室)
22日(木)～25日(日) 日本心身医学協会セミナー (空室:15室)
【12月】
1日(土)～7日(金) (空室:30室)
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

*祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
日時：11月8日(木) 10時～14時半
内容：御聖体礼拝
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
次回：12月13日(木) 終末の宴
☎0968・85・3100 瀬0968・85・3186・玉名郡和水町崎浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：11月17日、12月1日、12月15日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

大名町教会 125周年記念ミサ

日時：11月18日(日) 15時
司式：宮原良治司教と 大名町教会出身歴代主任・助任司祭他

熊本

熊本地区召命を共に祈る会(日時) 11月15日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

佐賀

佐賀祈りの集い(日時) 11月10日(土) 10時(場所) 1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武

4日(日) 年間第31主日/水巻教会堅信式/北九州納骨堂ミサ 糸島教会/バザー/古賀教会/バザー
6日(火) 司祭評議会
8日(木) 常任司教委員会
+M. マッコネル(2005年手取教会)
9日(金) ラテラン教会の献堂
福岡教区カトリック学校理事長・校長・学長の集い
伊東マンショ没後40周年追悼ミサ(宮崎)
年間第32主日/和田墓地ミサ
鳥栖教会堅信式/嬉野・不動山殉教祈念祭
13日(火) 日韓司教交流会(テグ教区～15日)
16日(金) +アントニオ浦口均(2007年老司教会)
18日(日) 年間第32主日/聖書週間(～25日)
カトリック大名町教会125周年ミサ(15時から)
長崎教会管区・司教司祭代表者会議(福岡)
聖マリアの奉獻
22日(木) 聖セシリアおとめ殉教者
23日(金) 福岡教区の日 勤労感謝の日
24日(土) 横浜教区司教座聖堂献堂125周年ミサ聖祭
25日(日) 王であるキリスト
行橋教会堅信式
26日(月) 教区司祭の集い(～27日)
+L. マグリン(2008年聖マリア病院)
27日(火) +M. ハイメ(2003年トラビスチヌ)
28日(水) 教区幼児教育連盟会合
30日(金) 聖アンデレ使徒
+アンジェロ春山勝美(2007年高宮教会)
12月
2日(日) 待降節第1主日(C年)/宣教地司祭育成の日(献金)
新田原教会堅信式
聖フランシスコ・ザビエル司祭
3日(月) ■ゴチックは司教日程

福岡

聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先) ☎09・2・521・2503 蓮尾
こひつじ会(日時) 11月10日(土) 11時から(場所) 福岡黙想の家(内容) たのしいクッキング教室(参加費) 自由献金(問合せ先) ☎0940・33・2731 吉永
虹の会(日時) 11月10日(土) 13時半から(場所) カトリック大名町教会3階(対象) 子どもを亡くした親の会です。(会費) 600円(連絡先) ☎090・1162・6395 柴田
心の健康セミナー(日時) 11月11日(日) 14時から(場所) 福岡黙想の家(内容) ハウス(テーマ) 死という危機とそれに対する私たちの霊

北九州

北九州召命を共に祈る会(日時) 11月8日(木) 14時(場所) カトリック直方教会(内容) ミサとミーティング(指導) 谷口尚志神父(新田原教会)(連絡先) ☎0949・24・9905 藤井
小倉祈りの集い(日時) 11月30日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 『みことばを味わう』 賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209 松田

2013年 カトリック教区カレンダー
昨年大好評だった東日本大震災復興支援チャリティカレンダー「北に祈る」は、今年は福岡教区・仙台教区・さいたま教区・横浜教区・新潟教区の5都府県を制作いたしました。1冊購入していただくと1,000円がカトリックジャパンと仙台教区の被災地支援活動のために寄付されます。(「新潟教区カレンダー」の義援金は、新潟司教座建設のために寄付されます。)
◆ご注文方法 フォックス・電話またはイー・ピックスのホームページ(epix.co.jp)にてご注文ください。振込やメールアドレスで発送いたします。
◆お支払い方法 お支払いは商品と同封する郵便払込用紙にて後納となります。(送料手数料は弊社負担)

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救急救急センター
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島秋の巡礼ツアー
神職員が同行 思いのついでに旅をしよう
【料金】2日・3日両日大分県内観光バス乗車、5日両日大分県内観光バス乗車
●11月22日(土)11月23日(日) 両日計 40,000円
●21日(金)22日(土)11月23日(日) 両日計 40,000円
●全行程4日(11月22日～25日) 両日計 65,000円
旅行企画・実施 株式会社 長崎ツーリスト公社
☎095-894-9755 FAX095-894-9760
長崎市青葉町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業取扱管理者 吉村徳博

心の欲しい人は
さいはら、
天の国は
その人たちのもの
11月開業予定 福岡県大野城町
旅行企画・実施 株式会社 サンパウロ福岡宣教センター
〒816-0002 福岡県大野城町大野城1-1-1 TEL.011(2)26-3334 FAX.011(2)26-3344
URL: http://www.epix.co.jp E-mail: contact@epix.co.jp



クリスマスには教会へ行こう！
スロバキア地方のクリスマス飾り



第13回通常シノドス テーマ「信仰伝達のための新しい福音宣教」 宮原司教 日本司教団代表として参加 出会いを語る



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

12月の意向

教皇様の意向のために祈りましょ
【一般】移住・移動者
【宣教】人類の光、キリスト
【日本の教会】
日本の教会における召命の促進

今回のシノドスのテーマは「信仰伝達のための新しい福音宣教」でした。バチカンのシノドス事務局は昨年このテーマに関する「提題解説」を発行し、全世界の司教協議会、男女修道会の国際協議会、教皇庁の諸機関に配布して意見を求めました。日本司教協議会も各教区と日本の男女修道会に同「提題解説」に対する提言を求め、

シノドス（世界代表司教会議）とは、世界の異なる地域から選出された司教たちが一定時に会合する「司教の集会」です。その目的は、①ローマ教皇と司教たちとのより緊密な関係と交わりを助長し、②信仰・倫理の擁護と向上、また教会規律の遵守や強化のために助言を通してローマ教皇を補佐し、③さらに世界における教会活動の諸問題を研究するためです。その任務は、提起された問題を討議し、意見を具申することであって、決して問題を解決することや問題に関する決定を出すことではありません。あくまでもローマ教皇を補佐する諮問機関です。教皇はシノドスの提言を受けた後、取り扱ったテーマに関する「自発教令」を發布します。シノドスには「通常会議」、「臨時会議」、「特別会議」の三種類がありますが、今回は3年に一度開催される通常会議でした。

シノドスを構成する参加者は、大多数が各国の司教協議会から選出された司教ですが、それ以外にも教皇から直接指名された司教、教皇庁の高位聖職者、男女修道会の代表者、世界的に活動している信心会や運動グループ、国際的な宗教連盟や聖書協会などの代表者、神学顧問や事務局スタッフも含め総勢370人程度の参加者でした。オプザーバーも含め参加者の大半が発言を許可され、3週間で400人（一人複数回も含む）

シノドス事務局は全世界から寄せられた回答を「討議要綱」にまとめ、今年7月シノドス参加予定者全員に配布しました。この「討議要綱」に基づいて、10月7日から28日まで約3週間「信仰伝達のための新しい福音宣教」を様々な角度から審議しました。審議された主な要点は、①新しい福音宣教の本質は何か、②教会を取り巻いている現代の社会的・文化的現状とその課題は何か、③教会はこれらの課題に何を答えたらよいか、④それらの具体策を誰がどのように推進していくか、という点に焦点を絞りました。最終的に58の提言にまとめ、教皇に提出しました。同時に、審議された内容は「神の民へのメッセージ」として別の文書でまとめられ、公表されました（訳文はカトリック中央協議会ホームページに掲載）。

時の話題

ジャンピエロブルーニ神父

教会の第1の役割である信仰を宣べ伝えることについて明確な意識が大切で、どんな時代も、またあらゆる場面で主イエスを宣教して、福音を宣べ伝えるのは根本的なことです。今までは信者がこの使命を果たさなかったということであれば、現在は誰もキリストの信者にならなかつたでしょうし、イエスにつ

以上が発言があったと報告されました。ただし、最終的な文書である「教皇への提言」と「神の民へのメッセージ」に関する投票権を有する参加者は263人でした。シノドスの感想は、責任の大きさに重圧もありました。それ以上に教区民をはじめ沢山の祈りに支えられていることを実感でき、それが重荷以上の喜びと希望になりました。さらに、シノドス会場では、毎日最初に「教会の祈り」の3時課を歌唱した後で会議が始まりました。教皇を中心とした世界中の代表司教たちと心を一つにして三位一体の神を讃美し、感謝し、赦しを願う、嘆願ができたことは何物にも変え難い素晴らしい体験でした。また、世界中から参加している司教や修道者、信徒に出会えたこと、特に宿泊所が一緒だった司教たちとの間で食事中に交わされた情報交換は貴重な体験でした。特に、毎日死者が絶えない悲惨な戦乱状況をシリアの司教から直接聞いたこと、またアテネ、エルサレム、バグダット（イラ

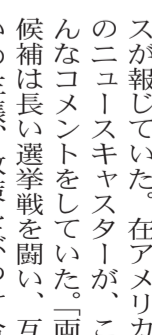
新しい福音宣教は、その内容や方法や手段もさることながら、何よりも先ず自身の「信仰の質の変化」が大前提であり、素朴で単純なその歩みの一歩一歩から新しい福音

ク）、ウクライナなどの中東や東欧の社会情勢や東方典礼の話など、世界各地の教会事情や社会・政治・文化の諸事情に関する情報を開けたことは有意義な体験でした。司教たち同士の出会いと交わりを通して相互の理解と連帯の絆が深められることにもシノドスの意義があることを悟りました。

テーマに関しては一番心に残っていることは、私自身がキリスト者として、また司教として、本気で改心して福音化されない限り、何も新しいものは生まれてこないという思いを強くしたことです。

新しい福音宣教は先ず自身自身の絶えざる改心と聖化にかかっているという結論です。「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」と叫び続けるキリストのみことばが新鮮に響いてきます。

S・ライル神父様 故国で帰天



シヨーン・ライル神父が、10月26日、故国アイルランドの聖コロンバン本部で帰天した。享年86歳。1957年に福岡教区に赴任、本渡教会、美野島教会、玉名教会で主任司祭を歴任。福岡教区では、家庭委員会を長年担当。また福岡市南区の皿山ファミリースターの所長として生命尊重の立場から結婚講座に取り組み、今も続く講座の受講者への影響は大きい。神父が提唱したこの結婚講座は、福岡教区のみならず大阪や横浜教区でも続けられている。2006年に帰国していた。

「みちくさ」を書いていて時にアメリカではオバマ大統領の再選が決まったとニュースが報じていた。在アメリカのニューズキャスターが、こんなコメントをしていた。「両候補は長い選挙戦を闘い、互いの主張、政策をぶつけ合い、国民はそれをつぶさにTVやネットを通じて観て判断し、次第に候補者と国民が一体化していく。候補者が主導権を握っているというより、国民が新しい大統領を造り、育てていくという印象を受けた」と。このコメントを聞いて私たちの日本の政治や教会のあり方などに当てはめてみると、多くを考えさせられた。教会は上意下達の一方通行になっていないか、神の民の状況をどれほど理解し、その声を聞くこととしているか、それを通して司教者が育てられているか。「信仰年」「信仰年」と説教台から声高に叫んでも、反応がかえって来ないと嘆く。人々は関心がなく、興味を示してくれない、と。しかし、実際、日々の雑務に追われて自分が委ねられた小教区民の生活状況をほとんど把握していない自らを省みる時、まず私たち司教者の回心が第一かもしれないと思う。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみをつぶさに見、叫び声を聴き、その痛みを知った」（出エジプト2:25）閉塞感や無力感がある教会で、何の抵抗も反論もせずに、黙って十字架に上って行かれたイエスの十字架に今一度原点を戻していくべきであらうと思う。「キリストの十字架がむなしなものになつてしまわないように」（1コリント11:2）

司祭評議会が信仰年の取り組みを討議

2012年度の第3回司祭評議会が11月6日(火)、開催され、14人の司祭が参集し、教区の宣教司牧について討議した。

まず、2013年の福岡教区の年間テーマについて、信仰年をテーマとし、2013年の教区報新年号で司教がテーマについて文書を掲載することとなった。

信仰年の取り組み、また評議員の現状の取り組みについて分ち合われた。

新しくなった教区組織の各担当者が、教理的側面と司牧的側面を踏まえながら、具体的な取り組みを検討し、今後の司祭評議会にて提案していくこととなった。

また、信仰年は来年11月24日までであるが、その開幕ミサを教区として11月23日(教区の日)に、宮原司教主司式のミサとしてささげることが

決定された。

この「教区の日」について、今年の開催の準備状況や当日の予定が報告された。その上で、「教区の日」の開催のあり方について意見交換が行われた。

毎年開催となると、信徒の負担も大きく、教会、信徒の動きと合致していないのではないかと意見も出された。

一方で、一つの目標を長い期間で取り組んでいくために、その年の歩みを振り返ることから前進していけるという指摘もなされた。結果、まだ「教区の日」は始まったばかりなので、当面は意識づけるためにも毎年開催を続け、その後、開催のあり方を検討することもあり得るとな

た。そのほか、10月に「キリスト教の信仰を伝えるための新しい福音宣教」というテーマ

「信仰年」を旅するために II

典礼的な面から

深堀 純

第2バチカン公会議の「典

礼憲章」が發布されて半世紀が過ぎ、その間に洗礼を受け

た人が今では信者の大半を占めるようになりました。その人たちにとって、司祭が会衆に背を向けて、ラテン語でミサを行っていた公会議前の姿は、話しに聞か昔の写真で見

行動的に参加し、司祭の手を通してだけでなく司祭とともに、またお互いに奉仕し合っ

て行うことでした。そのため、ミサでは祭壇が会衆の近くに置かれ、司祭は会衆の方を向き、全員でささげる形になりました。

さらに式文の言葉がラテン語から日本語になり、また聖書の宝庫からみことばが豊かに提供されるようになって、信徒が聖書朗読や先唱(解説)、奉納などの奉仕を受け

で開催された世界代表司教会議第13回通常総会(シノドス)に日本代表として参加された宮原司教から、その内容と感想、教区報などで信者に向け

て分ち合っついていくことが確認された。

また、筑後地区においては、信徒使徒職協議会が立ち上げに向けて動き出していることが報告された。

正義と平和協議会全国大会を福岡で開催できないかと担当司教より打診があつており、2014年以降に開催するかどうかを次回の司祭評議会にて検討することとなった。

今年の最後の司祭評議会にあたり、司教から、1年の歩みへの協力への感謝と、来年も同じ流れで、信仰年にあたり、信仰を振り返り、その豊

かさを味わい、教区、小教区を豊かにしていくために協力を引き続きお願いしたい旨が述べられて閉会した。

が真にキリストとの出会いの場となりました。また初代教会からの長い伝統である詩編歌唱が日本語で行われるようになったことは画期的なこと

でした。典

礼への意識的、行動的参加は、単に典

和田墓地ミサ 三村神父の納骨も



11月11日(日) 14時より、カトリック福岡教区墓地・納骨堂にて、恒例の「死者の月」ミサならびに納骨式が行われ、数名の司祭と多くの信徒の方が共に祈りをささげた。

「五市四郡」に跨る地域を持つ久留米教会で長年宣教司牧に専心し、幼児の中に神を見出し、幼児に福音の種を蒔き続けた三村神父を偲び、久留米教会の信徒、聖母幼稚園の教職員、そして遠く広島からご遺族の方が駆けつけ、納骨に臨み、ミサ、納骨後も祈りを捧げておられた。

ただ「死者の月」のこの11月のミサは、毎年、聖母被昇天に比べて参列

者が少ないように感じられる。

カトリック教会は、生きて

いる者同士の助け合いとともに亡くなった方々との世を

生きていく私たちがこの世を、相互扶助である「聖徒の交わり」という大切な教えを受け継いできた。と同時に私たちの希望であるこの信仰を

深め、歩むために教会は、「死者の月」を定めている。

北九州墓地で死者のためのミサ



11月4日北九州納骨堂で宮原司教主司式で死者のためのミサが行われた。北九州地区の信者および関係者約230人と7人の司祭、教区本部から助祭と神学生が参加。毎年8月と11月に死者のためのミサが捧げられているが、11月のミサでは今までの

参加者がいけば多いミサとなった。

シノドス(世界代表司教会議)に参加され、帰国されたばかりの宮原司教はミサの説教で次のように話された。

「たくさんの方がここに集まっておられます。皆さんの熱心な信仰が伝わってきます。でも、その信仰が皆さんのお子さん、お孫さんにまで伝わっているでしょうか。ほとんど伝わっていないのではないのでしょうか。そのことでお悩みではないでしょうか。10月にバチカンで開かれたシノドスに参加してきました。公会議開幕五十周年を機会に開かれた今回のシノドスのテーマは「新しい福音宣教」でした。どのようにキリストの福音

とつてありがたいことに違いないし、いずれ自分自身も迎えるこの時、この地に眠るその際に、子どもたちや、子孫孫から祈っていただけのものであるならば、どんなに心強いものであるか。この尊さを是非深め、伝えていきたいものである。

また、この地には、福岡教区でお働きになられた歴代の司教様をはじめ、多くの司祭方も眠っておられる。いずれ迎えるその時、皆さんからお祈りいただければ、どんなにありがたいか、それを励みに、力づけられながら、これから歩み続けたいものである。

光丘教会主任 川上惣一神父

史しかなない日本の教会では、まずは現行の典

礼の歴史を持つヨーロッパ諸国に比べ、実質40年の刷新の歴史

に比べて、実質40年の刷新の歴史

待降節 一泊黙想会

自然の美しさに彩られた黙想の家で、祈りのひと時を過ごしませんか。

日程1：12月8日(土) 16時～9日(日) 15時
 テーマ：「わたしたちの祈り～待ち望むということ～」

日程2：12月15日(土) 16時～16日(日) 15時
 テーマ：「主の降誕にみる神の愛」

指 導：中村克徳 神父 (御受難修道会) 費用：9,000円 (一泊三食を含む)

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
 Eメール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
 インターネットで検索

ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
 スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
 有限会社 **大楠酒店**
 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
 互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
 〒810-0016
 福岡市中央区平和3丁目1-5

カトリック大名町教会沿革

- 1887年 エミール・ラゲ神父
橋口町の民家にて宣教活動開始
- 1893年 アルフレッド・ルッセル神父
大名町教会現敷地の西側半分を購入
- 1896年 赤レンガ聖堂完成し「勝利の聖母」に献堂
- 1898年 エドワール・ベレール神父
現敷地の東側半分を購入
- 1927年 福岡教区創立
大名町教会司教座聖堂となる
- 1928年 初代福岡教区長フェルディナン・ティリー司教着座
- 1931年 第2代教区長アルベール・ブルトン司教着座
- 1932年 伝道館に「福岡公教中学校」(後の福岡小中学校)開設
- 1938年 木造聖堂献堂
- 1941年 第3代教区長深堀仙右衛門神父着任
- 1944年 深堀仙右衛門神父司教叙階
- 1946年 初の日本人主任司教伊東誠二神父着任
- 1949年 聖フランシスコ・ザビエル来日四百年祭、聖人の聖腕
大名町教会に安置される
- 1970年 第4代教区長平田三郎司教着座
- 1984年 赤レンガ聖堂解体 久留米聖マリア病院へ移築
- 1986年 カテドラル・センター献堂
- 1991年 第5代教区長松永久次郎司教着座
- 2008年 第6代教区長宮原良治司教着座

カトリック大名町教会が創立125周年を祝う



大名町教会は今年創立125周年を迎え、11月18日(日) 記念の感謝の祭儀がささげられた。

大名町教会は、1887年、パリ外国宣教会エミール・ラゲ神父によって創立された。神父は福岡市橋口町(現在の中央区天神中央郵便局付近)の民家を借りて宣教の拠点とした。

かつて博多はキリシタンの一大中心地であったが、ラゲ神父来福時、5万人の市民の間に一人のキリスト信



1887年橋口町の民家で宣教開始



1896年赤レンガ聖堂完成



1938年木造聖堂が献堂



1986年カテドラル・センター献堂

者もおらず、全くゼロからの再宣教開始であった。

ラゲ神父は3年の在任中に36人に洗礼を授けて次の宣教地大分へ移った。

その後、数年して現在地を購入、1896年に赤レンガ聖堂が建立されて「勝利の聖母」に奉献された。1927年、福岡教区創立と同時に司教座聖堂となり、1938年には木造の聖堂が落成献堂された。

戦後邦人司教が赴任、また信徒の増加とともに大名町教会から独立して市内に多くの小教会が創立されていった。

現在のカテドラルセンターは1986年に献堂された。これまでに現教区長宮原良治司教をふくめ6代の司教の座が置かれている。

感謝の祭儀は、午後3時から、宮原司教の主司式、同教

会出身の司教、歴代の主任司祭・助任司祭など30人の共同司式で行われ、7000人の信徒が参列した。

ミサには、通常主日の午後5時の英語ミサに参加している外国籍信徒も合流、聖書朗読、説教、聖歌などは日本語と英語で行われた。宮原司教は説教で、「125年の節目の時に迎え、キリシタン時代から脈々と受け継がれてきた信仰、またラゲ神父をはじめ先人から受け継いだ信仰の恵みを、自ら生きてさらに豊かなものに、後代に伝えてほしい。ラゲ神父の、聖書を土台にした、また教会の伝統を大切にしたい信仰の営みを模範に信仰年を過ごすように」と諭した。

記念式典で挨拶に立った大名町教会主任司教櫻井尚明神父は、125周年を、過去を振り返りつつ将来に向けて責

任ある信仰共同体となることを目指す機会にしたいとした上で、「小教会が、個人としても共同体としても真にキリストとの出会いの場、特に困難の中にある人への奉仕の場となり、それによって外へ向けては神の現存のしるし、相互の一致のしるしとなりたい。英語ミサグループの人たちとの交わりを強め、違いを分かち合って豊かさがあることとしるしとなりたい。そして125周年が信仰年と重なった恵みのこのとき、信仰の喜びと希望をもたらす信仰共同体作りに励もう」と呼びかけた。

記念ミサには、かつて大名町教会で洗礼を受けた人々なども多数参列し、同じ信仰に生きる喜びを分かち合って感謝のうちに記念式典を終えた。

子ども達は、これからを担う宝物

小教区誕生から125年間、どれだけ子どもたちがここで成長し、教会を支えてきてくれたのでしょうか。

大名町教会の魅力は都会っ子らしからぬ優しく素直でシャイな子どもたちの存在です。主日のミサには侍者の行列ができ、大学生や高校生は小さなお友達の話がとても上手で、非常に仲が良く、教会が好きで集まっています。

信仰年と重なった節目のと

「子どもたちを来させなさい」(マタイ19・14)、「わたしの名のためにこのような一人の子どもを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである」(マタイ18・5)。大名町教会の子どもたちは神様の宝物です。イエス様のことを受けとめ、これからの大名町教会を担う子どもたちを大切にしたいと思えます。



また、伊藤神父は「なぜ教会が食なのか、それは、キリスト教が本来「食の宗教」だから。最後の晩餐、そしてその再現であるミサで分かるように、食物であるパンとぶどう酒を私たちは「御聖体」として、食を通して信仰を深めていくのも可能性の一つです、と語った。

伊藤幸史神父による熊本地区での研修会に「食と救い」をテーマとするきっかけは、

熊本地区信徒協「食と救い」で研修会

2012年10月28日(日)カトリック健康教会において、熊本地区信徒協主催による研修会が行われ、熊本地区各教会から約180人の信徒が参加した。この研修会は宮原司教の年頭メッセージ「信仰生涯学習」を目標に企画したもので、と主催者は語った。

講師として招かれたのは、東京教区司教で日本カトリック神学院養成者でもある伊藤幸史神父。テーマは「食と信仰ー風土食(ふんど)」。



講師の伊藤神父は、「日常の食を通して、私たちが受けているもの、それは、単に食物だけではなく、作ってくれている人達の愛情、思いも一緒に食しています。『食』は身近な人と人、家族、隣人とのつながりを生み出す『窓口』です。また、特に子どもたちに、多くの尊いもの(動物、植物)によって支えられていること、一人ひとりの『いのちの大切さ』に気づいてほしい」と熱く語った。

「2010年に行った恒例の神学講座の中で、講師の白濱満神父の『キリスト教は、食の宗教です。神様を食べる宗教です』と聞いたことが大きな刺激です」と、提案者の一人は話している。

この「食と救い」の内容は、成人信徒向けというより、今から大人になる子ども達に必要内容であると認識した提案者は、この熊本地区信徒協の研修会に先立ち、ミッシェンスクールへの働きかけを行ってきた。

2012年8月31日、大牟田明光学園はこの提案を受けて、教職員研修として「食と救い」をテーマに実施。現代の食の実態、食の大切さ、さらに食とキリスト教の関係を学習。そこから同校は、対象をカトリック信徒、生徒の保護者並びに一般に広げ、10月27日、「食と救い」を公開講座として主催している。

さらに、10月31日には、熊本信愛女学院において中・高生全員・教職員・保護者を対象に講演会が行われた。

ここ数年、教区内で開催された昨年7月の「カトリック幼稚園連盟全国大会」、今年5月開催の「日本カトリック女性団体連盟福岡総会」などで、「食」の大切さを提唱している佐藤初女さんや内田美智子さんの講演などが訴えること、更に現代社会の中で食に対する注目度などを考えると、「カトリック教会が、食の宗教であることをもっと自覚して、幼稚園・保育園をはじめとして、学校関係者、カトリック事業所、それに教会が一致して、「食」をテーマに何か動きができるのではないか、「食」を切り口にして、一致した動きができるのではないかと、この提案者は語っている。

糸島教会の11月先人への感謝と青空運動会

先人へ感謝の 聖家族墓地

糸島教会は献堂22年という未だ歴史の浅い教会ですが、8月と11月に恒例の墓地ミサが行われます。

墓地はこの地に教会墓地が欲しい、お墓を建てたいとの信徒の強い思いが実って5年程前に出来たものです。聖家族墓地と愛称される私たちの墓地は、聖堂を出て10秒も歩けば到着です。統一された簡素な佇まいのお墓が並んでいます。

今は亡き平田三郎司教様をはじめ、先人が先人の明をもつて広い土地を残してくださったことで実現でき、感謝の念を深くしています。そして主日毎に、こんな身近に亡き人を感じながら過ごせることの幸せを思います。

教会の墓地は、お墓のある人たちのための場所ではありません。

11月4日(日)、いつもより遅めのミサが10時から取り行われた後、青空とは少し言いつらい空の下、バザーとミニ運動会が行われました。

マリア会の皆さんの心のこもった手作りケーキ、から揚げなど数々の品物が所せましと並べられていました。また、カレーやおでん、焼きたてのワッフルなど、趣向を凝らした食べ物も沢山準備され、ノンアルコールビールも準備されるなど、飲める人も飲めない人も共に楽しむことが出来ました。

色んなものが短い時間で売り切れる盛況ぶり、皆さんお腹を満たし、少し赤い顔の方も見受けられました。

暫くして、ミニ運動会の始まりです。パンくじ競争、ピン釣り競争、風船割り、ムカデ競争と玉入れの5種目で赤・白に分かれて開始です。

最初は白組が大きくリードし、圧勝と思われましたが、気迫のこもった応援に刺激されたのか紅組が持てる力を発



揮し、風船割りでは、けつ弾力がものを言い、あれよという間に追いつきました。

最後は玉入れ、全員参加の競技です。皆さんのパワーが集中、まれにみる接戦で紅組が一個上回り勝利をつかみま

きです」と話されました。

糸島教会では、これまで信徒会館がなく行事の度に不自由をしていますが、立派な信徒会館が完成し、聖堂の改築が目下行われています。



大牟田教会では、10月21日(日)主日のミサ中でグループに分かれて、「世界宣教の日」に因んでの分かち合いを行った(II写真)。

先ず、説教の後に、「宣教と原発廃止を考える」と題して、信徒の蓮尾昭子さんが「日本司教団のメッセージ」と現地の方々の声」を資料に基調講演をした。

講師から配布されたプリントを手に追いつきながら、講師の熱のある話しを聞いた後、話に聞き入っていた会衆は、大人の数グループ、外国人グループ、子どものグループになり分かち合いに入った。

「原発廃止の司教団側」に立つて、私たちも署名活動をしたが、個々に何かできることがあるのではないかと、

「被災者のために続けて支援する必要はある」とか、「新しいエネルギー開発が進むように、学者や為政者への神の知恵を祈ろう」とか、「原発事故は子孫孫までいろいろな影響がある。他人事ではなく、自分たちのことと考え、キリスト教的愛の精神をもつて関わっていかねば」など、多くの発言があった。

熱気が感じられた分かち合いの後、信仰宣言をおこない、つく共同祈願では、現今の混沌とした社会情勢に鑑みられた祈りが唱えられた。

この日は、いつもの主日ミサの2倍の時間を要したが、参加者にとっては短く、有益に感じられたミサとなった。



した。この結果、勝利したのは紅組でした。

今年もみんなが力を合わせ、イエス様の「隣人を愛せよ」の言葉通り、ともに手を取り合ったことで沢山のお恵みが頂けたことに感謝!

いつでもどこでも福音宣教を考えて 大牟田教会の『分かち合いと実践』

世界宣教の日で ミサの中で分かち合い

時間をかけて準備したバザーが見事に花開いた。教会信徒会館と幼稚園園舎、そしてグラウンドを余すことなく活用し、たくさんのお食べ物や物が並べられた。多くの人が訪れ、会話と買い物を楽しんだ。

園長で主任司祭の下町豊重神父の腹話術や手品も相変わらずの人気だった。訪れた人達には、「ようこそ」と書かれた絵(宣教を意図したものが)が渡れなく配られた。信者の心には、神のために働く喜びがあり、流れる汗が宣教するキリストの姿を垣間見せた時であった。尚、収益の多くは被災者のために送られることになっている。

稲穂が色づく頃の 筑後地区スポーツ大会

稲穂が色づく頃の 筑後地区スポーツ大会

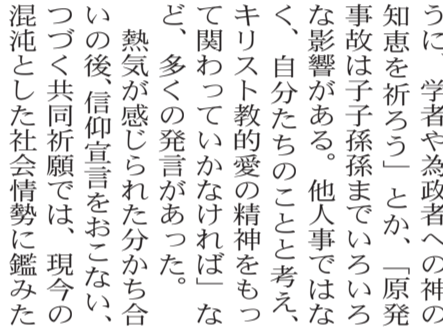
9月2日夏休み最後の日曜日。太刀洗ドリームセンターに於いて筑後地区親善スポーツ大会が行われた。今年で27回目のこの大会は、二日市、本郷、今村、鳥栖、小郡、久留米、大牟田の7つの教会が一堂に会し、御ミサとスポーツを通して親善をはかる集いである。始まりは、宮原司教様司式のミサ。約350名程の参加者が祈りを共にした。

司教様は説教の中で、車の運転と交通法規の話をもとに(宮原司教様3回連続ゴールド免許)私達の信仰がみせかけであってはならない、隣人を自分のように愛するのための祈りとい行いが大切だと話して下さいました。

競技の始まる前には、8月20日に帰天された三村邦明神父様のため黙祷が捧げられた。鳥栖教会、高校二年の梅木慎二君が、「私達は互いの信仰を深め、愛と平和の使者になることを誓います。」と選手宣誓をした。

プログラムは、未就学児の競争、大玉転がし、綱引き等、全8つに及ぶ各教会がプログラムを1つずつ担当し、皆で盛り上げていくという在り方である。競技はどの種目も熱戦が繰り広げられ、応援にも熱が入った。

私達は、年に一度のこのスポーツ大会で集い合えることを喜びとしている。どんな形であれ、イエス様のもとに集まった何千人もの人々のように、祈りそして互いに絆を深め、信仰の喜びを分かち合うことに大きな意義があるように思う。さらに召命の恵みがもたらされるよう、この集いを通して願いたい。



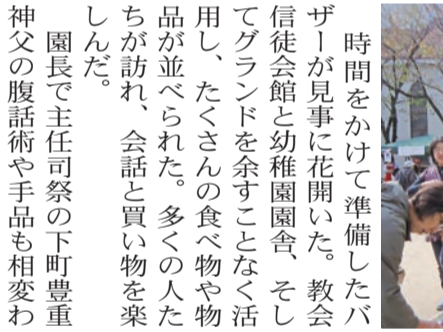
「被災者のために続けて支援する必要はある」とか、「新しいエネルギー開発が進むように、学者や為政者への神の知恵を祈ろう」とか、「原発事故は子孫孫までいろいろな影響がある。他人事ではなく、自分たちのことと考え、キリスト教的愛の精神をもつて関わっていかねば」など、多くの発言があった。

熱気が感じられた分かち合いの後、信仰宣言をおこない、つく共同祈願では、現今の混沌とした社会情勢に鑑みられた祈りが唱えられた。

この日は、いつもの主日ミサの2倍の時間を要したが、参加者にとっては短く、有益に感じられたミサとなった。

11月19日(月)、秋晴れの下、日本カトリック神学院福岡キャンパスグラウンドで福岡・長崎連合ダルク(監督コーラス・マルセル神父)と福岡カリチエス(福岡教区司祭団・監督下町豊重神父)のソフトボールの試合が行われた。

一試合目は中村彰神父と竹内英次神父がそれぞれ2本のホームランを放つ等でカリチエスが15対1でダルクに快勝した。



この親善試合の最後に長崎から来ていた2人の少年が「今度、長崎の中町教会で洗礼を受けます」とダルク監督のコーラス神父より紹介され、温かい拍手が贈られた。また、この2試合は、コーラス神父の要望により、「現在、すい臓がんで苦しむダルクの一員のため」に捧げられたものとなった。試合後は、双方共に堅い握手をし、再会を誓った。交流が保たれるよう、今後も続けて欲しいものである。

福岡カリチエス対 長崎連合ダルク 秋満喫

試合展開となった。2試合目はダルクの好投手の速球が冴えわたり、点を取れなかったカリチエスだったが、大塚了平神父がホームランを打つ等、徐々にバットが振れ出し、結果はカリチエスが17対10でダルクを下した。

目立ったのは、カリチエスが2つのダブルプレーを取ったことと、谷口尚志神父の外野からの速返球により、相手のホームインを見事に阻止したことである。試合は抜きつ

抜かれたのシーソーゲームとなり、白熱した展開に選手も応援団も燃え上がりを見せた。

この親善試合の最後に長崎から来ていた2人の少年が「今度、長崎の中町教会で洗礼を受けます」とダルク監督のコーラス神父より紹介され、温かい拍手が贈られた。また、この2試合は、コーラス神父の要望により、「現在、すい臓がんで苦しむダルクの一員のため」に捧げられたものとなった。試合後は、双方共に堅い握手をし、再会を誓った。交流が保たれるよう、今後も続けて欲しいものである。

2013年 カトリック教区カレンダー

昨年大好評だった東日本大震災復興支援チャリティーカレンダー「北に祈る」は、今年も福岡教区・仙台教区・さいたま教区・横浜教区・新潟教区の5教区を制作いたしました。1冊購入していただくと1,000円がカリチエスジャパンと仙台教区の被災地支援活動のために寄付されます。(新潟教区カレンダー)の義援金は、新潟司教団建設のために寄付されます。

●ご注文方法 フォックス・電話またはイー・ピックスのホームページ (epix.co.jp)にてご注文ください。郵次やメールアドレスを必ずお知らせください。

●お支払い方法 お支払い方法は商品と同封の郵便振込用紙にて後払いとなります。(振込手数料は弊社負担)

1,000円 好評発売中! 各2000部限定

販売価格1冊/2,000円 (1,000円の義援金(8/25)と送料別)

イー・ピックス出版

〒832-0202 福岡市東区博多駅前2丁目1番地200-2
TEL.0192-26-3334 / FAX.0192-26-3344
URL: http://www.epix.co.jp E-mail: c221c1@epix.co.jp

第65回 市民クリスマス 福岡市の皆さんとクリスマスを祝おう!

日時: 2012年12月10日(月) 18時開場 / 18時半開演
場所: 福岡市民会館大ホール(福岡市中央区天神5) 入場無料 / 手話通訳付
トーク&コンサート: 沢 知恵さん
主催: 福岡市民クリスマス実行委員会
*キリスト教各教派を越えて企画しています。キリストの誕生をみんなで祝い、平和な世界を求め祈りの日にしましょう。ご家族でご来場ください。

福岡地区聖書週間特別講座に参加して



11月11日(日)、この日は特別な大切な日。7歳で逝った娘の誕生日。午後からは納骨堂に行く。だから今回の聖書講座のお手伝いをパスしても心は傷まない。朝、主任司祭にその旨を伝えると、今日は教区で行事が重なり手伝いも少ない、娘は天国にいるよと、あつけない寄り切られた。心は娘に引きずられたまま、身体は洪々大名町教会に。2012年度最後の講座は、大分教区の山下敦神父であった。チラシにあった堅い肩書きとは正反対で、お若く眼鏡の奥の柔和な眼差しと、全てを包み込むような暖かさが滲み出ている笑顔、今ここにいる自分にもう迷いは消えていた。マルコ福音書の中核と

典礼シリーズ ⑦

【質問】 「待降節の色は、四旬節と同じ紫ですが、四旬節のように断食や悔い改めが言われないようすが、なぜでしょうか。」

【質問に答えて】 古代からキリスト者ももともと大切にしていたのは、日曜日に「主の復活」を祝うことでした。そのために、主が復

活された日曜日が「主の日」(黙示録1・10)とも呼ばれるようになり、二世紀になると、この一週間毎の主の復活の記念とともに、ユダヤ教の過越祭にならって、一年に一度盛大に「復活祭」を祝う習慣が生まれてきました。そして、325年に開かれたニケーア公会議で、「春分の日の以降の満月の次の日曜日」を、一年に一度盛大に祝う主の過越(復活祭)の日とすることが決議されました。この復活祭に次いで、教会がおこなってきた最古の祝いが「主の降誕」です。四世紀の半ば以降、降誕祭はもともと不滅の太陽神の誕生日とされていた12月25

聖コロンバン会の司祭の墓碑が完成

など沢山の生きるヒントを頂いた。私の信仰がいかに自分善がりの真似事であったろうか。今日なぜ私はここに来なければならなかったのか、神のみ旨と、幼い娘からの天からのメッセージが聴こえてきます「ママ、幼子のようにならなければね」と。

西新教会信徒 柴田須磨子



11月20日、聖コロンバン会の墓と記念碑が「熊本カトリック共同墓地」に完成しました。その完成を感謝して、100人ほどの信徒が集まり、聖コロンバン会の管区長を初め6人の司祭の司式により、感謝ミサが行われました。墓と記念碑の建設は、オカ

11月20日、聖コロンバン会の墓と記念碑が「熊本カトリック共同墓地」に完成しました。その完成を感謝して、100人ほどの信徒が集まり、聖コロンバン会の管区長を初め6人の司祭の司式により、感謝ミサが行われました。墓と記念碑の建設は、オカ

日をキリスト教化するため、この日に固定されて祝う習慣が広がってきました。ローマの教会が中心となつて整えてきた典礼暦は、この二つの大きな祭日(主の復活と主の降誕)を二つの軸としていました。そして、それぞれ主の復活を準備する期間(四旬節)が四世紀後半、主の降誕を準備する期間(待降節)が六世紀後半に導入されるようになったと言われています。ですから、歴史的にみても四旬節の方が早く取り入れられ、それに倣う形で待降節が取り入れられたために、当初、待降節も四旬節と同じような断食や悔い改めの色合い

が強かったようです。しかし、次第に、待降節固有の意義が見出されるようになり、1917年に公布された旧教会法では、待降節には断食を強要しなくなりました。そして1970年1月1日より発効されている現行の典礼暦に關する一般原則(39)において、待降節の性格が、次のように説明されています。

「待降節は二重の特質を持つ。それはまず、神の子の第一の来臨を追憶する降誕の祭典のための準備期間であり、また同時に、その追憶を通して、終末におけるキリストの第二の来臨の望望へと心を向ける期間でもある。この二つ

の理由から、待降節は愛と喜びに満ちた待望の時であることが明らかになってくる。」 この二重の到来(ラテン語で adventus)が、「待降節」の語源です。すでに救い主として神の子イエス・キリストがこの世に來られた(降誕)ことを毎年盛大に祝いながら、それに重ね合わせて、人類の救いのために死んで復活し、昇天されたキリストが再び私たちを迎えるために再び來られる(再臨)のを待つという「愛と喜びに満ちた待望の時」という理解こそ、待降節の意義づけとしてふさわしいということだ。

に、花による祭壇の装飾についても、「待降節には、この季節の特徴にふさわしい節度をもって、祭壇を花で飾ることがができる。ただし、主の降誕の満ちあふれる喜びを先取りしないようにする。四旬節には、祭壇を花で飾ることは禁じられる」という規定が『ローマ・ミサの典礼書の総則(305)の中に見られます。わたしたちが準備して待つ以上に、主イエスが謙虚に近づいて來られるその愛に、喜びと希望を見出すことができ、ますように。良いクリスマスをお迎えください。 日本カトリック神学院 院長 白浜満神父

聖マリア学院大学 被災地ボランティア報告会 開催



11月10日(土)午後、久留米市の聖マリア学院大学で行われた「マリア祭」の中で、東日本被災地ボランティア報告会が行われた。 今回の報告会は、ボランティアサークル「ふいりあ」のメンバーが企画。「ふいりあ」は、昨年釜石ベースでのボランティア活動に参加した学生が、被災者の方達が自分達に望んでいるのは「忘れないうこと」であり、そのために自分達ができることを考え、被災地とのつながりを持ち続

けたいとの目的で立ち上げたサークルである。 報告会には約50人が来場。今年の9月に釜石ベースと大槌ベースでそれぞれ5日間行ったボランティア活動の内容の紹介、さらにベースでの日々を通じて感じたことや学んだことを写真とともに発表した。 その後、多賀城市で撮影された震災発生時の状況を記録したDVDを上映し、報道されることの少なくなってきた震災の出来事を来場者ともに見つめ直した。

不動産全般/売買・賃貸・管理 なんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市上白水 5-11-102 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA キリスト教書籍・信具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM 10時~PM 5時40分 日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日) TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp

BOOK 読書専科 ☆かみさま あかね ごめんなさい ありがとう おねがい シヤールロット・ストウエル 絵 ゴードン・ストウエル 文 女子パウロ会 訳 「わたしはどんなことをしていても かみさまみててくださいね。幼いときに身につけた「ごめんなさい」「ありがとう」「おねがい」の心は一生の宝です。 女子パウロ会 発行 3冊セット価格 税込価格1260円 ☆クリスマス うたものがたり 文 中井 俊巳 絵 永井 泰子 『きよしこのよる』はどうしてうまれたの? クリスマスイブの朝、教会のオルガンが鳴りません。「ミサのうたはどうしよう」頭を抱える神父さまに神さまのメッセージが舞い降りて…。1818年オーストリアの小きな村の教会で生まれた「きよしこのよる」誕生物語。 ドン・ボスコ社 発行 税込価格 987円

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

福岡地区聖書講座

年間テーマ：福音 イエスとの出会い
テーマ：『ルカ福音書を読む』
日時：2013年1月27日(日) 14:00～16:00
講師：森山信三神父(西新教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書部

北九州地区聖書講座

年間テーマ：『ともに学び 生活の場で伝えよう』
～ルカによる福音書が呼びかける信仰～
日時：2013年2月3日(日) 14:00～16:30
講師：L. ベリオン神父(行橋教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部

聖書に集う会

日時：12月3日(月) 18時30分～20時
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)

震災のための祈りのリレー

日時：12月11日(火)
6:40 ミサ～19:00 夕の祈り(テゼの祈り)
場所：聖パウロ修道会福岡修道院
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

12月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 12月

1日(土)～7日(金) (空室:30室)
5日(水) 休館日
8日(土)～9日(日) 待降節一泊黙想会(参加者募集中)
10日(月)～14日(金) 聖マリア在俗会 会議 (空室:20室)
15日(土) 福岡チェナクム
15日(土)～16日(日) 待降節一泊黙想会(参加者募集中)
30日(日)～1月3日(木) 休館日
【2013年1月】
4日(金)～5日(土) JNCF黙想会 (空室:15室)
6日(日)～31日(木) (空室:30室)
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
日時：12月13日(木) 10時～14時半
内容：終末の宴
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレサルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・2013年間テーマ：イエス様に学ぶ祈り
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町崎浦
1391-7・E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：12月15日、1月5日、1月19日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

2日(日) 待降節第1主日(C年)/宣教地司祭育成の日(献金)
新田原教会聖信式
3日(月) 聖フランシスコ・ザビエル司祭
4日(火) 大神学院常任委員会(～5日 福岡)
6日(木) 常任司教委員会
7日(金) 初金ミサ(浄水通教会)/サーリスの集い
8日(土) 無原罪の聖マリア
聖マリア病院・新病棟祝福式
9日(日) 待降節第2主日
黒崎教会聖信式
12日(水) 大神学院講話・ミサ聖祭
召命祈願ミサ(カテドラル19時)
↑M. コーフィールド(2001年島崎教会)
13日(木) 聖ルチアおとめ殉教者
真命山祈りの集い
14日(金) 十字架の聖ヨハネ司祭教会博士
↑J. モラハン(2002年水俣教会)
16日(日) 待降節第3主日
23日(日) 待降節第4主日 天皇誕生日
24日(月) 降誕祭夜半のミサ(カテドラル 21:30)
25日(火) 主の降誕
26日(水) 聖ステファノ殉教者
27日(木) 聖ヨハネ使徒福音記者
28日(金) 幼子殉教者
30日(日) 聖家族の主日
31日(月) 大晦日
2013年1月
1日(火) 神の母聖マリア(カテドラル 10:00) 世界平和の日
↑C. バスチ(2002年黒崎教会) 元旦
6日(日) 主の公現
■ゴチックは司教日程

福岡
◆聖霊による刷新 福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾
◆在世フランススコ会集会(日時) 12月9日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世家集会所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 12月18日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(内容) ロラテチエリ(待降歌) 他(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆虹の会(日時) 1月12日(土) 13時半から(場所) カトリック大名町教会3階(対象) 子どもを亡くした親の会です。(会費) 600円(連絡先) ☎090・1162・6395 柴田

北九州
◆北九州召命を共に祈る会(日時) 12月13日(木) 15時(場所) カトリック飯塚教会(内容) 祈り(指導) 佐賀 2・30・8347 吉武
◆日本カトリック看護協会福岡支部例会(日時) 12月2日(日) 13時半(場所) イエズスの聖心病院(熊本)(問合せ先) ☎096・352・7181
◆熊本地区結婚講座(日時) 1月12日(土) から2

佐賀
◆佐賀祈りの集い(日時) 11月10日(土) 10時。毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武
◆熊本地区結婚講座(日時) 1月12日(土) から2

編集後記
今年の最終号は、列福式以来の6ページの紙面でお届けすることにしました。それは、皆様から多くの原稿を頂戴し、当初は、紙面の都合上、原稿に手を入れさせていたとき、従来のページ数に収めようとしたのですが、容易ではなく、このようになつた次第です。シノドスに参加された司教様からご報告を頂き、また大名町教会の創立125周年という記念すべき行事なども重なり、読みごたえのある教区報になつたのではないかと自負しております。カトリック保育園研修会の報告は、締切に間に合わず残念！次号にこ期待下さい。

Table with 4 columns: 教会, 24日, 25日, 31日, 1日. Rows include various churches like 福岡地区, 系島, 今村, etc.

COSMOS logo and text: スポーツ用品・OA・文具 コスモス. 三井郡大刀洗町鶴木67-3. TEL 0942-77-3199. 代表者 ペトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院. 医科・歯科臨床研修指定病院. 総合周産期医療センター. 福岡県久留米市津福本町422. TEL 0942-35-3322(代表). FAX 0942-34-3115. http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室 いくま整骨院. 平日: 9:30～12:00, 14:30～20:00. 土曜: 9:30～15:00. 休診: 日曜・祝祭日. 福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F. TEL 092-884-0134. ペトロ 生熊吉吉

Merry Christmas. 12月24日までは日曜日(11:00-15:00)も開店します! メディアによる福音宣教のために... サンパウロ福岡宣教センター. 10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備. 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930